南関町の学校の在り方に関する
アンケート調査
報　告　書

令和６年３月

南関町

目次

第１章　調査の概要 1

１．調査の目的 3

２．調査の実施要領 3

３．配布数・回答数 3

４．調査結果利用上の注意 4

第２章　調査結果 5

１．小中学校保護者用アンケート調査 7

２．小学２～小学４年生用アンケート調査 24

３．小学５年・６年生、中学生用アンケート調査 27

４．小中学校教職員用アンケート調査 38

５．幼稚園保育園保護者用アンケート調査 55

６．地域住民用アンケート調査 68

７．統廃合について 85

第１章　調査の概要

１．調査の目的

本町では、全国的な少子化に伴い、各学校の小規模化が進んでおり、子どもたちの教育環境を今後どうしていくのか、将来にわたって質の高い教育を維持するためにどうしていくのかといった課題がある。

そのため、本調査では、今後の学校施設のあり方について課題検討するため、アンケート調査を実施し、その結果を集計・分析し、今後の施策推進のための基礎資料として活用することを目指す。

２．調査の実施要領

（１）調査対象者

小中学校保護者、小学２年生～中学３年生、小中学校教職員、幼稚園保育園保護者、地域住民

（２）調査実施期間

令和５年１１月

（３）調査方法

郵送により調査票を配布し、郵送または Web により回収。

３．配布数・回答数

No.	対象者種別	配布数	有効回答数（率）			
			Web 回答	用紙回答	合計	回答率
1	小中学校保護者	429	165	78	243	56.6%
2	小学２～小学４年生	183	159	0	159	86.9%
3	小学５～中学３年生	319	283	0	283	88.7%
4	小中学校教職員	91	65	0	65	71.4%
5	幼稚園保育園保護者	193	39	69	108	56.0%
6	地域住民	1,000	43	336	379	37.9%
合計		2,215 件	754 件	483 件	1,237 件	55.8%

４．調査結果利用上の注意

・各設問のｎは、回答者数を表しています。
・回答率は百分比の小数点第２位を四捨五入しているので、合計が 100%にならない場合があります。
・２つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、選択肢ごとの割合を合計すると 100%を超える場合があります。
・回答があっても、小数点第２位を四捨五入して 0.1%に満たない場合は、図表には「0.0」と表記しています。
・数表・図表は、スペースの都合上、文言等を省略している場合があります。

第２章　調査結果

1．小中学校保護者用アンケート調査

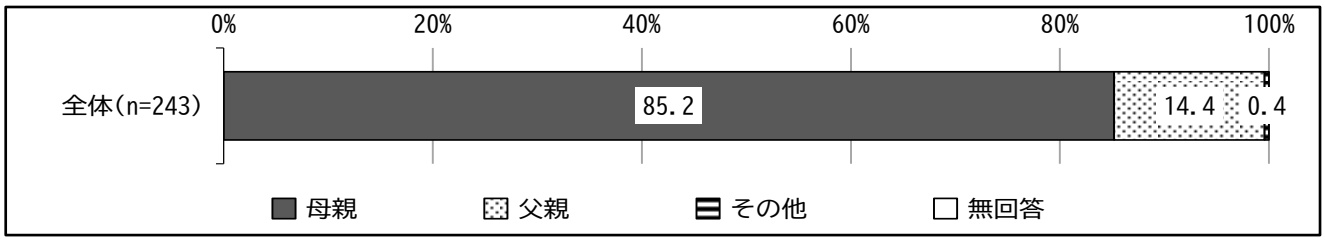
問1　あなた（ご記入者）とお子様の関係、年代をご記入ください。（単数回答）

◆続柄

⑴ 続柄については、「母親」が 85.2%、「父親」が 14.4%、「その他」が 0.4%となっています。

⑵ 年代別でみると、いずれの年代も「母親」が「父親」を上回っており、特に 30 代及び 40 代では８割を超えています。また、50 代では「父親」の割合が４割を超えており、他の年代と比べて高くなっています。

⑶ 学校別でみると、いずれも「母親」の割合が８割を超えています。



【クロス集計】

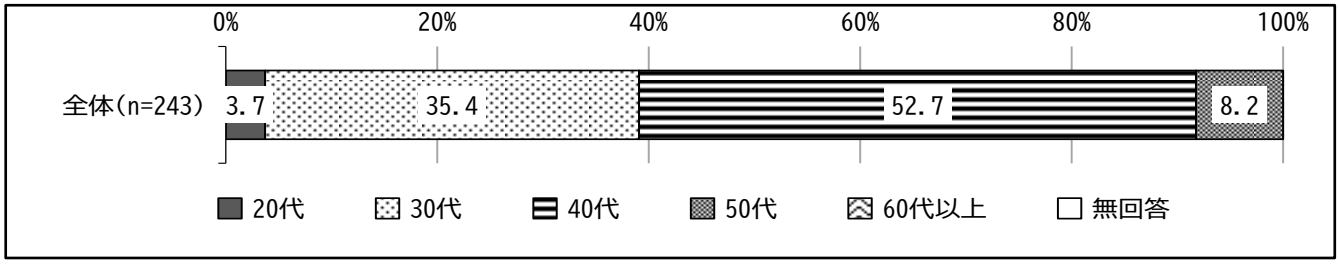
（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	母親	父親	その他	無回答
全体（単純集計）		243	207	35	1	0
			85.2%	14.4%	0.4%	0.0%
年代別	20代	9	7	1	1	0
			77.8%	11.1%	11.1%	0.0%
	30代	86	76	10	0	0
			88.4%	11.6%	0.0%	0.0%
	40代	128	112	16	0	0
			87.5%	12.5%	0.0%	0.0%
	50代	20	12	8	0	0
			60.0%	40.0%	0.0%	0.0%
	60代以上	0	0	0	0	0
			–	–	–	–
学校別	第一小学校	63	53	10	0	0
			84.1%	15.9%	0.0%	0.0%
	第二小学校	29	24	5	0	0
			82.8%	17.2%	0.0%	0.0%
	第三小学校	44	36	8	0	0
			81.8%	18.2%	0.0%	0.0%
	第四小学校	34	31	3	0	0
			91.2%	8.8%	0.0%	0.0%
	南関中学校	109	96	12	1	0
			88.1%	11.0%	0.9%	0.0%

◆年代

⑴ 年代については、「40 代」が 52.7%と最も高く、次いで「30 代」35.4%、「50 代」8.2%となっています。

⑵ 学校別でみると、第四小学校では「30 代」、その他の学校では「40 代」が最も高くなっています。また、第四小学校では「20 代」が他の学校と比べて高くなっています。



【クロス集計】

（上段：人　下段：%）

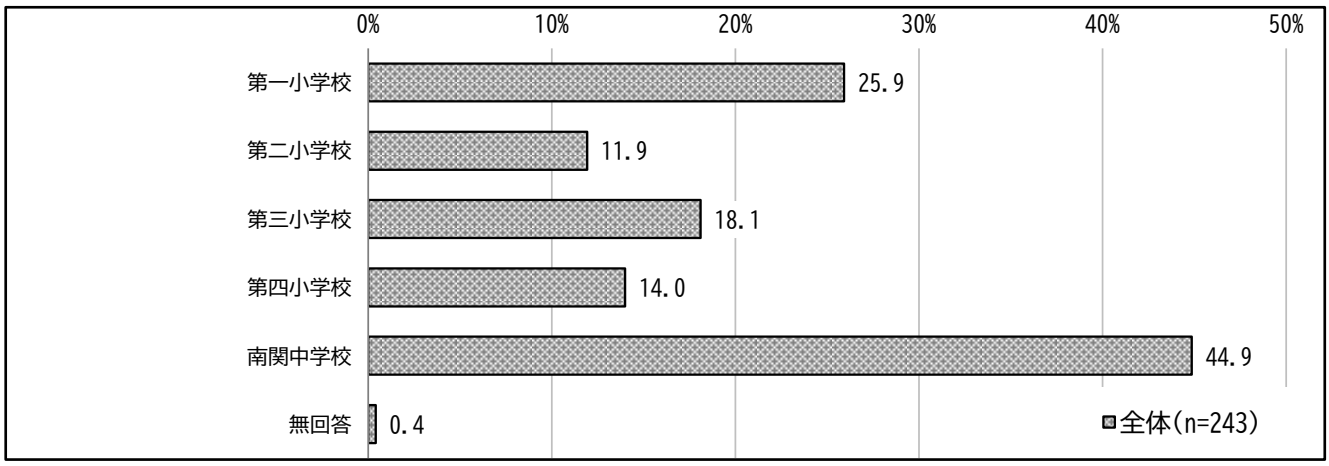
		標本数（人）	20代	30代	40代	50代	60代以上	無回答
全体（単純集計）		243	9	86	128	20	0	0
			3.7%	35.4%	52.7%	8.2%	0.0%	0.0%
学校別	第一小学校	63	2	26	33	2	0	0
			3.2%	41.3%	52.4%	3.2%	0.0%	0.0%
	第二小学校	29	0	11	16	2	0	0
			0.0%	37.9%	55.2%	6.9%	0.0%	0.0%
	第三小学校	44	1	17	24	2	0	0
			2.3%	38.6%	54.5%	4.5%	0.0%	0.0%
	第四小学校	34	5	17	11	1	0	0
			14.7%	50.0%	32.4%	2.9%	0.0%	0.0%
	南関中学校	109	1	29	64	15	0	0
			0.9%	26.6%	58.7%	13.8%	0.0%	0.0%

問２　お子様の通われている小・中学校について（複数回答）

◆学校

⑴ お子さんの通学中の小・中学校については、「南関中学校」が 44.9%と最も高く、次いで「第一小学校」25.9%、「第三小学校」18.1%となっています。

⑵ 年代別でみると、20 代では「第四小学校」、30 代以上では「南関中学校」が最も高くなっています。



【クロス集計】

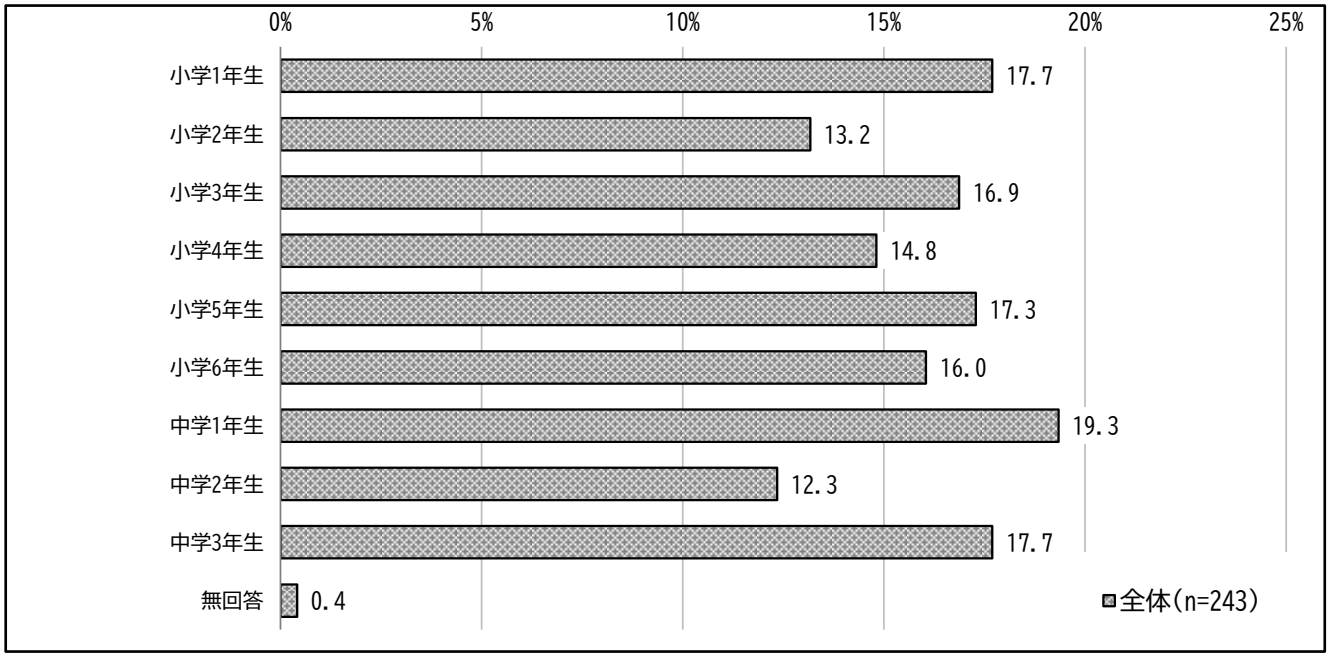
（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	第一小学校	第二小学校	第三小学校	第四小学校	南関中学校	無回答
全体（単純集計）		243	63	29	44	34	109	1
			25.9%	11.9%	18.1%	14.0%	44.9%	0.4%
年代別	20代	9	2	0	1	5	1	0
			22.2%	0.0%	11.1%	55.6%	11.1%	0.0%
	30代	86	26	11	17	17	29	0
			30.2%	12.8%	19.8%	19.8%	33.7%	0.0%
	40代	128	33	16	24	11	64	1
			25.8%	12.5%	18.8%	8.6%	50.0%	0.8%
	50代	20	2	2	2	1	15	0
			10.0%	10.0%	10.0%	5.0%	75.0%	0.0%
	60代以上	0	0	0	0	0	0	0
			－	－	－	－	－	－

◆学年

⑴ お子さんの学年については、「中学１年生」が19.3%と最も高く、次いで「小学１年生」「中学３年生」がともに17.7%、「小学５年生」17.3%となっています。

⑵ 年代別でみると、20代では「小学１年生」、30代では「小学３年生」、40代以上では「中学３年生」が最も高くなっています。また、50代では「中学１年生」が他の年代と比べて高くなっています。



【クロス集計】

（上段：人　下段：%）

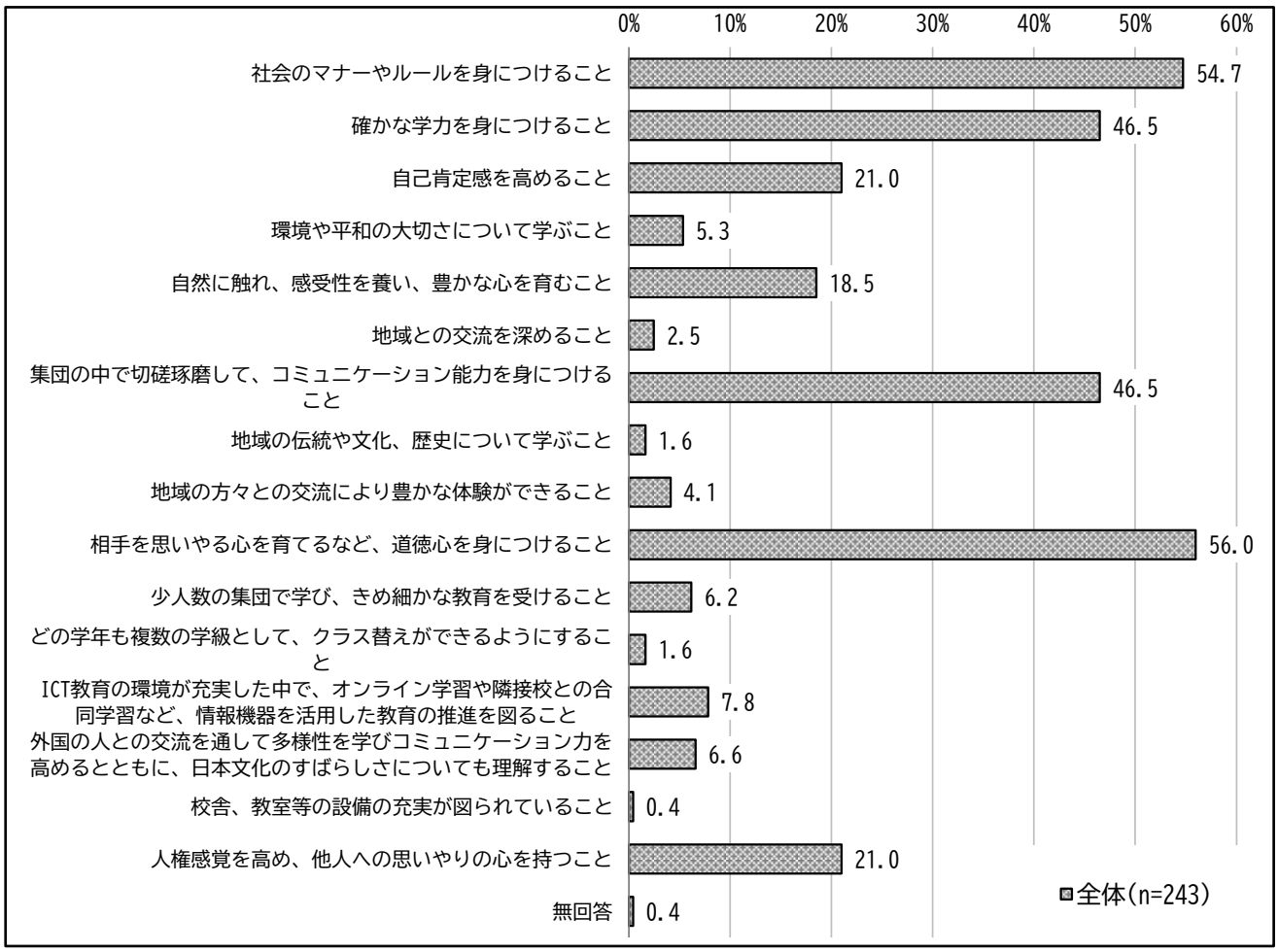
		標本数（人）	小学1年生	小学2年生	小学3年生	小学4年生	小学5年生	小学6年生	中学1年生	中学2年生	中学3年生	無回答
全体（単純集計）		243	43	32	41	36	42	39	47	30	43	1
			17.7%	13.2%	16.9%	14.8%	17.3%	16.0%	19.3%	12.3%	17.7%	0.4%
年代別	20代	9	5	2	0	2	0	0	0	0	1	0
			55.6%	22.2%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%
	30代	86	22	14	24	13	17	12	17	10	7	0
			25.6%	16.3%	27.9%	15.1%	19.8%	14.0%	19.8%	11.6%	8.1%	0.0%
	40代	128	16	15	16	19	24	25	23	19	26	1
			12.5%	11.7%	12.5%	14.8%	18.8%	19.5%	18.0%	14.8%	20.3%	0.8%
	50代	20	0	1	1	2	1	2	7	1	9	0
			0.0%	5.0%	5.0%	10.0%	5.0%	10.0%	35.0%	5.0%	45.0%	0.0%
	60代以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

問３　小学校では、基礎的な学習を習得することを基本とし、学習指導要領では、「主体的・対話的な深い学び」の視点から授業の改善を行っています。また、英語、理科では、専科教員の巡回指導による質の高い教育の提供に努めています。その他に、保護者として小学校教育で重要視していることは何ですか。（複数回答）

⑴ 小学校教育で重要視していることについては、「相手を思いやる心を育てるなど、道徳心を身につけること」が 56.0%と最も高く、次いで「社会のマナーやルールを身につけること」54.7%、「確かな学力を身につけること」「集団の中で切磋琢磨して、コミュニケーション能力を身につけること」がともに 46.5%となっています。

⑵ 年代別でみると、いずれの年代も「社会のマナーやルールを身につけること」「確かな学力を身につけること」「集団の中で切磋琢磨して、コミュニケーション能力を身につけること」「相手を思いやる心を育てるなど、道徳心を身につけること」の割合が高くなっています。また、20 代では「人権感覚を高め、他人への思いやりの心を持つこと」、50 代では「環境や平和の大切さについて学ぶこと」「ICT 教育の環境が充実した中で、オンライン学習や隣接校との合同学習など、情報機器を活用した教育の推進を図ること」が他の年代と比べて高くなっています。

⑶ 学校別でみると、年代別と同様に上記４項目の割合が高くなっていますが、第二小学校では「外国の人との交流を通して多様性を学びコミュニケーション力を高めるとともに、日本文化のすばらしさについても理解すること」が他の学校と比べて高くなっています。



【クロス集計】

（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	社会のマナーやルールを身につけること	確かな学力を身につけること	自己肯定感を高めること	環境や平和の大切さについて学ぶこと	自然に触れ、感受性を養い、豊かな心を育むこと	地域との交流を深めること	集団の中で切磋琢磨して、コミュニケーション能力を身につけること	地域の伝統や文化、歴史について学ぶこと	地域の方々との交流により豊かな体験ができること	相手を思いやる心を育てるなど、道徳心を身につけること	少人数の集団で学び、きめ細かな教育を受けること	どの学年も複数の学級として、クラス替えができるようにすること	ICT教育の環境が充実した中で、オンライン学習や隣接校との合同学習など、情報機器を活用した教育の推進を図ること	外国の人との交流を通して多様性を学びコミュニケーション力を高めるとともに、日本文化のすばらしさについても理解すること	校舎、教室等の設備の充実が図られていること	人権感覚を高め、他人への思いやりの心を持つこと	無回答
全体（単純集計）		243	133	113	51	13	45	6	113	4	10	136	15	4	19	16	1	51	1
			54.7%	46.5%	21.0%	5.3%	18.5%	2.5%	46.5%	1.6%	4.1%	56.0%	6.2%	1.6%	7.8%	6.6%	0.4%	21.0%	0.4%
年代別	20代	9	5	3	2	0	2	0	6	0	0	4	1	0	1	0	0	3	0
			55.6%	33.3%	22.2%	0.0%	22.2%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	44.4%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
	30代	86	52	39	14	3	17	2	43	0	5	54	5	1	2	5	1	16	0
			60.5%	45.3%	16.3%	3.5%	19.8%	2.3%	50.0%	0.0%	5.8%	62.8%	5.8%	1.2%	2.3%	5.8%	1.2%	18.6%	0.0%
	40代	128	67	61	30	5	21	3	59	4	5	70	6	3	11	11	0	28	1
			52.3%	47.7%	23.4%	3.9%	16.4%	2.3%	46.1%	3.1%	3.9%	54.7%	4.7%	2.3%	8.6%	8.6%	0.0%	21.9%	0.8%
	50代	20	9	10	5	5	5	1	5	0	0	8	3	0	5	0	0	4	0
			45.0%	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	5.0%	25.0%	0.0%	0.0%	40.0%	15.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%
	60代以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
学校別	第一小学校	63	40	25	13	6	13	1	33	0	2	35	2	2	0	2	1	14	0
			63.5%	39.7%	20.6%	9.5%	20.6%	1.6%	52.4%	0.0%	3.2%	55.6%	3.2%	3.2%	0.0%	3.2%	1.6%	22.2%	0.0%
	第二小学校	29	12	18	5	1	6	0	10	1	2	16	3	1	3	5	0	5	0
			41.4%	62.1%	17.2%	3.4%	20.7%	0.0%	34.5%	3.4%	6.9%	55.2%	10.3%	3.4%	10.3%	17.2%	0.0%	17.2%	0.0%
	第三小学校	44	25	22	11	1	5	1	23	2	0	25	2	1	7	2	0	5	0
			56.8%	50.0%	25.0%	2.3%	11.4%	2.3%	52.3%	4.5%	0.0%	56.8%	4.5%	2.3%	15.9%	4.5%	0.0%	11.4%	0.0%
	第四小学校	34	14	14	6	1	6	1	18	0	3	23	4	0	3	2	0	7	0
			41.2%	41.2%	17.6%	2.9%	17.6%	2.9%	52.9%	0.0%	8.8%	67.6%	11.8%	0.0%	8.8%	5.9%	0.0%	20.6%	0.0%
	南関中学校	109	60	50	22	5	25	3	47	3	4	60	7	0	7	8	1	25	1
			55.0%	45.9%	20.2%	4.6%	22.9%	2.8%	43.1%	2.8%	3.7%	55.0%	6.4%	0.0%	6.4%	7.3%	0.9%	22.9%	0.9%

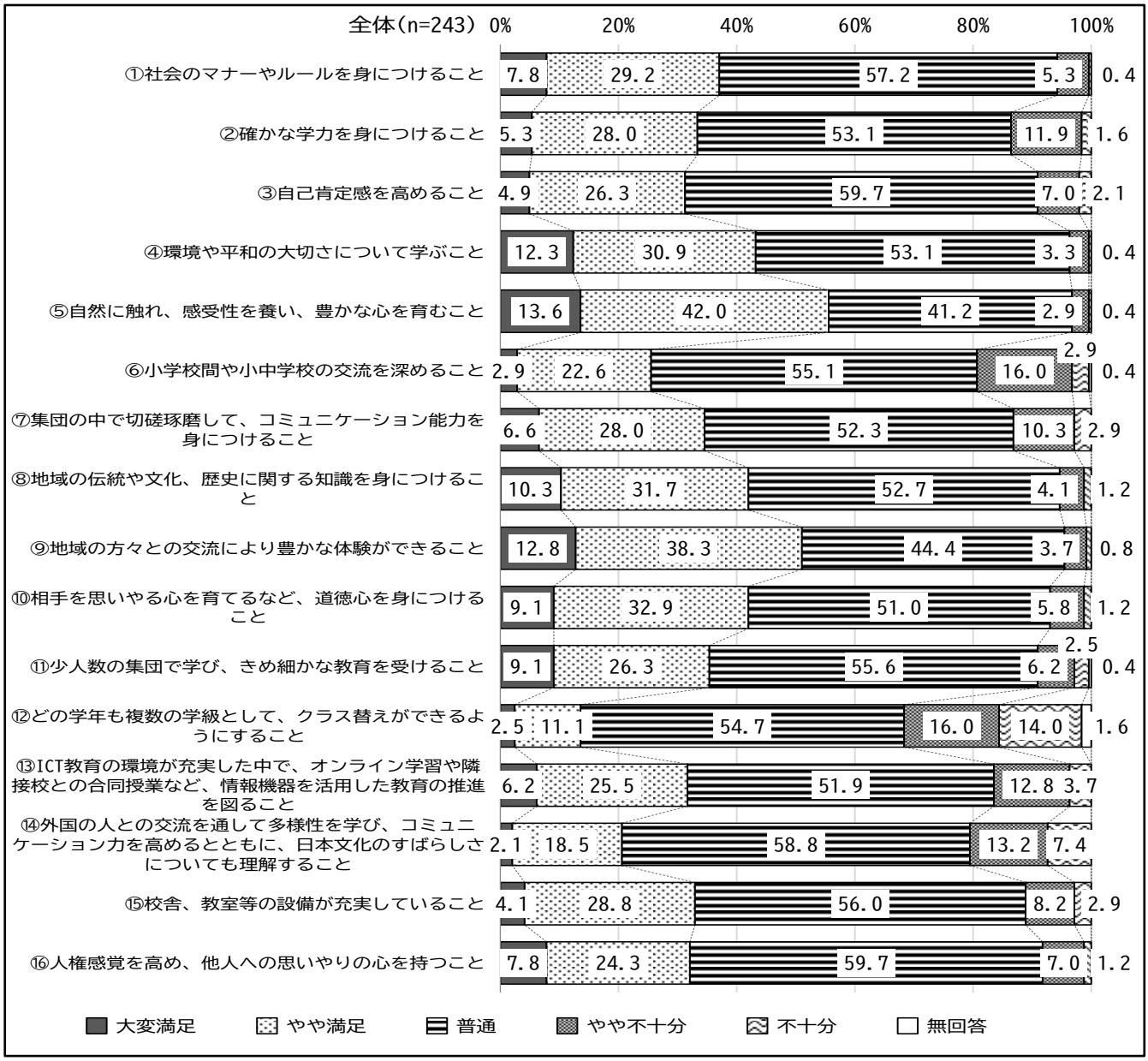
問３－１　問３の項目以外で重要視していることがあれば、ご記入ください。

重要視していること	年代	学校名
人間力の向上	40 代	第三小学校 南関中学校
集団の中でのコミュニケーション力	40 代	第一小学校
上下関係における言葉遣いなど、目上の方を敬う心。	40 代	第一小学校
社会のマナーやルールを身につけること。大人になる上で社会での生活や規則を守れる人材育成が必要。	30 代	第二小学校
人を思いやる心、友達との関係を築く力をつけてほしい。	30 代	第三小学校
挨拶	40 代	南関中学校
人間関係	40 代	南関中学校
娘が小学生の時に通分・約分は中学・高校では使わないから覚えなくていいと教えた教師がいました。不思議なことに今もまだこの教師は南関町で教鞭をとっています。質の高い教育以前に教師の質の向上を切に願います。	40 代	南関中学校
考え方や職業などの異なる、さまざまなタイプの大人と接することで、何事も鵜呑みにはしない批評的な思考と広い視座を身につけ、生きていく方法が一様ではないことを学んでほしいと思います。	50 代	南関中学校

問４　小学校教育の各項目の満足度について、あてはまる番号１つに○をつけてください。（単数回答）

⑴ 小学校教育において満足度が最も高い（「大変満足」＋「やや満足」）のは、「自然に触れ、感受性を養い、豊かな心を育むこと」55.6%、次いで「地域の方々との交流により豊かな体験ができること」51.1%、「環境や平和の大切さについて学ぶこと」43.2%となっています。

⑵ 満足度が最も低い（「やや不十分」＋「不十分」）のは、「どの学年も複数の学級として、クラス替えができるようにすること」が30.0%、次いで「外国の人との交流を通して多様性を学び、コミュニケーション力を高めるとともに、日本文化のすばらしさについても理解すること」20.6%、「小学校間や小中学校の交流を深めること」18.9%となっています。



問４－１　問４の項目以外で、満足、不十分と感じていることがありましたら、ご記入ください。

◆満足に感じていること

満足に感じていること	年代	学校名
友達との問題などをしっかり話し合いができるよう先生も協力してくれている所。	20 代	第一小学校
クラスみんなは仲良く毎日学校生活を送っているので安心していますが、生徒と先生の関係性が少し気になります。	40 代	第一小学校
地域の方々との交流がたくさん。	30 代	第二小学校
クラスの関係性が悪く不登校の子もいる中で、カウンセリングや保健の先生の関わりには感謝しています。	30 代	第三小学校
本人が困っていることを理解して通級などの対応をしている。学校を休むことなく楽しく通学できている。	40 代	第三小学校
三小６年生の永尾先生の子ども達に対しての対応・教育・ＩＣＴ教育への向い方はとてもすばらしいと思います。	50 代	第三小学校
部活動を熱心に指導していただけて、勉強以外での充実した日々が送れていると思います。	40 代	南関中学校

◆不十分と感じていること

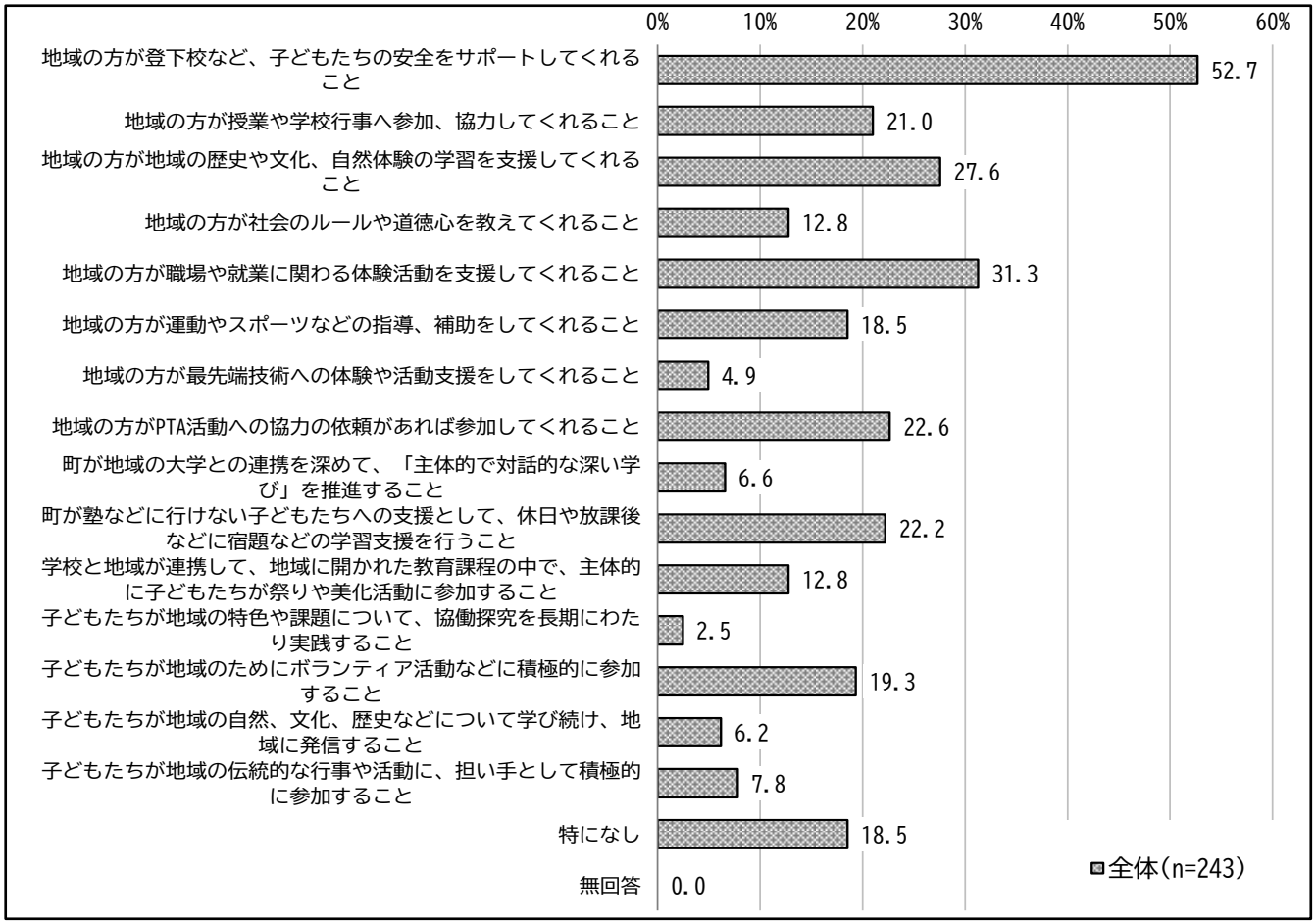
不十分と感じていること	年代	学校名
学校で習っていない事でもさせないのではなく、させてのばしてほしい。	30 代	第一小学校 南関中学校
トラブル、いじめに対しての対応	30 代	第三小学校 南関中学校
教師の質の低下（文科省の守りの姿勢）	40 代	第三小学校 南関中学校
自己肯定感を高める事を担任の先生はよくしてくれていますが、他の先生からの言葉に子どもが傷ついている。	20 代	第一小学校
沢山の児童と触れ合い、仲間づくりをしていくことが不十分だと感じます。	40 代	第一小学校
発達に困り感をもつ保護者、子どもへの支援に大変不満あり。	30 代	第三小学校
担任の先生へのフォローやその後の親への報告などができておらず、今何がクラスで起きているのか状況がわからない。不安が多いです。	30 代	第三小学校
もっとＩＣＴ教育に力を入れてもいいと思います。教育委員会がもっと力を入れていいと思います。英語・理科だけではなくＩＣＴにも専科教員の指導があれば、担任のスキルの差による指導力の差がなくなると思います。	50 代	第三小学校
先生によってだが性格や質が悪い方がいる	40 代	南関中学校
中学校の先生が怖かったり素っ気なかったりするので、分からない問題があっても聞きづらいみたいです。	40 代	南関中学校
基礎が理解できていないまま中学に上がり、勉強に躓いている子が多いように感じます。	40 代	南関中学校
いじめ・不登校に対して心のケア、不登校の子ども達が学校に通える環境づくりが大切だと思います。学習でいじめはダメだと学んでも生活で活かさなければ意味がないと思う。不登校の子にばかり目を向けるのではなく、いじめをしている子ども達の心のケアをしっかりとしてほしい。	50 代	南関中学校
不登校の生徒・児童が増えていること、子ども達の自己肯定感が低い傾向にあることは、全国的に学校による生徒への管理が厳しくなっていることとも関連があるように思われます。細やかな事象について生徒・児童を管理・コントロールするのではなく、おおらかに受け入れて見守るというメンタリティーが学校側にも求められるのではないかと考えております。	50 代	南関中学校

問５　保護者として、子どもたちと地域との関わりについて期待することは、何ですか。（保護者、先生などへのサポートを含む）（複数回答）

⑴ 保護者として子ども達と地域との関わりについて期待することでは、「地域の方が登下校など、子どもたちの安全をサポートしてくれること」が 52.7%と最も高く、次いで「地域の方が職場や就業に関わる体験活動を支援してくれること」31.3%、「地域の方が地域の歴史や文化、自然体験の学習を支援してくれること」27.6%となっています。

⑵ 年代別でみると、いずれの年代も「地域の方が登下校など、子どもたちの安全をサポートしてくれること」が最も高くなっています。また、20 代では「地域の方が授業や学校行事へ参加、協力してくれること」「地域の方が地域の歴史や文化、自然体験の学習を支援してくれること」が他の年代と比べて高くなっています。

⑶ 学校別でみても、「地域の方が登下校など、子どもたちの安全をサポートしてくれること」が最も高くなっていますが、第二小学校では「子どもたちが地域の自然、文化、歴史などについて学び続け、地域に発信すること」、第三小学校では「地域の方が社会のルールや道徳心を教えてくれること」、第四小学校では「地域の方が地域の歴史や文化、自然体験の学習を支援してくれること」が他の学校と比べて高くなっています。



【クロス集計】

（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	地域の方が登下校など、子どもたちの安全をサポートしてくれること	地域の方が授業や学校行事へ参加、協力してくれること	地域の方が地域の歴史や文化、自然体験の学習を支援してくれること	地域の方が社会のルールや道徳心を教えてくれること	地域の方が職場や就業に関わる体験活動を支援してくれること	地域の方が運動やスポーツなどの指導、補助をしてくれること	地域の方が最先端技術への体験や活動支援をしてくれること	地域の方がPTA活動への協力の依頼があれば参加してくれること	町が地域の大学との連携を深めて、「主体的で対話的な深い学び」を推進すること	町が塾などに行けない子どもたちへの支援として、休日や放課後などに宿題などの学習支援を行うこと	学校と地域が連携して、地域に開かれた教育課程の中で、主体的に子どもたちが祭りや美化活動に参加すること	子どもたちが地域の特色や課題について、協働探究を長期にわたり実践すること	子どもたちが地域のためにボランティア活動などに積極的に参加すること	子どもたちが地域の自然、文化、歴史などについて学び続け、地域に発信すること	子どもたちが地域の伝統的な行事や活動に、担い手として積極的に参加すること	特になし	無回答
全体（単純集計）		243	128	51	67	31	76	45	12	55	16	54	31	6	47	15	19	45	0
			52.7%	21.0%	27.6%	12.8%	31.3%	18.5%	4.9%	22.6%	6.6%	22.2%	12.8%	2.5%	19.3%	6.2%	7.8%	18.5%	0.0%
年代別	20代	9	6	4	4	1	1	2	0	2	0	2	0	0	1	0	0	2	0
			66.7%	44.4%	44.4%	11.1%	11.1%	22.2%	0.0%	22.2%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%
	30代	86	47	23	22	10	20	12	3	21	4	20	16	2	20	4	7	12	0
			54.7%	26.7%	25.6%	11.6%	23.3%	14.0%	3.5%	24.4%	4.7%	23.3%	18.6%	2.3%	23.3%	4.7%	8.1%	14.0%	0.0%
	40代	128	63	18	35	17	49	27	8	30	9	27	14	4	24	11	12	25	0
			49.2%	14.1%	27.3%	13.3%	38.3%	21.1%	6.3%	23.4%	7.0%	21.1%	10.9%	3.1%	18.8%	8.6%	9.4%	19.5%	0.0%
	50代	20	12	6	6	3	6	4	1	2	3	5	1	0	2	0	0	6	0
			60.0%	30.0%	30.0%	15.0%	30.0%	20.0%	5.0%	10.0%	15.0%	25.0%	5.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	30.0%	0.0%
	60代以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
学校別	第一小学校	63	33	19	15	6	17	10	3	18	4	17	10	4	11	4	4	11	0
			52.4%	30.2%	23.8%	9.5%	27.0%	15.9%	4.8%	28.6%	6.3%	27.0%	15.9%	6.3%	17.5%	6.3%	6.3%	17.5%	0.0%
	第二小学校	29	13	7	6	2	8	3	3	8	3	4	1	1	7	5	5	4	0
			44.8%	24.1%	20.7%	6.9%	27.6%	10.3%	10.3%	27.6%	10.3%	13.8%	3.4%	3.4%	24.1%	17.2%	17.2%	13.8%	0.0%
	第三小学校	44	24	5	12	11	9	8	4	9	4	14	5	1	8	2	4	3	0
			54.5%	11.4%	27.3%	25.0%	20.5%	18.2%	9.1%	20.5%	9.1%	31.8%	11.4%	2.3%	18.2%	4.5%	9.1%	6.8%	0.0%
	第四小学校	34	18	7	15	2	12	4	0	9	2	8	7	0	4	1	0	8	0
			52.9%	20.6%	44.1%	5.9%	35.3%	11.8%	0.0%	26.5%	5.9%	23.5%	20.6%	0.0%	11.8%	2.9%	0.0%	23.5%	0.0%
	南関中学校	109	56	20	33	17	44	27	5	21	6	20	12	1	21	5	11	23	0
			51.4%	18.3%	30.3%	15.6%	40.4%	24.8%	4.6%	19.3%	5.5%	18.3%	11.0%	0.9%	19.3%	4.6%	10.1%	21.1%	0.0%

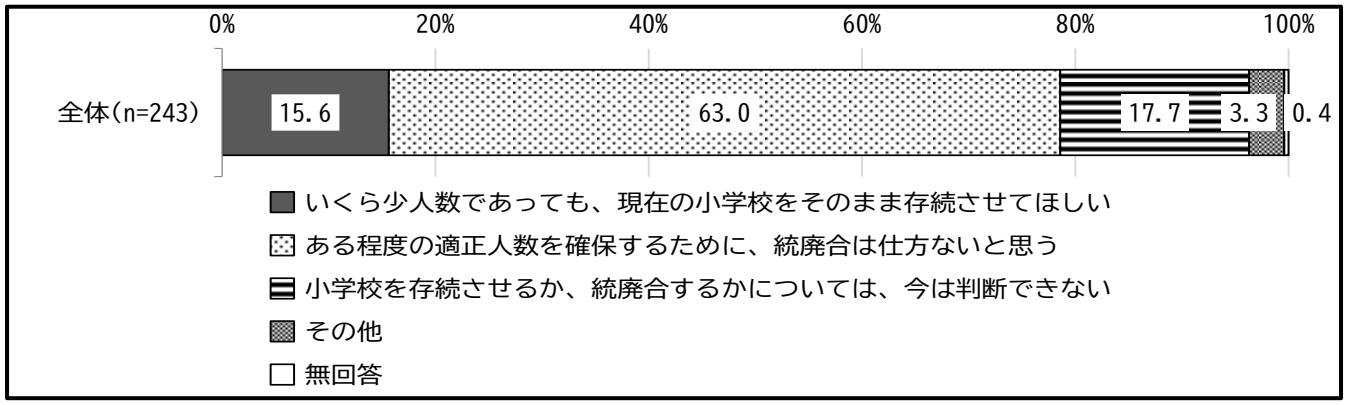
問５－１　子どもたちが、地域の特色や課題について探究し、学び合うために、南関町としてどのような取組が必要か、アイデアがありましたらご記入ください。

必要な取組・アイデア	年代	学校名
まず大人が南関町が好きかどうか示す機会があるのか、どんな風に大人が考え、動き、正直さを持っているか示さないと子どもが思ってくれるワケがない。	30 代	第三小学校 南関中学校
民間への委託を積極的にする	40 代	第三小学校 南関中学校
郷土史教室、学生版の学ぶ機会、年間２か月１回程度、地域農業、林業等の経験をして、地域の特色を学ぶ機会、触れあい。	40 代	第三小学校 南関中学校
南関そうめん・あげなどの作り方を覚える、調理師免許がとれる、子ども達でカフェをオープン（お年寄りが来られるような）	30 代	第一小学校
地域との交流がほとんどない。	40 代	第一小学校
休日でも学ぶことが出来る場所が沢山あって欲しい。塾があれば有難い。塾が少ない。	40 代	第一小学校
役場探検などの企画を通して知るきっかけを作っていただけるといいなと思いました。	30 代	第三小学校
南関そうめんなどの作り方、体験、見学、地域見守りもあるので、そのままの環境でよいと思う。	40 代	第三小学校
教育委員会の方がもっと教育現場に入って、保護者と学校教員と意見交換をして下さい。取り組みたいと思っても人員が足りていない事がわかると思います。	50 代	第三小学校
子ども達にアンケート等	30 代	第四小学校
ボランティアの募集をもう少し積極的に一人でも参加しやすいようにしていただきたいです。	40 代	南関中学校
少少連携、小中連携（小さなコミュニティの中で過ごすのでたくさんの人と交流する場）を設けてほしい。	40 代	南関中学校
各学校の歴史を学ぶため地域の方と触れ合う時間を作る様、南関町がリーダーシップを取り学校と協力して頂きたい。	40 代	南関中学校
南関町には世界に誇れる企業や物産がある。そこに触れる事で、南関町が誇れる町だと実感して欲しい。	40 代	南関中学校
子ども達が主体となり町のイベントを企画させる等	40 代	南関中学校
最近、祭り等で物価が高くなってきているので、子ども達の祭り離れが心配です。これに対し何か対策が必要かと思います。	50 代	南関中学校
中学校での活動として、生徒と住民(保護者や町議会議員など大人)が一緒になって、いま地域にどんな課題があるのか、課題解決のために何が必要かなど、ディスカッションをする取り組みなどもあると良いのではないかと思います。	50 代	南関中学校

問６　これからの教育においては、子どもたちの「主体的で対話的な深い学び」の実現が求められ、そのためには、多様な話し合い活動が欠かせません。
そこで、子どもたちのよりよい成長、発達のためには、学級内には一定の人数が必要であることから、今後、小学校の統廃合もやむを得ないと思うか、思わないか、ということについて、あてはまる番号１つに○をつけてください。（単数回答）

⑴　子どものよりよい成長、発達のために、今後小学校の統廃合もやむを得ないと思うかについては、「ある程度の適正人数を確保するために、統廃合は仕方ないと思う」が 63.0%と最も高く、次いで「小学校を存続させるか、統廃合するかについては、今は判断できない」17.7%、「いくら少人数であっても、現在の小学校をそのまま存続させてほしい」15.6%となっています。

⑵　年代別、学校別でみても、いずれも「ある程度の適正人数を確保するために、統廃合は仕方ないと思う」が最も高くなっています。



【クロス集計】

（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	いくら少人数であっても、現在の小学校をそのまま存続させてほしい	ある程度の適正人数を確保するために、統廃合は仕方ないと思う	小学校を存続させるか、統廃合するかについては、今は判断できない	その他	無回答
全体（単純集計）		243	38	153	43	8	1
			15.6%	63.0%	17.7%	3.3%	0.4%
年代別	20代	9	1	5	2	0	1
			11.1%	55.6%	22.2%	0.0%	11.1%
	30代	86	9	60	15	2	0
			10.5%	69.8%	17.4%	2.3%	0.0%
	40代	128	25	76	22	5	0
			19.5%	59.4%	17.2%	3.9%	0.0%
	50代	20	3	12	4	1	0
			15.0%	60.0%	20.0%	5.0%	0.0%
	60代以上	0	0	0	0	0	0
			–	–	–	–	–
学校別	第一小学校	63	12	36	13	1	1
			19.0%	57.1%	20.6%	1.6%	1.6%
	第二小学校	29	5	19	5	0	0
			17.2%	65.5%	17.2%	0.0%	0.0%
	第三小学校	44	5	25	10	4	0
			11.4%	56.8%	22.7%	9.1%	0.0%
	第四小学校	34	5	22	6	1	0
			14.7%	64.7%	17.6%	2.9%	0.0%
	南関中学校	109	19	67	18	5	0
			17.4%	61.5%	16.5%	4.6%	0.0%

問６－１　問６で「４．その他」を選んだ方は、自由にご意見をご記入ください。

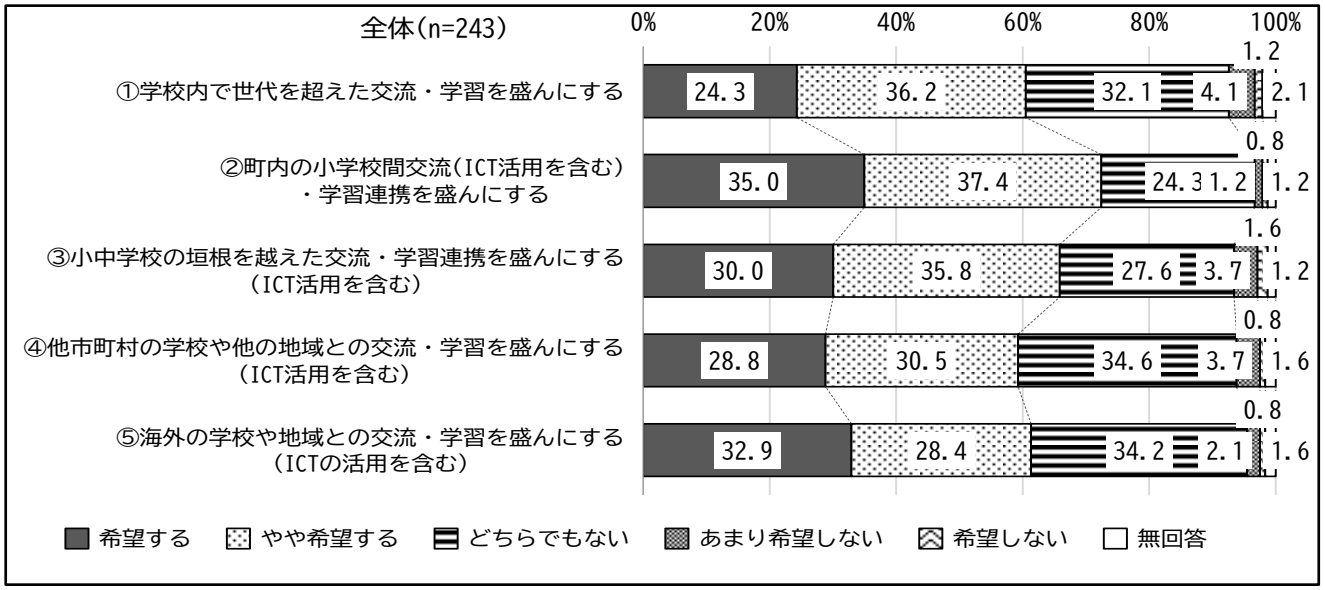
その他	年代	学校名
学習については今のまま少ない人数で良いと思うが、運動会や行事は１小～4 小まで一緒にしても良いのかなと思う。歩いて学校は行ってほしい。	30 代	第一小学校 南関中学校
統廃合した方が良い。働き方改革は仕方ないと思うので、民間への委託等を積極的にしてほしい。	40 代	第三小学校 南関中学校
校区にこだわらず、少人数や一定人数確保できている学校、学年を町内で自由に遊べるように、通えるように（スクールバス等乗合タクシー）できる取り組みはどうか。理由は様々あるけれど、不登校やフリースクールに通っている子どもさんもいるようなので、子どもに合わせて選べる対策の一つになるのではと思った。	40 代	第三小学校 南関中学校
遅すぎる	40 代	第一小学校
統合によって学校の雰囲気や校風が変わってしまうだろうから、やめて欲しい。	40 代	第一小学校
少人数できめ細かい指導をしてもらっているが、中学校、高校と進学した時に自ら学ぶことが難しくなっているように思う。ある程度の人数で、自ら学ぶ力も必要かと思います。	40 代	第一小学校
小人数の関わりに制限されているのが現状と感じます。他の小学校の友達と遊ぶにしても距離的な問題もあり、関わりが持てなくなっていると思います。統廃合することで、学校内でも他の地域の友達との交流や他地域の伝統を学ぶことができるのではないかと思います。	40 代	第一小学校
統合してどうやって通うのか。運転手の確保できるのか。確保したところで、バス代・人件費はどこから出すのか。	30 代	第三小学校
何かと問題があると、教員数が足りないと言われます。だったら統廃合して、十分な教員数を確保して、しっかりとした教育体制を整えてください。	30 代	第三小学校
統廃合になると人数（クラスの）が多くなり、先生の負担がかかり、子ども一人一人への教育に差がでてくるのではないか。	40 代	第三小学校
今のままの四校を残しつつ、適正人数を確保するため子育てしやすい町である事をもっと外へアピールし、子どもの数を増やす様町としての努力がもっと必要だと思います。町が空家をリノベしたり、新規転入者を増やす工夫は色々あると思います。 又、この様なアンケートを取るだけで終わらせず、意見を取入れ行動に移して下さい。	50 代	第三小学校
やむを得ないを前提とすることは町の方針ではないでしょうか。現在の 4 つの小学校のまま授業内容の転換（オンライン授業）や教員数についても検討が必要だと思います。少子高齢化は２０年以上前から言われてきたことで、児童数が少なくなることは分かっていたことです。いろんな方法を試した上で、結果どうしても統廃合となると理解できるかもしれません。現在４つの小学校が存続するメリット・デメリット、統廃合によるメリット・デメリットをすべて提示された上で、検討していくことだと思います。	30 代	第四小学校
すぐに統廃合等を考えず、保護者だけじゃなく町民の意見も聞くべきじゃないでしょうか。色々なメリット、デメリットがあると思います。	30 代	第四小学校
いろいろな価値観に触れる機会があったほうが、人の気持ちも理解しやすいかと思うので。	40 代	第四小学校
スクールバス等があれば統廃合をした方がいいと思います。	40 代	南関中学校
学校から遠い児童に対して通学方法の改善が必要。	40 代	南関中学校
校区ごとの特性を活かした活動が出来るので、統合してほしくないです。	40 代	南関中学校

その他	年代	学校名
少ない人数で学ぶ良さもあると思いますが、多くの人と交流することで、見聞を広げることもできると思います。不登校の多さも気になります。子どもたちの将来を考えると、小さい時からいろいろな人と関わることはとても大切だと考えます。保護者のつながりも含めて。	40 代	南関中学校
個人的には可能な限り、現在の４つの小学校を存続させていただきたいという希望を持っていますが、長期的にみるといずれは統廃合等をせざるを得ない時が来るかもしれないとは思っています。児童・生徒の数が少ないことはデメリットばかりではありません。少人数だからこそできる質の高い教育が実践され、地域自体を暮らしやすく魅力のある地域にすることで、児童数の減少のスピードを少しでも遅らせることが必要ではないかと考えます。	50 代	南関中学校
統合したとしても生徒に目が届かなければ統合する意味はなくなるので、生徒一人一人に学習や体験ができるように一クラスの人数は少なめにしたほうが良いと思います。	50 代	南関中学校

問７　将来的に児童数が減少した際に、町の対応として希望することに関して、次の項目ごとにあてはまる番号１つに○をつけてください。（単数回答）

⑴ 将来的に児童数が減少した際、町に希望する対応策について希望度が高い（「希望する」＋「やや希望する」）のは、「町内の小学校間交流（ICT 活用を含む）・学習連携を盛んにする」が 72.4％と最も高く、次いで「小中学校の垣根を越えた交流・学習連携を盛んにする（ICT 活用を含む）」65.8％、「海外の学校や地域との交流・学習を盛んにする（ICT の活用を含む）」61.3％となっています。

⑵ 希望度が低い「（あまり希望しない）＋（希望しない）」については、いずれの項目も１割を切っています。



問７－１　問７の項目以外で希望することがありましたら、ご記入ください。

希望すること	年代	学校名
視野を町外・県外・国外広く持てる取組み	40 代	第三小学校 南関中学校
できれば、大学生との交流もしてほしいです。	40 代	第一小学校
親が使い方がわからないといけない。学習会で交流、共通でできる内容を。	40 代	第三小学校
実際、子どもの数は減っていますが、減る事を前提とした考え方をまずやめていただきたいです。	50 代	第三小学校
児童数が減少するのであれば、交流・連携もいいかもしれないが早く統合してほしい。	20 代	第四小学校
特にありませんが、やはり学校の垣根を越えた交流は必要かと思います。	50 代	南関中学校

問８　最後に、学校教育全般に関してご意見がございましたら、自由にご記入ください。

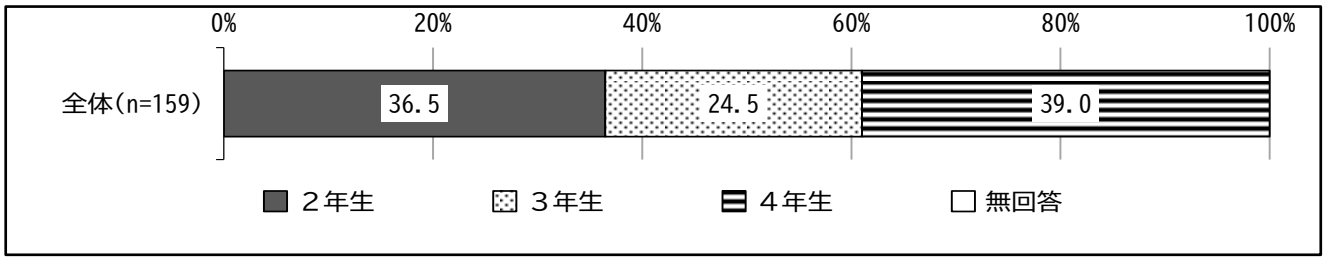
学校教育全般に関しての意見	年代	学校名
給食、特産品・農産物が多い町だと思うので、地産地消にこだわる、知る、地域の方に手伝ってもらう機会がつくられていて恵まれていると感じるが、保護者の参加が難しいのか減っているような気がするので参加しやすい新しい取り組みができないのか。今住んでいる人が満足したり、他に誇れるような環境整備が住み続けたい町へとつながると思う。	40 代	第三小学校 南関中学校
地域の協力を得ながら、各学校の特色ある取り組みがなされているので、どうか持続してほしい。魅力ある学校を核とした地域づくりを目指してほしい。	40 代	第四小学校 南関中学校
先生方の負担が大きくならないような、働き方改革の推進をお願いします。先生方がイキイキと授業をしてもらうと、子ども達も楽しく学べると思います。	40 代	第一小学校
現在の南関町の教育に何の期待もない。	40 代	第一小学校
子どもが少ないことはデメリットだけではないと思いますが、たくさんの経験が必要だと思うので、南関町で育った子どもたちが自信を持って社会へ出ていける土台作りをお願いします。	40 代	第二小学校
いじめをなくしてほしい	30 代	第三小学校
南関町自体の全体的に学力が低く感じる。職員も足りていないようだし、子どもの数も少なくなっているので早めに統合するなどしないとレベルが低いままになると思う。	30 代	第三小学校
いつもありがとうございます	30 代	第三小学校
まだ１年生なのでわからないことも多いですが、兄弟のところが多く一世帯当たりの負担がかなり増えている気がします。ボランティアで協力して下さる地域の方々の力もあって成り立っているのでありがたいです。でも一方でボランティアの方々に頼りっぱなしな所も良くないと感じています。放課後子ども教室もボランティアですが、求められることのレベルが高いです。	30 代	第三小学校
いじめはどう乗り越えていくかの勉強が必要。相手の気持ちがわかれば仲良くできる。学生時代は守られているが、社会に出たら免疫ないと乗り越えていくことができない。乗り越えていく力をつけていく。いじめはあり	40 代	第三小学校

学校教育全般に関しての意見	年代	学校名
ません、というのはおかしな話、相手が嫌と思ったのはいじめであるので、なんで嫌なのかを理解して相手の気持ちを理解して対応できる力を身につけてほしいです。		
特別支援教育を専門にされている先生、詳しい方、親の悩み含め傾聴していただける方の配置を強く希望します。	30 代	第四小学校
支援学級の先生がいない為、学校での支援が不十分だと思っています。	20 代	南関中学校
配布されている児童数の推計について、四小の 2028 と 2029 の児童数が人口動態から計算できる人数と異なるのですが、なにか理由があるのでしょうか？本アンケートの根幹となる数値であるため、誤りは許されないと思いますが。	40 代	南関中学校
地域の方や保護者の方を学校内に入れ、生徒をもっと見守るべきだと思う。見えてない部分でのいじめ、暴力などが多く、先生だけでは対処出来てない。	40 代	南関中学校
中学校で学力充実を希望します。ICT 活用は小学校で充実していましたが中学では使用頻度も少ないようです。進学にもつながる中学校生活を実りあるものにするため、南関町独自の取り組みに期待します。	40 代	南関中学校
地域に学校があるという事は地域の方と接する時間があり、それぞれが刺激し合える関係になると思います。少人数であったとしてもテレコミューティング等で離れていても意見の交換が出来ると思います。高校がなくなり 15 才以上の子ども達が南関町にいない時間があるので、せめて小学校くらいは地域に残してほしいと思います。	40 代	南関中学校
少人数であっても他行の児童と交流する機会をたくさん設ければ、もの怖じしない意見発表できる子達になるかも。1 小の子の人数は多い方だが、今まで 1 小の子達が学習面・生活態度面など優れていると感じたことはない。児童数の多少だけで学びの差があるとは考えない。	40 代	南関中学校
ある程度の学校のルールは必要と思うが、そのルールさえも子どもたちで話し合って決めてほしい。先生たちの意見を絶対だと思わせないでほしい。	40 代	南関中学校
学習も大事ですが、何より自分達をちゃんと見てくれる大人や先生、生徒がいるから心配しないで学校に来て良い事を日常に感じてもらいたいと思います。見守られている事、大事にされていると思うことで自己肯定力がつくと思います。自分はここにいて安心して授業や体験ができると感じられるような小学校になれば良いなと思います。	50 代	南関中学校
部活に対して外部委託が進む事で、部活動に入る児童が減少する事が不安かな？	50 代	南関中学校
社会人としての常識やルールを身につけることは大切なことですが、そのことと従順で人に言われた通りにする人間であることは別だと考えます。前の回答にも書きましたが、自分の頭で考え、批評的な思考のできる人間であることは大切だと考えますし、そのためには子ども達を信じて、ある程度児童・生徒の裁量に任せて放っておくという態度も指導者の側に求められるのではないかと思います。現場の先生方がそれぞれに頑張っておられるのは承知しておりますので、国がより教育に予算を割き、人員数や働き方も含め、先生方がいろいろな意味で余裕を持って指導できる体制が確保されることを希望しております。その実現のために何ができるかとなるとなかなか難しい問題ではありますが…。	50 代	南関中学校
学力が他校に比べると低いと思います。このままだと不安しかありません。	40 代	－

2．小学２～小学４年生用アンケート調査

問１　あなたは何年生ですか。（単数回答）

⑴ 学年については、「２年生」が 36.5%、「３年生」が 24.5%、「４年生」が 39.0%となっています。



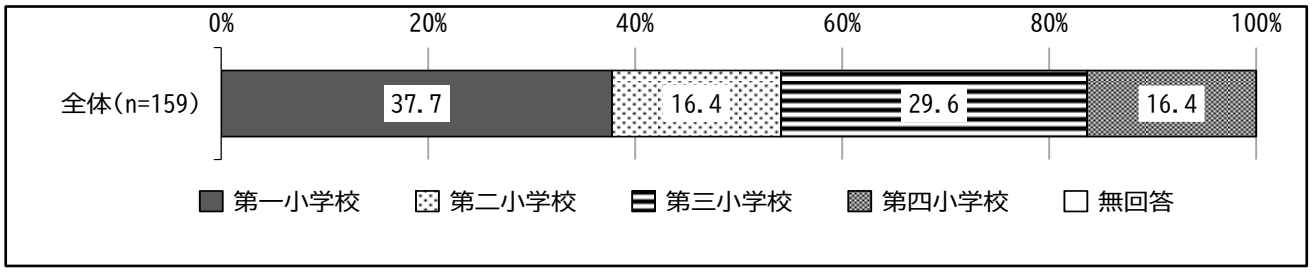
【クロス集計】

（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	２年生	３年生	４年生	無回答
全体（単純集計）		159	58	39	62	0
			36.5%	24.5%	39.0%	0.0%
学校別	第一小学校	60	20	19	21	0
			33.3%	31.7%	35.0%	0.0%
	第二小学校	26	8	4	14	0
			30.8%	15.4%	53.8%	0.0%
	第三小学校	47	20	16	11	0
			42.6%	34.0%	23.4%	0.0%
	第四小学校	26	10	0	16	0
			38.5%	0.0%	61.5%	0.0%

問２　あなたの学校をえらんでください。（単数回答）

⑴ 学校については、「第一小学校」が 37.7%と最も高く、次いで「第三小学校」29.6%、「第二小学校」「第四小学校」がともに 16.4%となっています。



【クロス集計】

（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	第一小学校	第二小学校	第三小学校	第四小学校	無回答
全体（単純集計）		159	60	26	47	26	0
			37.7%	16.4%	29.6%	16.4%	0.0%
学年別	小学2年生	58	20	8	20	10	0
			34.5%	13.8%	34.5%	17.2%	0.0%
	小学3年生	39	19	4	16	0	0
			48.7%	10.3%	41.0%	0.0%	0.0%
	小学4年生	62	21	14	11	16	0
			33.9%	22.6%	17.7%	25.8%	0.0%

※問３～５：自由記述の詳細については、P92 以降を参照

問３　学校やクラスのいいところ、じまんできるところをじゆうに書いてください。

学年	学校やクラスのいいところ、自慢できるところ（抜粋）	
２年	発表をたくさんする。	助けあいをするところ。
	みんなが遊んでくれる。	優しいところ。
	大きな声で挨拶をする。	１分前行動ができる。
	九九と漢字を頑張っている。	プラタナスがあるところ。
	資源回収	先生が絵が上手いこと。
３年	元気がいいところ。	たくさん発表するところ。
	挨拶をする。	優しいところ。
	楽しい。	仲が良い。
	助け合う。	たくさん食べるところ。
４年	面白い。	協力できる。
	元気。	校門のところで挨拶をするところ。
	助け合いができる。	仲が良い。
	優しい。	楽しい。

問４　学校やクラスのもっとよくしたいところ、よくなってほしいところをじゆうに書いてください。

学年	学校やクラスの改善点（抜粋）	
２年	グーペタピンをよくしてほしい。	あだ名や呼び捨てをしないように。
	喧嘩をしないように。	姿勢を正しくする。
	もっとみんなと仲良くしたい。	無言掃除を頑張りたい。
	名札をつけていないこと。	一分前行動。
	スキルアップをする。	廊下を走らない。
３年	授業中のお喋りをなくしたい。	喧嘩をなくしてほしい。
	声をもっと大きくする。	言い返さないこと。
４年	喧嘩が多いのでなくしたい。	授業中のお喋りをなくしたい。
	差別をなくしてほしい。	助け合い。

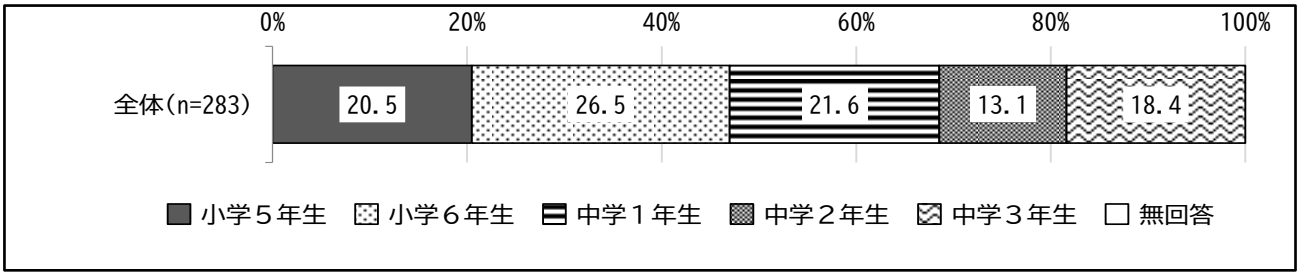
問５　学校では、どんなことがたのしいですか。すきなことやたのしかったことをじゆうに書いてください。

学年	学校で楽しいこと・好きなこと（抜粋）	
２年	ドッジボール。	友達と一緒に遊ぶこと。
	授業	昼休み。
	縄跳び。	鬼ごっこ。
	タブレットを使うこと。	先生と話すこと。
３年	友達と遊ぶこと。	レクリエーション。
	友達と話すこと。	授業が楽しい。
	昼休みに遊ぶこと。	鬼ごっこ。
４年	友達と遊ぶこと。	友達と話すこと。
	昼休み。	授業・勉強
	ドッジボール	クラブ活動

3．小学５年・６年生、中学生用アンケート調査

問１　あなたの学年をお答えください。（単数回答）

⑴ 学年については、「小学６年生」が 26.5%と最も高く、次いで「中学１年生」21.6%、「小学５年生」20.5%となっています。



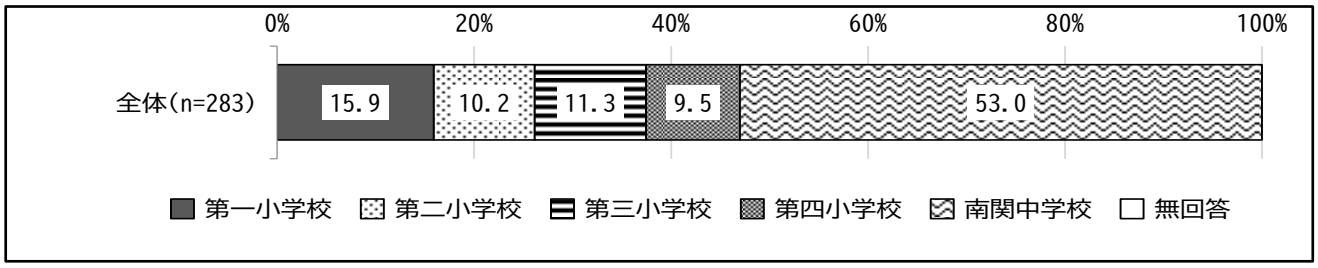
【クロス集計】

（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	小学5年生	小学6年生	中学1年生	中学2年生	中学3年生	無回答
全体（単純集計）		283	58	75	61	37	52	0
			20.5%	26.5%	21.6%	13.1%	18.4%	0.0%
学校別	第一小学校	45	15	30	0	0	0	0
			33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	第二小学校	29	14	15	0	0	0	0
			48.3%	51.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	第三小学校	32	17	15	0	0	0	0
			53.1%	46.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	第四小学校	27	12	15	0	0	0	0
			44.4%	55.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	南関中学校	150	0	0	61	37	52	0
			0.0%	0.0%	40.7%	24.7%	34.7%	0.0%

問２　あなたが通っている学校はどこですか。（単数回答）

⑴ 学校については、「南関中学校」が 53.0%と最も高く、次いで「第一小学校」15.9%、「第三小学校」11.3%となっています。



【クロス集計】

（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	第一小学校	第二小学校	第三小学校	第四小学校	南関中学校	無回答
全体（単純集計）		283	45	29	32	27	150	0
			15.9%	10.2%	11.3%	9.5%	53.0%	0.0%
学年別	小学5年生	58	15	14	17	12	0	0
			25.9%	24.1%	29.3%	20.7%	0.0%	0.0%
	小学6年生	75	30	15	15	15	0	0
			40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	中学1年生	61	0	0	0	0	61	0
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	中学2年生	37	0	0	0	0	37	0
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	中学3年生	52	0	0	0	0	52	0
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

問３　自分の学校や学級のいいところ、自慢できるところを自由に書いてください。

学年	学校やクラスのいいところ、自慢できるところ（抜粋）	
小５	仲が良い。	明るい。楽しい。
	学年関係なく遊ぶところ。	元気がいい。面白い。
	金栗四三さんが先輩なところ。	挨拶をする。
小６	発表する人が多い。	挨拶をする。
	いじめがないところ。	むくの木という木があるところ。
	校歌。	クラスの仲が良い。
	男女関係なく仲がいい。	明るい。面白い。
	優しいところ。	元気。
中１	明るいところ。	楽しい。面白い。
	協力し合える。	挨拶。
	男女・先輩後輩関係なく仲が良い。	賑やか。
中２	明るい。	仲が良い。
	元気がいい。	優しい。
	協力的。団結力がある。	挨拶。
中３	元気がいい。	明るい。
	協力的。団結力がある。	男女関係なく仲良い。

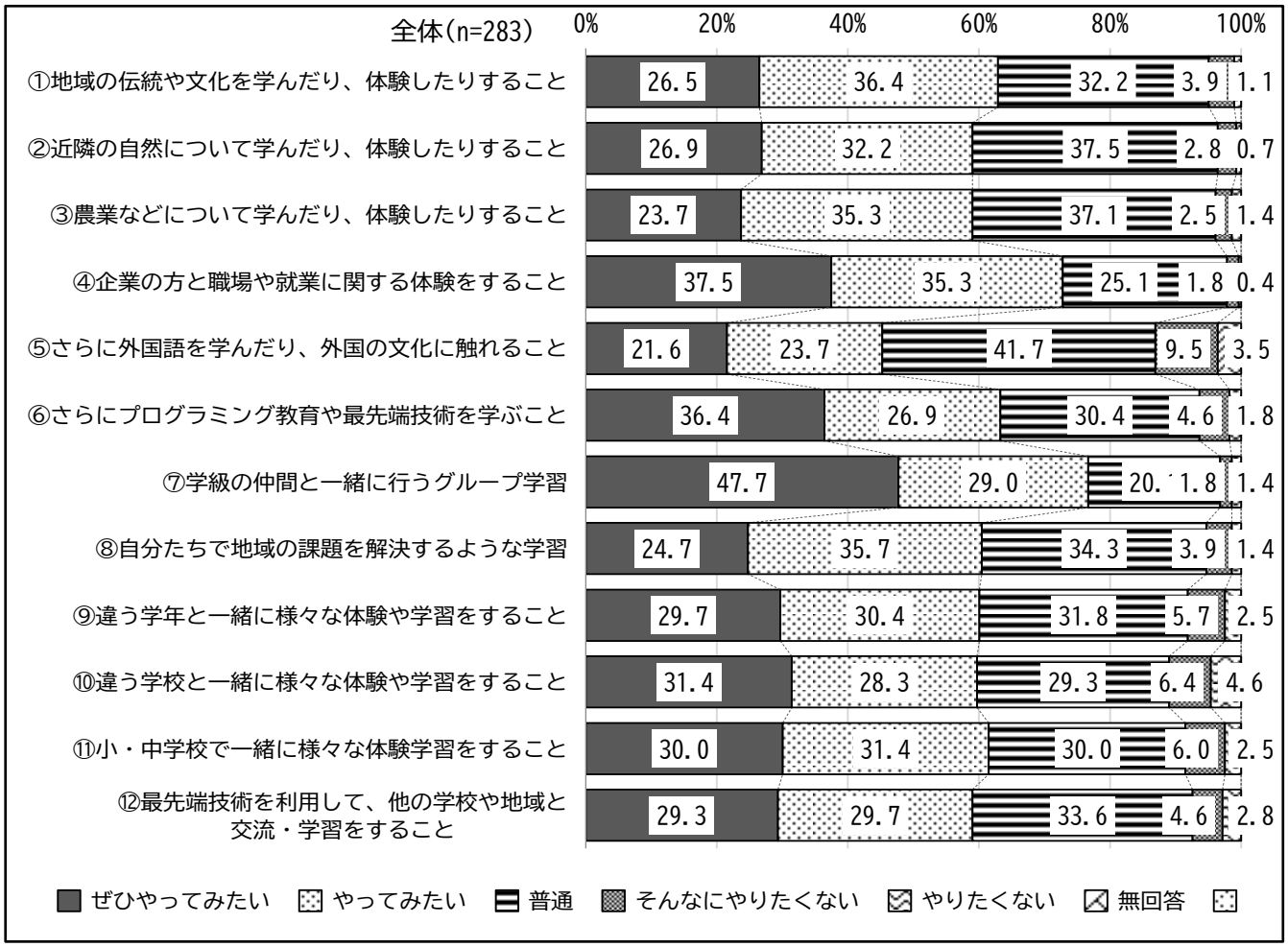
問４　自分の学校や学級のもっとよくしたいところ、よくなってほしいところを自由に書いてください。

学年	学校やクラスの改善点（抜粋）	
小５	授業中喋らない。	喧嘩をなくす。
	差別をなくす。	悪口を言わない。
	挨拶をしてほしい。	仲良くする。
	素直に謝る。	やり抜く力。
小６	授業中のムダなお喋りをしない。	挨拶を返してほしい。
	いじめをなくす。	悪口を言わない。
	廊下を走らない、右側を歩いてほしい。	「くん」「さん」付け
	喧嘩をしない。	うるさいところ。
中１	授業中のお喋り。	うるさい、騒がしいところ。
	提出物を期限までに出す。	メリハリをつける。
中２	積極的に発表する。	授業中の私語が多い。
中３	授業中に私語が多い。	メリハリ、けじめをつける。
	授業と休み時間の時間の切り替え。	みんな仲良く。

問５　これから学校でやってみたいことについて、項目ごとにあてはまる番号１つに○をつけてください。（単数回答）

⑴ 今後学校でやりたい（「ぜひやってみたい」＋「やってみたい」）ことでは、「学級の仲間と一緒に行うグループ学習」が 76.7%と最も高く、次いで「企業の方と職場や就業に関する体験をすること」72.8%、「さらにプログラミング教育や最先端技術を学ぶこと」63.3%となっています。

⑵ やりたくない「（そんなにやりたくない）＋（やりたくない）」では、「さらに外国語を学んだり、外国の文化に触れること」「違う学校と一緒に様々な体験や学習をすること」の割合は１割を超えていますが、他の項目は１割を切っています。



問５－１　問５の項目以外で、やってみたいことがありましたら、ご記入ください。

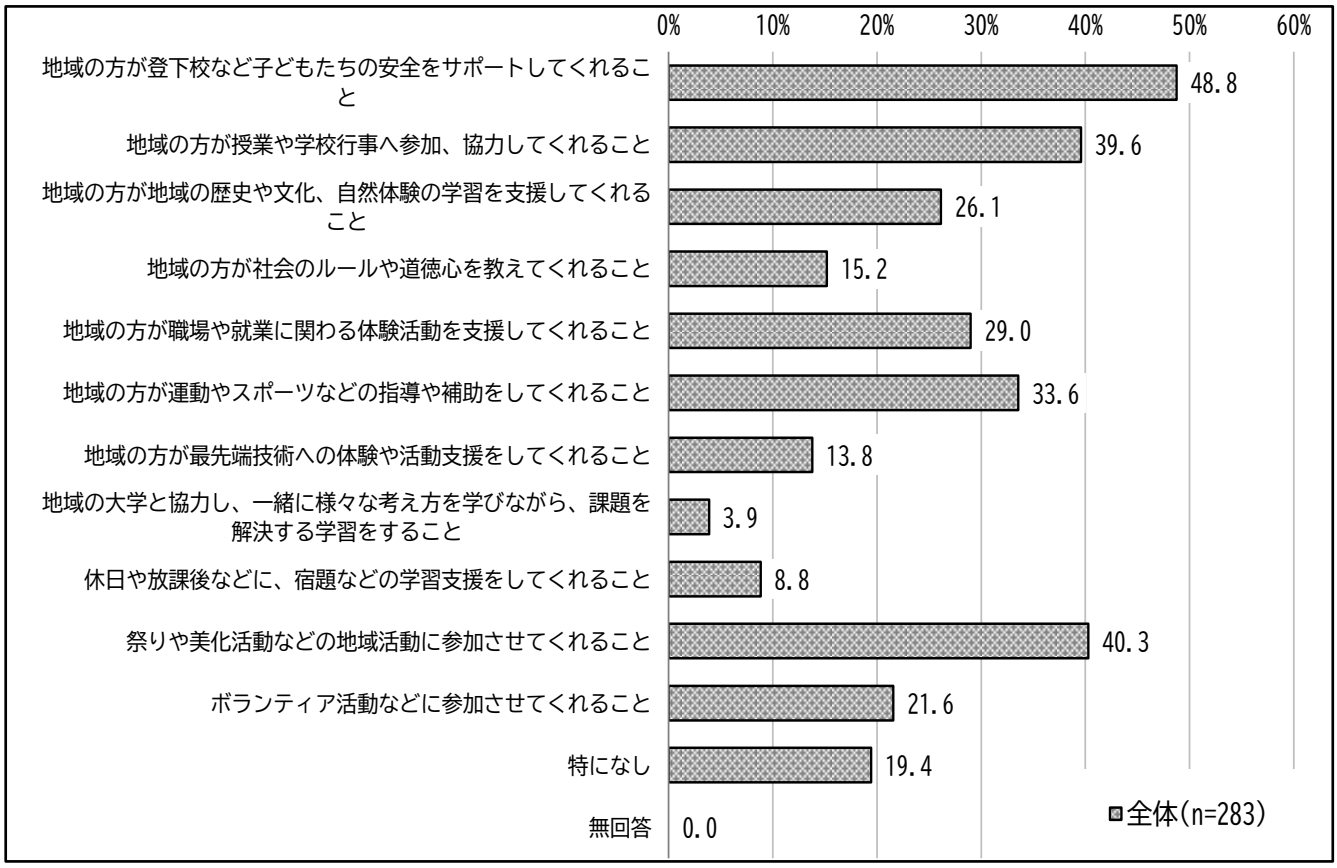
やってみたいこと	学年	学校名
絵を描くこと	5年	第一小学校
救命救急法	5年	第一小学校
文化祭	6年	第一小学校
社会の厳しさを学ぶ。	6年	第一小学校
お年寄りの人と交流したい。	6年	第一小学校
グループ学習	6年	第一小学校
普段できない体験をする「カヌーなど」	5年	第二小学校
小中学生と対決をしたい。	5年	第二小学校
学校全部の学年と体験に行きたい。	5年	第二小学校
たこ焼きパーティー	5年	第二小学校
ジムに行きたい。	5年	第三小学校
違う学年と合唱や演奏	5年	第三小学校
違う学年と学習したい。	6年	第三小学校
サッカー	5年	第四小学校
全学年で何かしたいです。	6年	第四小学校
くまもんと一緒に何かしたい！	6年	第四小学校
違う学校と一緒に様々な体験、学習をする。	1年	南関中学校
プログラミングや最先端のことを学ぶこと	2年	南関中学校
高齢者と関わる。	2年	南関中学校
文化の日で屋台を出したい。	2年	南関中学校
学校全体で楽しめる、イベント	3年	南関中学校
他の町の子とも学習したい。	3年	南関中学校
戦争への知識をもっと深める授業	3年	南関中学校

問６　地域との関わりについて期待することは何ですか。（複数回答）

⑴ 地域との関わりについて期待することでは、「地域の方が登下校など子どもたちの安全をサポートしてくれること」が 48.8%と最も高く、次いで「祭りや美化活動などの地域活動に参加させてくれること」40.3%、「地域の方が授業や学校行事へ参加、協力してくれること」39.6%となっています。

⑵ 学年別でみると、小学 6 年生及び中学 3 年生では「祭りや美化活動などの地域活動に参加させてくれること」、他の学年では「地域の方が登下校など子どもたちの安全をサポートしてくれること」が最も高くなっています。

⑶ 学校別でみると、第二小学校では「地域の方が授業や学校行事へ参加、協力してくれること」、第四小学校では「祭りや美化活動などの地域活動に参加させてくれること」、他の学校では「地域の方が登下校など子どもたちの安全をサポートしてくれること」が最も高くなっています。また、第三小学校では「地域の方が運動やスポーツなどの指導や補助をしてくれること」、第四小学校では「特になし」が他の学校と比べて高くなっています。



【クロス集計】

（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	地域の方が登下校など子どもたちの安全をサポートしてくれること	地域の方が授業や学校行事へ参加、協力してくれること	地域の方が地域の歴史や文化、自然体験の学習を支援してくれること	地域の方が社会のルールや道徳心を教えてくれること	地域の方が職場や就業に関わる体験活動を支援してくれること	地域の方が運動やスポーツなどの指導や補助をしてくれること	地域の方が最先端技術への体験や活動支援をしてくれること	地域の大学と協力し、一緒に様々な考え方を学びながら、課題を解決する学習をすること	休日や放課後などに、宿題などの学習支援をしてくれること	祭りや美化活動などの地域活動に参加させてくれること	ボランティア活動などに参加させてくれること	特になし	無回答
全体（単純集計）		283	138	112	74	43	82	95	39	11	25	114	61	55	0
			48.8%	39.6%	26.1%	15.2%	29.0%	33.6%	13.8%	3.9%	8.8%	40.3%	21.6%	19.4%	0.0%
学年別	小学5年生	58	32	26	17	8	15	20	3	1	4	21	13	14	0
			55.2%	44.8%	29.3%	13.8%	25.9%	34.5%	5.2%	1.7%	6.9%	36.2%	22.4%	24.1%	0.0%
	小学6年生	75	33	22	27	13	19	27	11	3	7	34	14	15	0
			44.0%	29.3%	36.0%	17.3%	25.3%	36.0%	14.7%	4.0%	9.3%	45.3%	18.7%	20.0%	0.0%
	中学1年生	61	34	23	15	5	17	17	12	4	5	23	14	14	0
			55.7%	37.7%	24.6%	8.2%	27.9%	27.9%	19.7%	6.6%	8.2%	37.7%	23.0%	23.0%	0.0%
	中学2年生	37	19	18	6	9	13	8	3	1	2	12	11	9	0
			51.4%	48.6%	16.2%	24.3%	35.1%	21.6%	8.1%	2.7%	5.4%	32.4%	29.7%	24.3%	0.0%
	中学3年生	52	20	23	9	8	18	23	10	2	7	24	9	3	0
			38.5%	44.2%	17.3%	15.4%	34.6%	44.2%	19.2%	3.8%	13.5%	46.2%	17.3%	5.8%	0.0%
学校別	第一小学校	45	20	16	14	10	14	15	6	2	2	18	10	8	0
			44.4%	35.6%	31.1%	22.2%	31.1%	33.3%	13.3%	4.4%	4.4%	40.0%	22.2%	17.8%	0.0%
	第二小学校	29	13	16	12	4	5	9	3	1	3	15	4	2	0
			44.8%	55.2%	41.4%	13.8%	17.2%	31.0%	10.3%	3.4%	10.3%	51.7%	13.8%	6.9%	0.0%
	第三小学校	32	18	8	9	6	10	17	3	0	4	6	9	6	0
			56.3%	25.0%	28.1%	18.8%	31.3%	53.1%	9.4%	0.0%	12.5%	18.8%	28.1%	18.8%	0.0%
	第四小学校	27	14	8	9	1	5	6	2	1	2	16	4	13	0
			51.9%	29.6%	33.3%	3.7%	18.5%	22.2%	7.4%	3.7%	7.4%	59.3%	14.8%	48.1%	0.0%
	南関中学校	150	73	64	30	22	48	48	25	7	14	59	34	26	0
			48.7%	42.7%	20.0%	14.7%	32.0%	32.0%	16.7%	4.7%	9.3%	39.3%	22.7%	17.3%	0.0%

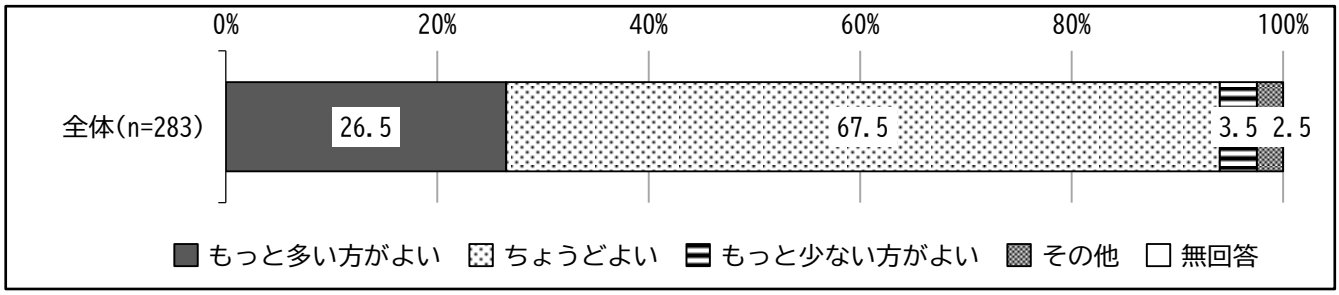
問６－１　問６の項目以外で地域に期待することがありましたら、ご記入ください。

地域に期待すること	学年	学校名
家庭科に学習や書写の学習で手伝ってくれる。	６年	第一小学校
水泳大会	５年	第三小学校
ボランティア	５年	第三小学校
スポーツをみんなですること	６年	第三小学校
年寄りの人の手伝い	６年	第四小学校
日本の社会について教えてくれる。	２年	南関中学校
みんなの団結力	３年	南関中学校
中学生のクラブチームを作ること	３年	南関中学校
地域の人と色々な活動をして、コミュニケーションをとっていきたい。	３年	南関中学校

問７　あなたが通っている（通っていた）南関町の小学校について、１学級あたりの児童数をどう思いますか。

⑴ 小学校の１学級あたりの児童数については、「ちょうどよい」が 67.5%と最も高く、次いで「もっと多い方がよい」26.5%、「もっと少ない方がよい」3.5%となっています。

⑵ 学年別、学校別でみても「ちょうどよい」が最も高く、特に小学５年生及び第三小学校では７割を超えています。



【クロス集計】

（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	もっと多い方がよい	ちょうどよい	もっと少ない方がよい	その他	無回答
全体（単純集計）		283	75	191	10	7	0
			26.5%	67.5%	3.5%	2.5%	0.0%
学年別	小学5年生	58	9	45	0	4	0
			15.5%	77.6%	0.0%	6.9%	0.0%
	小学6年生	75	19	47	7	2	0
			25.3%	62.7%	9.3%	2.7%	0.0%
	中学1年生	61	19	40	1	1	0
			31.1%	65.6%	1.6%	1.6%	0.0%
	中学2年生	37	12	24	1	0	0
			32.4%	64.9%	2.7%	0.0%	0.0%
	中学3年生	52	16	35	1	0	0
			30.8%	67.3%	1.9%	0.0%	0.0%
学校別	第一小学校	45	11	30	3	1	0
			24.4%	66.7%	6.7%	2.2%	0.0%
	第二小学校	29	9	19	0	1	0
			31.0%	65.5%	0.0%	3.4%	0.0%
	第三小学校	32	4	26	1	1	0
			12.5%	81.3%	3.1%	3.1%	0.0%
	第四小学校	27	4	17	3	3	0
			14.8%	63.0%	11.1%	11.1%	0.0%
	南関中学校	150	47	99	3	1	0
			31.3%	66.0%	2.0%	0.7%	0.0%

その他	学年	学校名
もう少し多いほうがいい	５年	第一小学校
少しだけ増やしたい	５年	第二小学校
生徒が年々減少しているから	６年	第三小学校
どうなってもいい	５年	第四小学校
一人多く	５年	第四小学校
男を増やしたい	６年	第四小学校

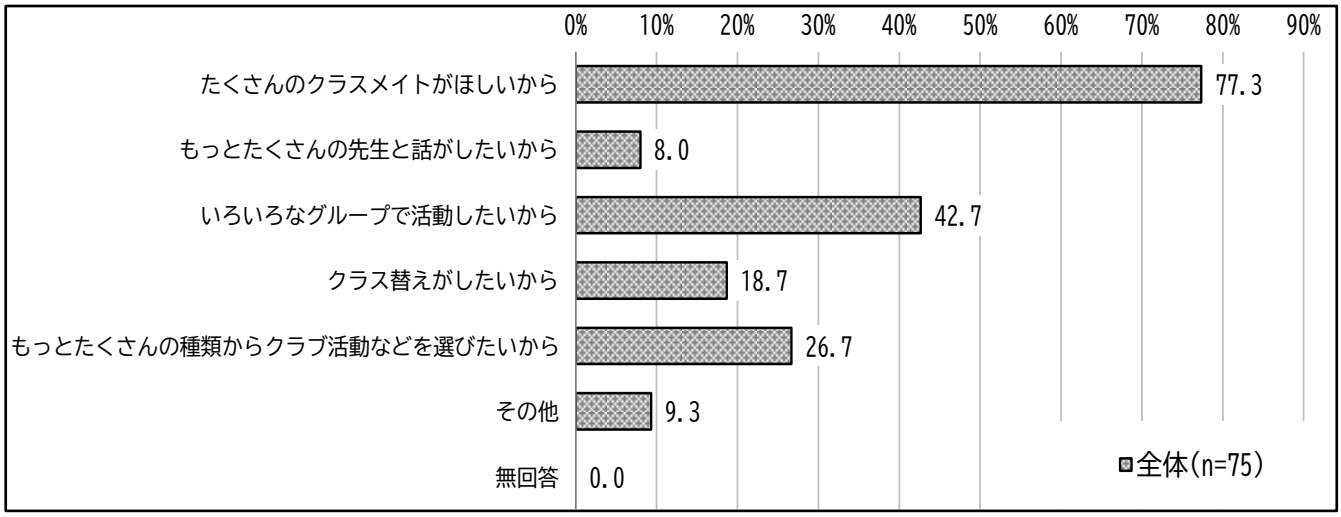
問７で「１．もっと多い方がよい」と回答した方のみ

問７－１　もっと多い方がよいと思うのはなぜですか。（複数回答）

⑴ 小学校の１学級あたりの児童数がもっと多い方がよいと思う理由については、「たくさんのクラスメイトがほしいから」が77.3%と最も高く、次いで「いろいろなグループで活動したいから」42.7%、「もっとたくさんの種類からクラブ活動などを選びたいから」26.7%となっています。

⑵ 学年別でみても、いずれも「たくさんのクラスメイトがほしいから」が最も高くなっています。また、中学生では「いろいろなグループで活動したいから」が高く、中学２年生からは「もっとたくさんの種類からクラブ活動などを選びたいから」が低くなっています。

※学校別についてはサンプル数が少ないため参考程度。



【クロス集計】

（上段：人　下段：%）

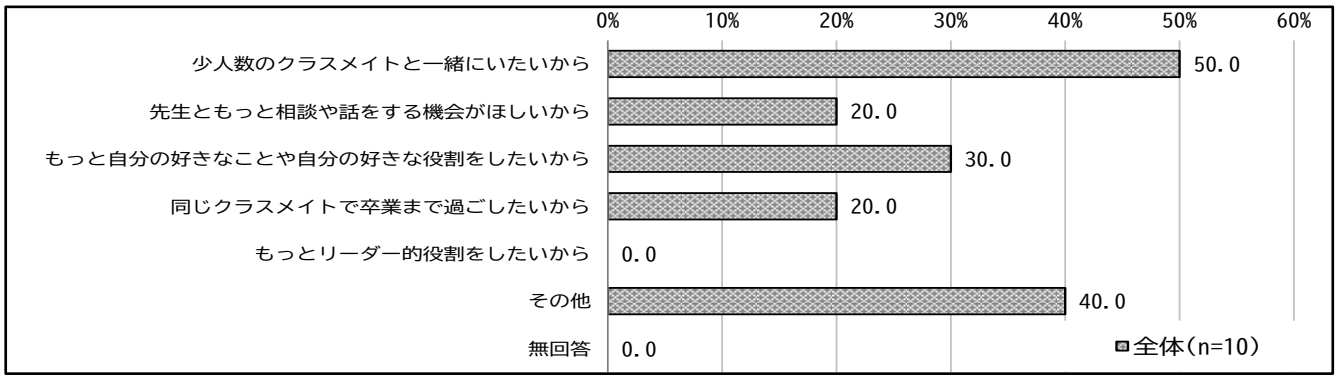
		標本数（人）	たくさんのクラスメイトがほしいから	もっとたくさんの先生と話がしたいから	いろいろなグループで活動したいから	クラス替えがしたいから	もっとたくさんの種類からクラブ活動などを選びたいから	その他	無回答
全体（単純集計）		75	58	6	32	14	20	7	0
			77.3%	8.0%	42.7%	18.7%	26.7%	9.3%	0.0%
学年別	小学5年生	9	8	2	3	1	3	0	0
			88.9%	22.2%	33.3%	11.1%	33.3%	0.0%	0.0%
	小学6年生	19	14	2	5	3	6	2	0
			73.7%	10.5%	26.3%	15.8%	31.6%	10.5%	0.0%
	中学1年生	19	13	0	8	4	7	3	0
			68.4%	0.0%	42.1%	21.1%	36.8%	15.8%	0.0%
	中学2年生	12	10	0	6	2	3	1	0
			83.3%	0.0%	50.0%	16.7%	25.0%	8.3%	0.0%
	中学3年生	16	13	2	10	4	1	1	0
			81.3%	12.5%	62.5%	25.0%	6.3%	6.3%	0.0%
学校別	第一小学校	11	8	2	4	2	4	0	0
			72.7%	18.2%	36.4%	18.2%	36.4%	0.0%	0.0%
	第二小学校	9	7	2	3	0	2	1	0
			77.8%	22.2%	33.3%	0.0%	22.2%	11.1%	0.0%
	第三小学校	4	4	0	1	1	1	0	0
			100.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	第四小学校	4	3	0	0	1	2	1	0
			75.0%	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%
	南関中学校	47	36	2	24	10	11	5	0
			76.6%	4.3%	51.1%	21.3%	23.4%	10.6%	0.0%

その他	学年	学校名
全体で遊ぶときに少ないから多い方が楽しいと思う	6年	第二小学校
男が少ないから、クラスが少ないから	6年	第四小学校
人数が多いほど小学校からコミュニケーション力をつけることができるから	1年	南関中学校
少しずつ少なくなって、活動するときに大変になるから	1年	南関中学校
特に理由はないけど、前と比べて人が少なすぎるから	1年	南関中学校
困ったことは人数が多い方がよいから	2年	南関中学校
たくさんの人と意見を交換した方がいいと思うから	3年	南関中学校

問７で「３．もっと少ない方がよい」と回答した方のみ

問７－２　もっと少ない方がよいと思うのはなぜですか。（複数回答）

⑴ 小学校の１学級あたりの児童数がもっと少ない方がよいと思う理由については、サンプル数が少ないため参考程度ですが、結果は以下の通りです。



【クロス集計】

（上段：人　下段：%）

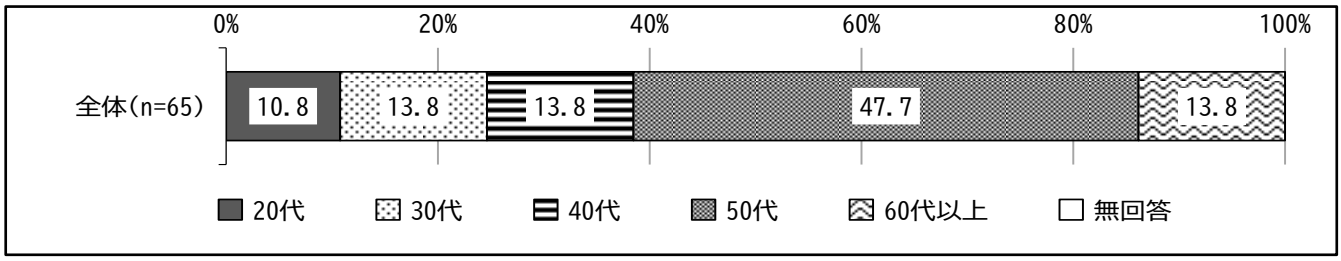
		標本数（人）	少人数のクラスメイトと一緒にいたいから	先生ともっと相談や話をする機会がほしいから	もっと自分の好きなことや自分の好きな役割をしたいから	同じクラスメイトで卒業まで過ごしたいから	もっとリーダー的役割をしたいから	その他	無回答
全体（単純集計）		10	5	2	3	2	0	4	0
			50.0%	20.0%	30.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%
学年別	小学5年生	0	0	0	0	0	0	0	0
			–	–	–	–	–	–	–
	小学6年生	7	2	2	2	1	0	4	0
			28.6%	28.6%	28.6%	14.3%	0.0%	57.1%	0.0%
	中学1年生	1	1	0	0	1	0	0	0
			100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	中学2年生	1	1	0	0	0	0	0	0
			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	中学3年生	1	1	0	1	0	0	0	0
			100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
学校別	第一小学校	3	1	1	1	0	0	2	0
			33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%
	第二小学校	0	0	0	0	0	0	0	0
			–	–	–	–	–	–	–
	第三小学校	1	0	1	0	0	0	1	0
			0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	第四小学校	3	1	0	1	1	0	1	0
			33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%
	南関中学校	3	3	0	1	1	0	0	0
			100.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%

その他	学年	学校名
全員の意見を聞きたいから	６年	第一小学校
人が多いところがあまり好きではないから	６年	第三小学校
授業中うるさいから	６年	第四小学校

4．小中学校教職員用アンケート調査

問1　ご記入者(あなた)の年代の番号に○をつけてください。(単数回答)

(1) 年代については、「50 代」が 47.7%と最も高く、次いで「30 代」「40 代」「60 代以上」がともに 13.8%、「20 代」10.8%となっています。



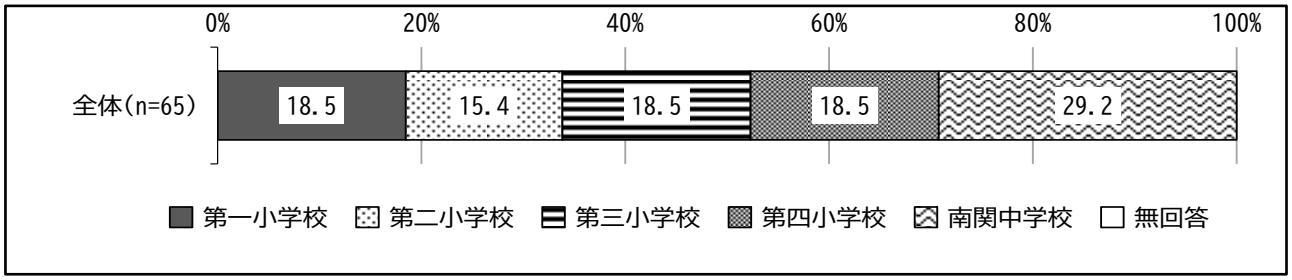
【クロス集計】

(上段：人　下段：%)

		標本数(人)	20代	30代	40代	50代	60代以上	無回答
全体(単純集計)		65	7	9	9	31	9	0
			10.8%	13.8%	13.8%	47.7%	13.8%	0.0%
勤務学校別	第一小学校	12	2	2	1	6	1	0
			16.7%	16.7%	8.3%	50.0%	8.3%	0.0%
	第二小学校	10	2	1	2	4	1	0
			20.0%	10.0%	20.0%	40.0%	10.0%	0.0%
	第三小学校	12	0	2	3	5	2	0
			0.0%	16.7%	25.0%	41.7%	16.7%	0.0%
	第四小学校	12	1	1	0	9	1	0
			8.3%	8.3%	0.0%	75.0%	8.3%	0.0%
	南関中学校	19	2	3	3	7	4	0
			10.5%	15.8%	15.8%	36.8%	21.1%	0.0%

問２　あなたが勤務している学校について、あてはまる番号に○をつけてください。（複数回答）

⑴ 勤務している学校については、「南関中学校」が 29.2%と最も高く、次いで「第一小学校」「第三小学校」「第四小学校」がともに 18.5%、「第二小学校」15.4%となっています。



【クロス集計】

（上段：人　下段：%）

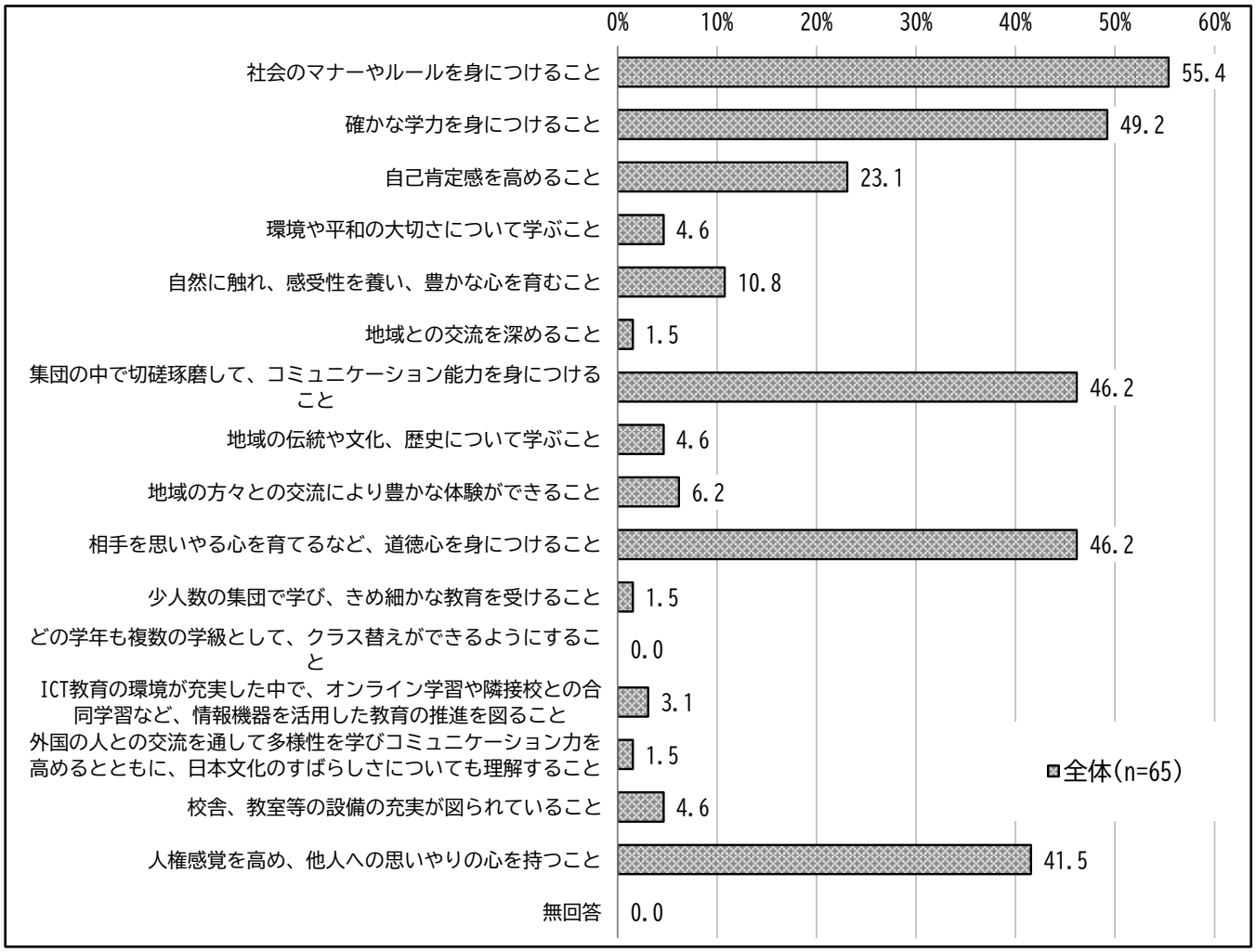
		標本数（人）	第一小学校	第二小学校	第三小学校	第四小学校	南関中学校	無回答
全体（単純集計）		65	12	10	12	12	19	0
			18.5%	15.4%	18.5%	18.5%	29.2%	0.0%
年代別	20代	7	2	2	0	1	2	0
			28.6%	28.6%	0.0%	14.3%	28.6%	0.0%
	30代	9	2	1	2	1	3	0
			22.2%	11.1%	22.2%	11.1%	33.3%	0.0%
	40代	9	1	2	3	0	3	0
			11.1%	22.2%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%
	50代	31	6	4	5	9	7	0
			19.4%	12.9%	16.1%	29.0%	22.6%	0.0%
	60代以上	9	1	1	2	1	4	0
			11.1%	11.1%	22.2%	11.1%	44.4%	0.0%

【小学校教育について】

問３　以下の項目は、どれも重要な事項ですが、これからの小学校教育で、特に重要だと思うことは何ですか。（複数回答）

⑴ 今後小学校教育で特に重要だと思うことについては、「社会のマナーやルールを身につけること」が 55.4%と最も高く、次いで「確かな学力を身につけること」49.2%、「集団の中で切磋琢磨して、コミュニケーション能力を身につけること」「相手を思いやる心を育てるなど、道徳心を身につけること」がともに 46.2%となっています。

⑵ 勤務学校別でみると、いずれも「社会のマナーやルールを身につけること」「確かな学力を身につけること」「集団の中で切磋琢磨して、コミュニケーション能力を身につけること」「相手を思いやる心を育てるなど、道徳心を身につけること」の割合が高くなっています。また、他の学校との比較をみると、第二小学校では「地域の伝統や文化、歴史について学ぶこと」が高く、第一小学校では「人権感覚を高め、他人への思いやりの心を持つこと」が低くなっています。



【クロス集計】

（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	社会のマナーやルールを身につけること	確かな学力を身につけること	自己肯定感を高めること	環境や平和の大切さについて学ぶこと	自然に触れ、感受性を養い、豊かな心を育むこと	地域との交流を深めること	集団の中で切磋琢磨して、コミュニケーション能力を身につけること	地域の伝統や文化、歴史について学ぶこと	地域の方々との交流により豊かな体験ができること	相手を思いやる心を育てるなど、道徳心を身につけること	少人数の集団で学び、きめ細かな教育を受けること	どの学年も複数の学級として、クラス替えができるようにすること	ICT教育の環境が充実した中で、オンライン学習や隣接校との合同学習など、情報機器を活用した教育の推進を図ること	外国の人との交流を通して多様性を学びコミュニケーション力を高めるとともに、日本文化のすばらしさについても理解すること	校舎、教室等の設備の充実が図られていること	人権感覚を高め、他人への思いやりの心を持つこと	無回答
全体（単純集計）		65	36	32	15	3	7	1	30	3	4	30	1	0	2	1	3	27	0
			55.4%	49.2%	23.1%	4.6%	10.8%	1.5%	46.2%	4.6%	6.2%	46.2%	1.5%	0.0%	3.1%	1.5%	4.6%	41.5%	0.0%
年代別	20代	7	4	4	2	0	1	0	3	0	0	4	0	0	0	0	0	3	0
			57.1%	57.1%	28.6%	0.0%	14.3%	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%	0.0%
	30代	9	7	3	3	0	1	0	2	2	1	5	0	0	0	0	1	2	0
			77.8%	33.3%	33.3%	0.0%	11.1%	0.0%	22.2%	22.2%	11.1%	55.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	22.2%	0.0%
	40代	9	3	6	2	0	0	0	4	1	1	6	0	0	0	1	1	2	0
			33.3%	66.7%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	44.4%	11.1%	11.1%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	22.2%	0.0%
	50代	31	15	15	5	3	3	1	19	0	2	12	1	0	1	0	1	15	0
			48.4%	48.4%	16.1%	9.7%	9.7%	3.2%	61.3%	0.0%	6.5%	38.7%	3.2%	0.0%	3.2%	0.0%	3.2%	48.4%	0.0%
	60代以上	9	7	4	3	0	2	0	2	0	0	3	0	0	1	0	0	5	0
			77.8%	44.4%	33.3%	0.0%	22.2%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	55.6%	0.0%
勤務学校別	第一小学校	12	8	6	3	0	1	1	5	0	1	7	0	0	0	0	2	2	0
			66.7%	50.0%	25.0%	0.0%	8.3%	8.3%	41.7%	0.0%	8.3%	58.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%
	第二小学校	10	4	6	2	0	1	0	4	2	0	3	0	0	1	0	1	6	0
			40.0%	60.0%	20.0%	0.0%	10.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%	30.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	10.0%	60.0%	0.0%
	第三小学校	12	6	5	4	1	1	0	4	1	2	7	0	0	1	0	0	4	0
			50.0%	41.7%	33.3%	8.3%	8.3%	0.0%	33.3%	8.3%	16.7%	58.3%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
	第四小学校	12	5	5	2	2	2	0	7	0	1	4	1	0	0	0	0	7	0
			41.7%	41.7%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	58.3%	0.0%	8.3%	33.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	58.3%	0.0%
	南関中学校	19	13	10	4	0	2	0	10	0	0	9	0	0	0	1	0	8	0
			68.4%	52.6%	21.1%	0.0%	10.5%	0.0%	52.6%	0.0%	0.0%	47.4%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	42.1%	0.0%

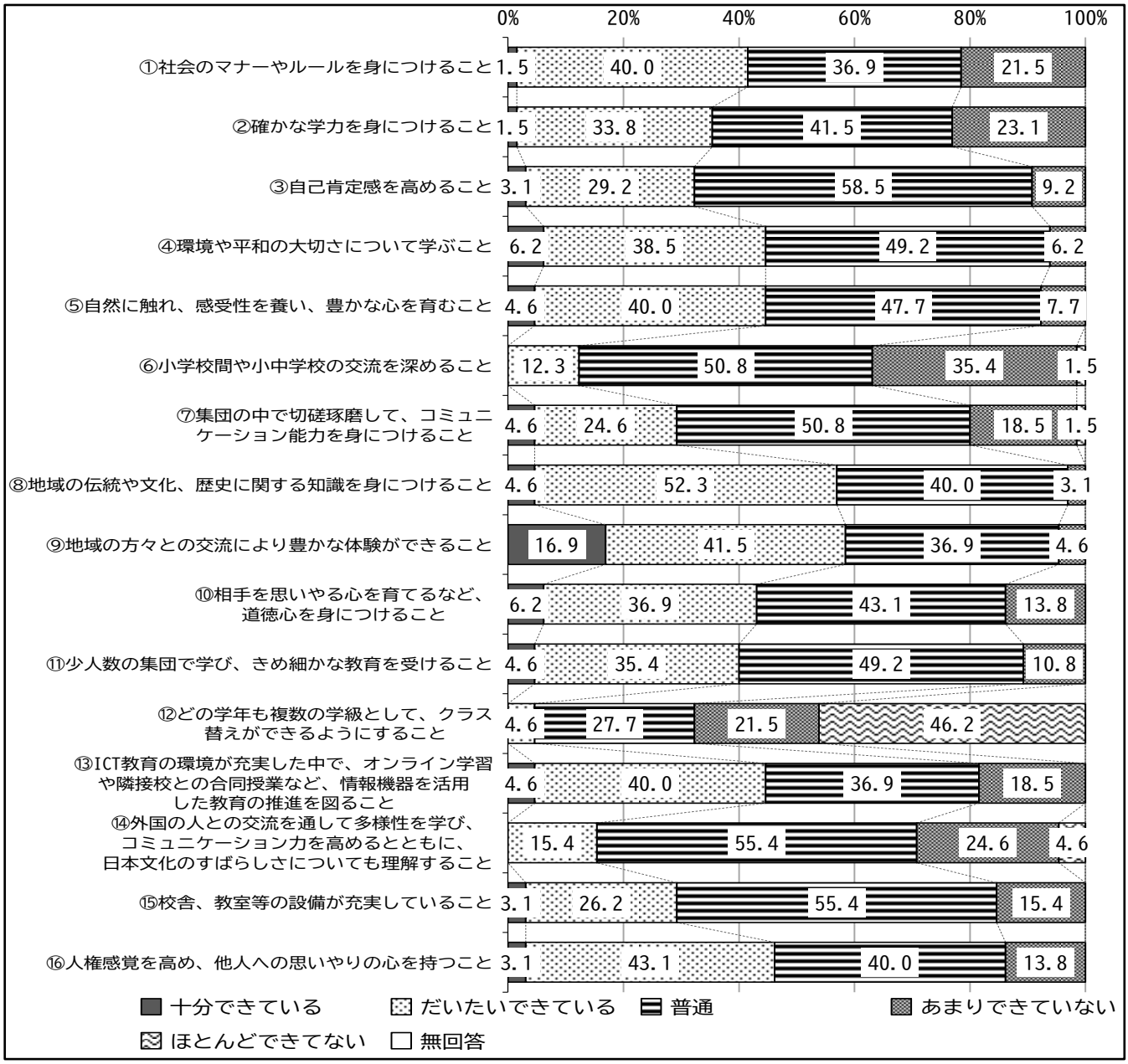
問３－１　問３の項目以外で重要視していることがあれば、ご記入ください。

重要視していること	年代	学校名
あたりまえの行動があたりまえにできるようにすること	50 代	第一小学校
友だちとの関わりの中で問題を自分で解決していこうとする力の育成	50 代	第一小学校
教職員の継続的な質の向上、予測困難な社会における学び続ける環境整備、学校への応援が得られ子ども・保護者・地域それぞれがウェルビーイングを実現できること、一人一人がコミュニケートし相互理解を図ることができるグローバル人材の育成	50 代	第二小学校
自分たちで努力し、多少の困難を乗り越えようとする力が必要だと思う。	50 代	第三小学校
家庭の躾が就学前にきちんと出来ている事を保育園、幼稚園等と共通認識してほしい。	60 代以上	第三小学校
初めてのことにも、前向きに挑戦する態度を育てる。	50 代	第四小学校
基本的生活習慣の育成	50 代	第四小学校
人間力	30 代	南関中学校
コミュニケーション能力を身につけること	50 代	南関中学校
児童自身の家庭学習力を上げる。一人で学ぶ習慣は、小学校時代に身に付けさせたい家庭との協働課題と思う。	60 代以上	南関中学校

問４　現在の小学校教育の各項目の達成状況について、あてはまる番号<u>１つ</u>に○をつけてください。（単数回答）

⑴ 現在の小学校教育の達成状況において、できている（「十分できている」＋「だいたいできている」）では、「地域の方々との交流により豊かな体験ができること」が 58.4%と最も高く、次いで「地域の伝統や文化、歴史に関する知識を身につけること」56.9%、「人権感覚を高め、他人への思いやりの心を持つこと」46.2%となっています。

⑵ 達成できていない「（あまりできていない）＋（ほとんどできてない）」では、「どの学年も複数の学級として、クラス替えができるようにすること」が 67.7%と最も高く、次いで「小学校間や小中学校の交流を深めること」36.9%、「外国の人との交流を通して多様性を学び、コミュニケーション力を高めるとともに、日本文化のすばらしさについても理解すること」29.2%となっています。



問４－１　問４の項目以外で、感じていることがありましたら、ご記入ください。

◆十分にできていること・まだ挑戦が必要なこと

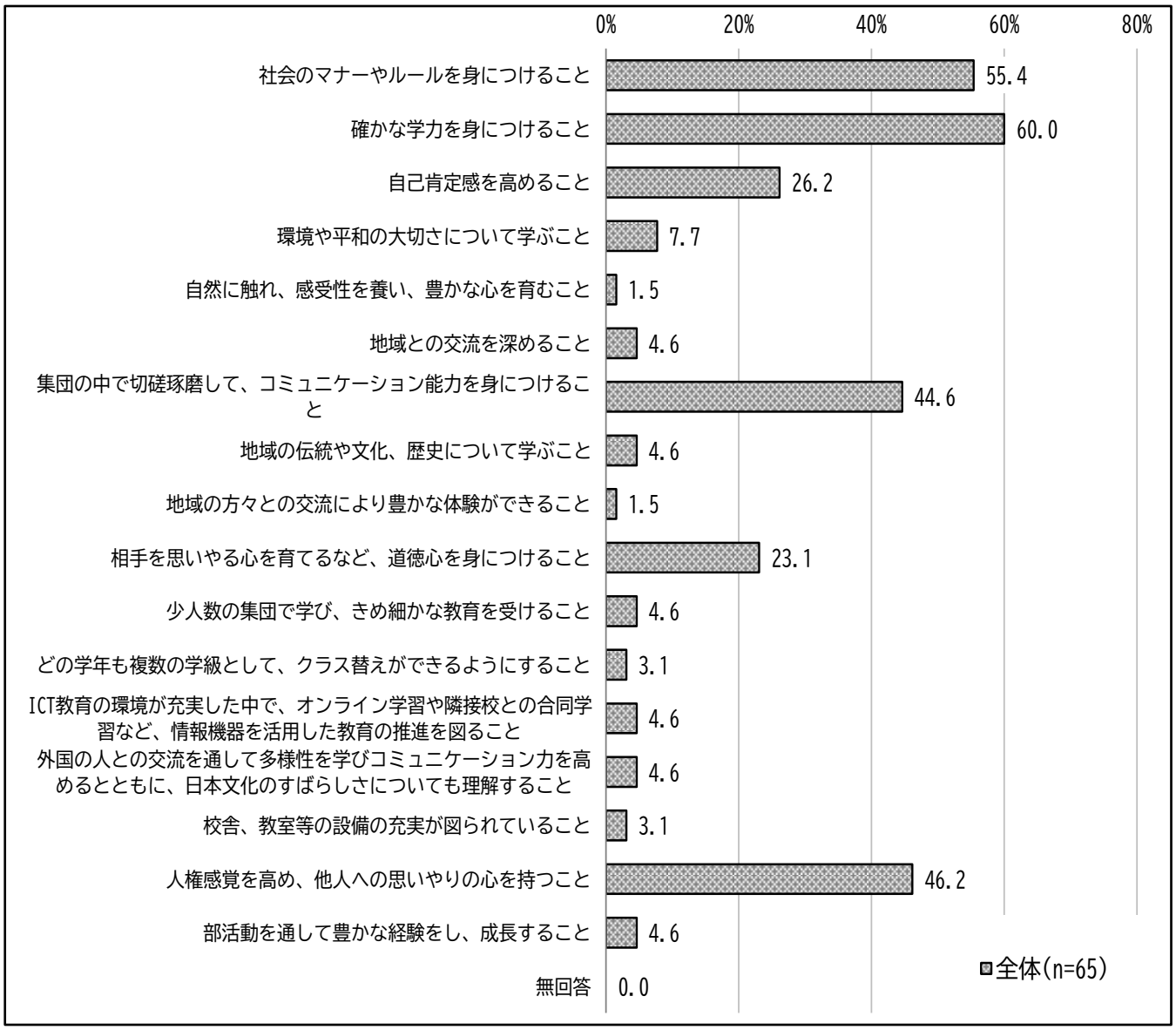
十分にできていること・まだ挑戦が必要なこと	年代	学校名
持続可能な学校教育であるための方策の模索、学校現場と行政現場の連携をしっかりとることができている。一人一人の目標の実現に向けて学ぶ続けることや生涯にわたり学習する態度、大人になっても困難な局面を打開しようとする意識と能力	50 代	第二小学校
掃除の時間が少なく、自分たちで自分の学校をきれいにしようとする心が今ひとつだと感じている。	50 代	第三小学校
使いやすいタブレット端末やソフトの整備・購入	50 代	第四小学校
中学校入学時は各小学校で差があると感じますが、先生方がきちんと取り組ませてくださっているので、中学校で違う小学校出身の同級生や異学年との交流の中で、力を確実なものにしていると思います。	40 代	南関中学校

【中学校教育について】

問３　以下の項目は、どれも重要な事項ですが、これからの中学校教育で、特に重要だと思うことは何ですか

⑴ 今後、中学校教育で特に重要だと思うことについては、「確かな学力を身につけること」が 60.0%と最も高く、次いで「社会のマナーやルールを身につけること」55.4%、「人権感覚を高め、他人への思いやりの心を持つこと」46.2%となっています。

⑵ 勤務学校別でみると、いずれも「社会のマナーやルールを身につけること」「確かな学力を身につけること」「集団の中で切磋琢磨して、コミュニケーション能力を身につけること」「人権感覚を高め、他人への思いやりの心を持つこと」の割合が高くなっています。



【クロス集計】

（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	社会のマナーやルールを身につけること	確かな学力を身につけること	自己肯定感を高めること	環境や平和の大切さについて学ぶこと	自然に触れ、感受性を養い、豊かな心を育むこと	地域との交流を深めること	集団の中で切磋琢磨して、コミュニケーション能力を身につけること	地域の伝統や文化、歴史について学ぶこと	地域の方々との交流により豊かな体験ができること	相手を思いやる心を育てるなど、道徳心を身につけること	少人数の集団で学び、きめ細かな教育を受けること	どの学年も複数の学級として、クラス替えができるようにすること	ICT教育の環境が充実した中で、オンライン学習や隣接校との合同学習など、情報機器を活用した教育の推進を図ること	外国の人との交流を通して多様性を学びコミュニケーション力を高めるとともに、日本文化のすばらしさについても理解すること	校舎、教室等の設備の充実が図られていること	人権感覚を高め、他人への思いやりの心を持つこと	部活動を通して豊かな経験をし、成長すること	無回答
全体（単純集計）		65	36	39	17	5	1	3	29	3	1	15	3	2	3	3	2	30	3	0
			55.4%	60.0%	26.2%	7.7%	1.5%	4.6%	44.6%	4.6%	1.5%	23.1%	4.6%	3.1%	4.6%	4.6%	3.1%	46.2%	4.6%	0.0%
年代別	20代	7	6	4	0	0	0	0	4	0	0	3	0	0	0	0	0	2	2	0
			85.7%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%	0.0%	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	28.6%	0.0%
	30代	9	5	5	4	0	0	1	2	0	0	4	0	0	1	0	1	4	0	0
			55.6%	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%	44.4%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%	44.4%	0.0%	0.0%
	40代	9	3	7	1	0	0	2	4	1	1	3	0	0	0	1	0	4	0	0
			33.3%	77.8%	11.1%	0.0%	0.0%	22.2%	44.4%	11.1%	11.1%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	44.4%	0.0%	0.0%
	50代	31	15	18	9	4	0	0	17	2	0	4	3	1	2	2	1	15	0	0
			48.4%	58.1%	29.0%	12.9%	0.0%	0.0%	54.8%	6.5%	0.0%	12.9%	9.7%	3.2%	6.5%	6.5%	3.2%	48.4%	0.0%	0.0%
	60代以上	9	7	5	3	1	1	0	2	0	0	1	0	1	0	0	0	5	1	0
			77.8%	55.6%	33.3%	11.1%	11.1%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	55.6%	11.1%	0.0%
勤務学校別	第一小学校	12	8	6	3	0	0	2	8	1	0	3	0	0	0	0	1	4	0	0
			66.7%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	16.7%	66.7%	8.3%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	33.3%	0.0%	0.0%
	第二小学校	10	3	6	2	0	0	0	2	1	1	3	0	0	0	1	1	8	2	0
			30.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	10.0%	10.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	80.0%	20.0%	0.0%
	第三小学校	12	5	6	3	2	0	1	5	1	0	3	1	1	2	2	0	4	0	0
			41.7%	50.0%	25.0%	16.7%	0.0%	8.3%	41.7%	8.3%	0.0%	25.0%	8.3%	8.3%	16.7%	16.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
	第四小学校	12	6	7	4	3	0	0	6	0	0	2	2	0	1	0	0	4	1	0
			50.0%	58.3%	33.3%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	33.3%	8.3%	0.0%
	南関中学校	19	14	14	5	0	1	0	8	0	0	4	0	1	0	0	0	10	0	0
			73.7%	73.7%	26.3%	0.0%	5.3%	0.0%	42.1%	0.0%	0.0%	21.1%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	52.6%	0.0%	0.0%

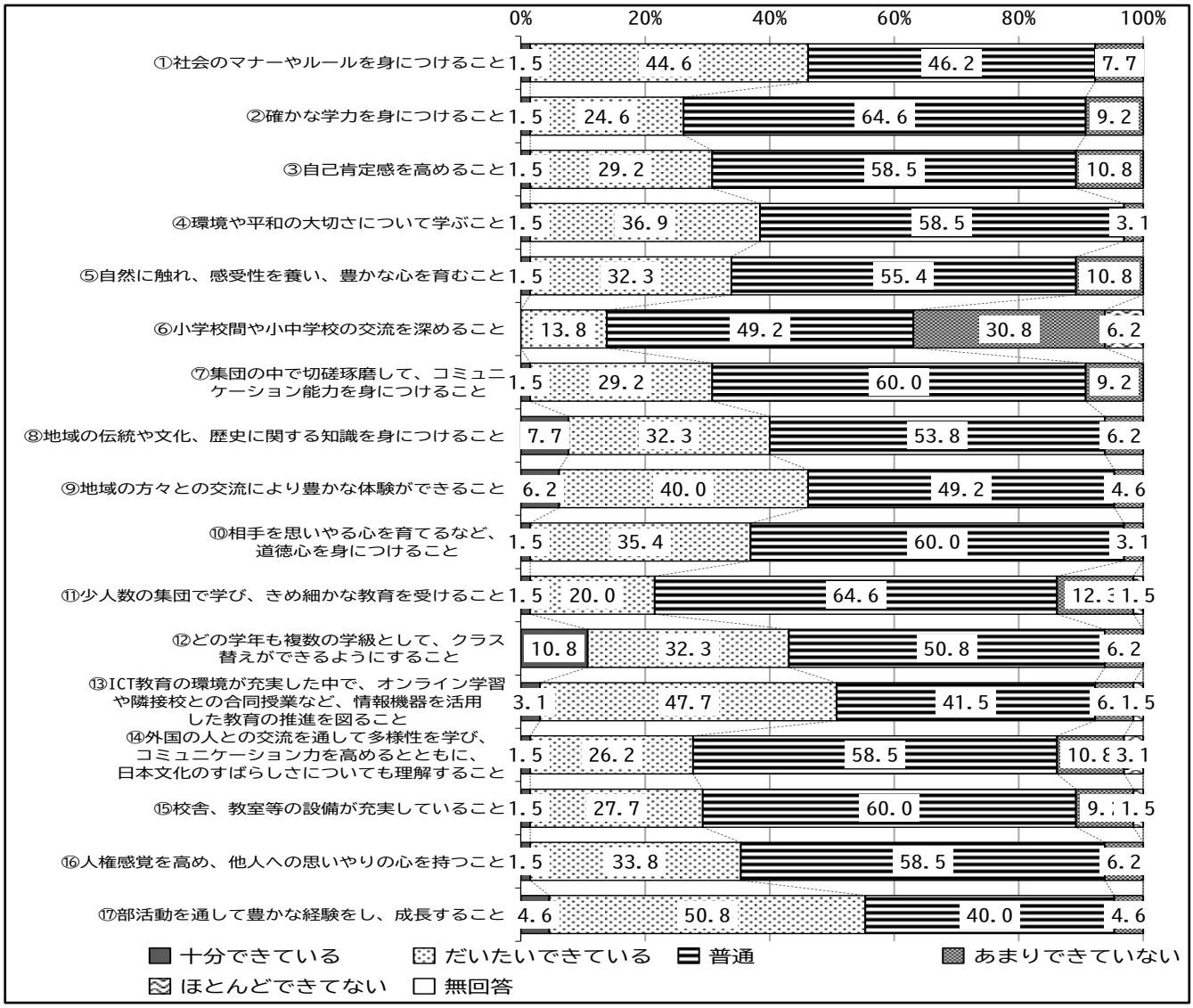
問３－１　問３の項目以外で重要視していることがあれば、ご記入ください。

重要視していること	年代	学校名
何事にも立ち向かっていく力　忍耐力	20 代	第二小学校
持続可能な多様な人材の配置	50 代	第二小学校
学校教育以外の場でも、輝く場面があればいいと感じている。	50 代	第三小学校
行動力・発信力の育成	50 代	第四小学校
主体的、積極的に行動すること	50 代	南関中学校
地域と関わる機会（地域から学ぶ機会や地域に貢献する機会）を増やしていきたい。	60 代以上	南関中学校

問４　現在の中学校教育の各項目の達成状況について、あてはまる番号<u>１つ</u>に○をつけてください。（単数回答）

⑴ 現在の中学校教育の達成状況において、達成できている（「十分できている」＋「だいたいできている」）では、「部活動を通して豊かな経験をし、成長すること」が 55.4%と最も高く、次いで「ICT 教育の環境が充実した中で、オンライン学習や隣接校との合同授業など、情報機器を活用した教育の推進を図ること」50.8%、「地域の方々との交流により豊かな体験ができること」46.2%となっています。

⑵ 達成できていない「（あまりできていない）＋（ほとんどできてない）」では、「小学校間や小中学校の交流を深めること」が 37.0%と最も高く、次いで「外国の人との交流を通して多様性を学び、コミュニケーション力を高めるとともに、日本文化のすばらしさについても理解すること」13.9%、「少人数の集団で学び、きめ細かな教育を受けること」13.8%となっています。



問４－１　問４の項目以外で、感じていることがありましたら、ご記入ください。

◆十分にできていること・まだ挑戦が必要なこと

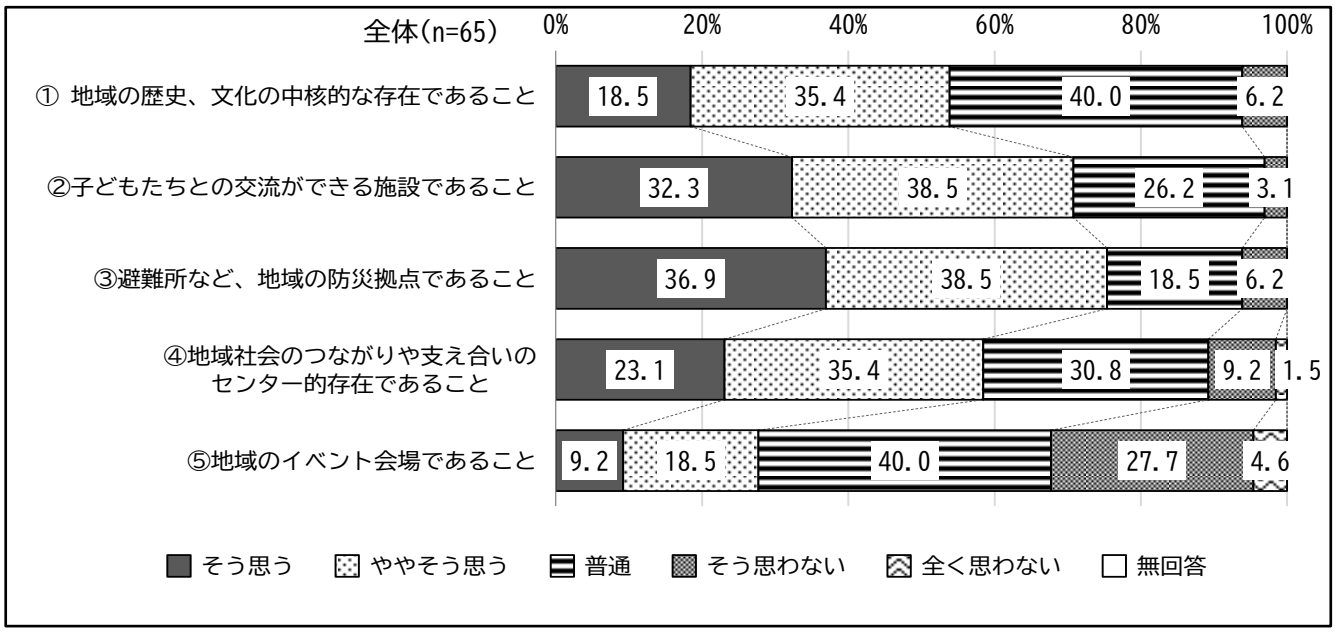
十分にできていること・まだ挑戦が必要なこと	年代	学校名
小学校と中学校の連携について、教職員同士やそれぞれの学校風土を知らない。相互理解が難しいと感じる。	50 代	第二小学校
挑戦が必要：将来を展望し、その実現に向けて努力すること	50 代	南関中学校

【小・中学校と地域との関係等について】

問５　地域における小中学校の役割について、項目ごとにあてはまる番号<u>１つ</u>に○をつけてください。①～⑤の項目以外で学校の役割だと思うことがありましたら、⑥その他にご記入ください。（単数回答）

⑴ 地域における小中学校の役割について、思う（「そう思う」＋「ややそう思う」）の割合が最も高いのは「避難所など、地域の防災拠点であること」75.4%、次いで「子どもたちとの交流ができる施設であること」70.8%、「地域社会のつながりや支え合いのセンター的存在であること」58.5%となっています。

⑵ 思わない「（そう思わない）＋（全く思わない）」では、「地域のイベント会場であること」が 32.3%と最も高く、次いで「地域社会のつながりや支え合いのセンター的存在であること」10.7%、「地域の歴史、文化の中核的な存在であること」「避難所など、地域の防災拠点であること」がともに 6.2%となっています。



◆その他の学校の役割だと思うこと

その他	年代	学校名
地域の活性化の原点	50 代	第一小学校
地域学校協働活動がコアと考える。そういう意味で五者連携の要は、行政現場の統括的な地域学校協働活動推進員と各学校の地域学校協働活動推進員との密な連携はとてもありがたい。おかげで子どもの教育活動を支えていただくことを中心に、おかげさまで教育活動の質が高まり、いろんな方がふれあい交流できる場として学校の存在価値が高まっていると考える。	50 代	第二小学校
地域全体で未来を担う子どもたちを育てる拠点	50 代	第四小学校
次世代の地域人材を地域と共に育む情報発信基地	50 代	第四小学校
子どもたちの頑張りを地域に発信する存在であること	40 代	南関中学校
地域に大切にされていること、生徒が地域の担い手であることを認識する場	50 代	南関中学校
学校の役割は人を育てることであり、そのための教育機能（ひと・もの・かね）は充実させていくべきだと考える。	60 代以上	南関中学校

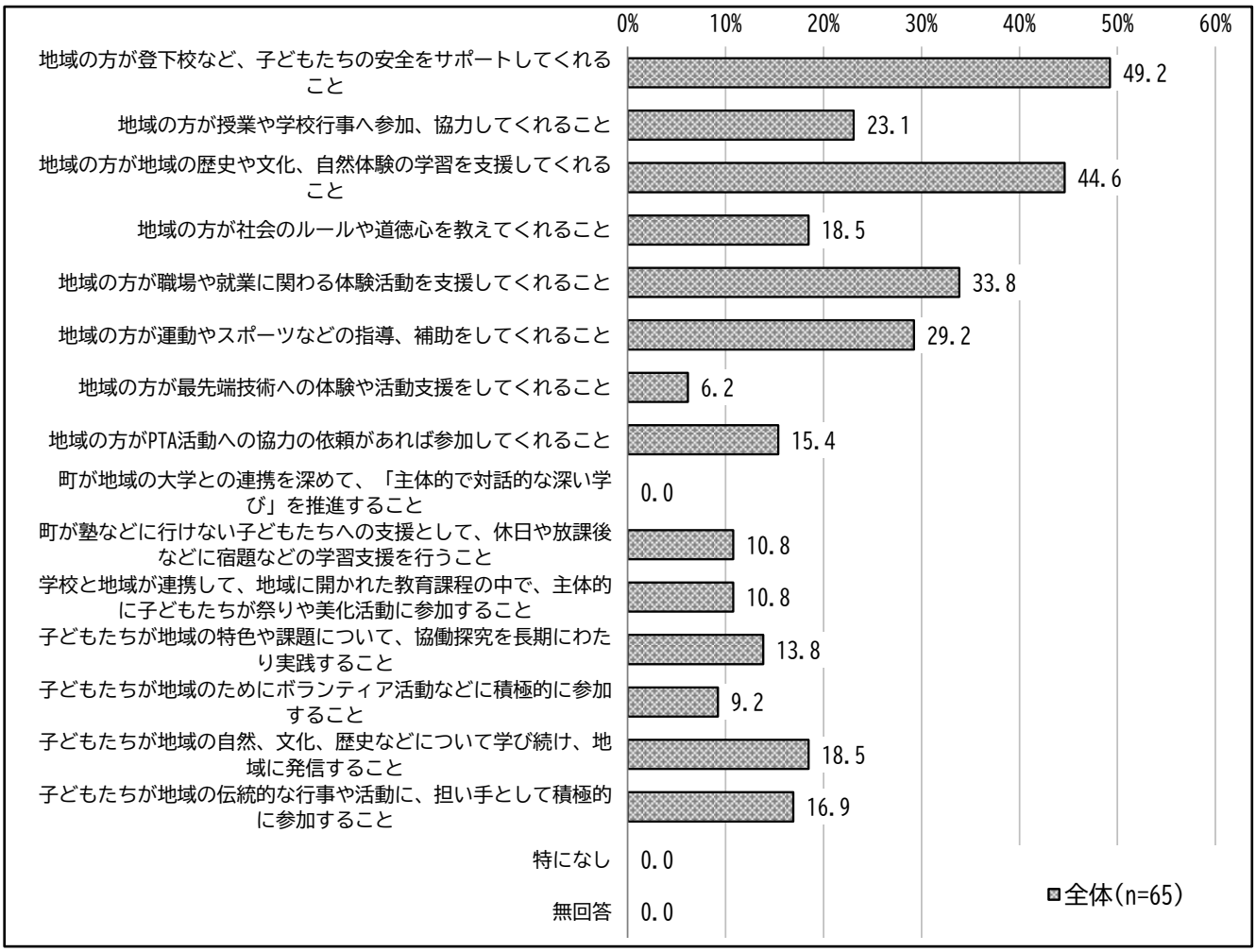
問６　子どもたちが、地域の特色や課題について探究し、学び合うために、南関町としてどのような取組が必要か、アイデアがありましたら、ご記入ください。

必要な取組・アイデア	年代	学校名
互いの思いや考えを出す機会があるとよい。	50 代	第一小学校
地域の名人さんを招いての講話や体験学習	50 代	第一小学校
関所まつりでの発表	50 代	第三小学校
人材バンクを作成し、全校に配付	50 代	第三小学校
子どもたちの学習に活かせる地域資料の作成、提供	50 代	第四小学校
各校ごとの地域教材の発掘・作成	50 代	第四小学校
地域学校推進委員の方や寺田先生のような方が学校教育活動に協力していたり、教員が相談したりすると策が生まれていくと思います。	40 代	南関中学校
行政や地域の方と課題について意見交換する場の設定	50 代	南関中学校
生徒らに南関町の問題点を町長から語っていただき、その問題の課題解決を学校と行政と一緒に取り組む。自分たちの力で町が変わっていく様子をリアルタイムで感じれば、自己効力感や有用感を得るであろうし、逆に自分の力不足などを目の当たりに感じどうすべきか考える機会となる。	60 代以上	南関中学校

問７　地域による児童生徒、学校へのサポートについて期待することは、何ですか。（保護者、先生などへのサポートを含む）（複数回答）

⑴ 地域による児童生徒、学校へのサポートについて期待することでは、「地域の方が登下校など、子どもたちの安全をサポートしてくれること」が49.2%と最も高く、次いで「地域の方が地域の歴史や文化、自然体験の学習を支援してくれること」44.6%、「地域の方が職場や就業に関わる体験活動を支援してくれること」33.8%となっています。

⑵ 勤務学校別でみると、第一小学校及び第四小学校では「地域の方が登下校など、子どもたちの安全をサポートしてくれること」、第二小学校では「地域の方が授業や学校行事へ参加、協力してくれること」、第三小学校では「地域の方が地域の歴史や文化、自然体験の学習を支援してくれること」、南関中学校では「地域の方が職場や就業に関わる体験活動を支援してくれること」が最も高くなっています。また、第二小学校では子どもたちの祭りや美化活動への参加、第三小学校では学習支援や伝統的な行事への参加、第四小学校では運動やスポーツの指導等及びＰＴＡ活動への協力等が他の学校比べて高くなっています。



【クロス集計】

（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	地域の方が登下校など、子どもたちの安全をサポートしてくれること	地域の方が授業や学校行事へ参加、協力してくれること	地域の方が地域の歴史や文化、自然体験の学習を支援してくれること	地域の方が社会のルールや道徳心を教えてくれること	地域の方が職場や就業に関わる体験活動を支援してくれること	地域の方が運動やスポーツなどの指導、補助をしてくれること	地域の方が最先端技術への体験や活動支援をしてくれること	地域の方がＰＴＡ活動への協力の依頼があれば参加してくれること	町が地域の大学との連携を深めて、「主体的で対話的な深い学び」を推進すること	学校と地域が連携して、地域に開かれた教育課程の中で、主体的に子どもたちが祭りや美化活動に参加すること	町が塾などに行けない子どもたちへの支援として、休日や放課後などに宿題などの学習支援を行うこと	子どもたちが地域の特色や課題について、協働探究を長期にわたり実践すること	子どもたちが地域のためにボランティア活動などに積極的に参加すること	子どもたちが地域の自然、文化、歴史などについて学び続け、地域に発信すること	子どもたちが地域の伝統的な行事や活動に、担い手として積極的に参加すること	特になし	無回答
全体（単純集計）		65	32	15	29	12	22	19	4	10	0	7	7	9	6	12	11	0	0
			49.2%	23.1%	44.6%	18.5%	33.8%	29.2%	6.2%	15.4%	0.0%	10.8%	10.8%	13.8%	9.2%	18.5%	16.9%	0.0%	0.0%
年代別	20代	7	5	2	1	1	1	3	0	1	0	3	2	0	0	2	0	0	0
			71.4%	28.6%	14.3%	14.3%	14.3%	42.9%	0.0%	14.3%	0.0%	42.9%	28.6%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	30代	9	3	3	5	1	6	3	1	2	0	0	0	0	0	2	1	0	0
			33.3%	33.3%	55.6%	11.1%	66.7%	33.3%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%
	40代	9	3	1	4	3	5	2	0	1	0	1	0	3	1	2	1	0	0
			33.3%	11.1%	44.4%	33.3%	55.6%	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	33.3%	11.1%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%
	50代	31	19	6	16	4	7	10	2	4	0	3	3	4	4	5	6	0	0
			61.3%	19.4%	51.6%	12.9%	22.6%	32.3%	6.5%	12.9%	0.0%	9.7%	9.7%	12.9%	12.9%	16.1%	19.4%	0.0%	0.0%
	60代以上	9	2	3	3	3	3	1	1	2	0	0	2	2	1	1	3	0	0
			22.2%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	11.1%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%	22.2%	22.2%	11.1%	11.1%	33.3%	0.0%	0.0%
勤務学校別	第一小学校	12	10	1	4	4	4	3	2	1	0	1	0	1	1	2	2	0	0
			83.3%	8.3%	33.3%	33.3%	33.3%	25.0%	16.7%	8.3%	0.0%	8.3%	0.0%	8.3%	8.3%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%
	第二小学校	10	4	5	3	0	2	3	1	2	0	1	3	2	0	3	1	0	0
			40.0%	50.0%	30.0%	0.0%	20.0%	30.0%	10.0%	20.0%	0.0%	10.0%	30.0%	20.0%	0.0%	30.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	第三小学校	12	2	2	7	2	3	2	1	2	0	3	0	2	2	3	5	0	0
			16.7%	16.7%	58.3%	16.7%	25.0%	16.7%	8.3%	16.7%	0.0%	25.0%	0.0%	16.7%	16.7%	25.0%	41.7%	0.0%	0.0%
	第四小学校	12	10	3	6	1	2	5	0	5	0	0	1	0	1	1	1	0	0
			83.3%	25.0%	50.0%	8.3%	16.7%	41.7%	0.0%	41.7%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	8.3%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%
	南関中学校	19	6	4	9	5	11	6	0	0	0	2	3	4	2	3	2	0	0
			31.6%	21.1%	47.4%	26.3%	57.9%	31.6%	0.0%	0.0%	0.0%	10.5%	15.8%	21.1%	10.5%	15.8%	10.5%	0.0%	0.0%

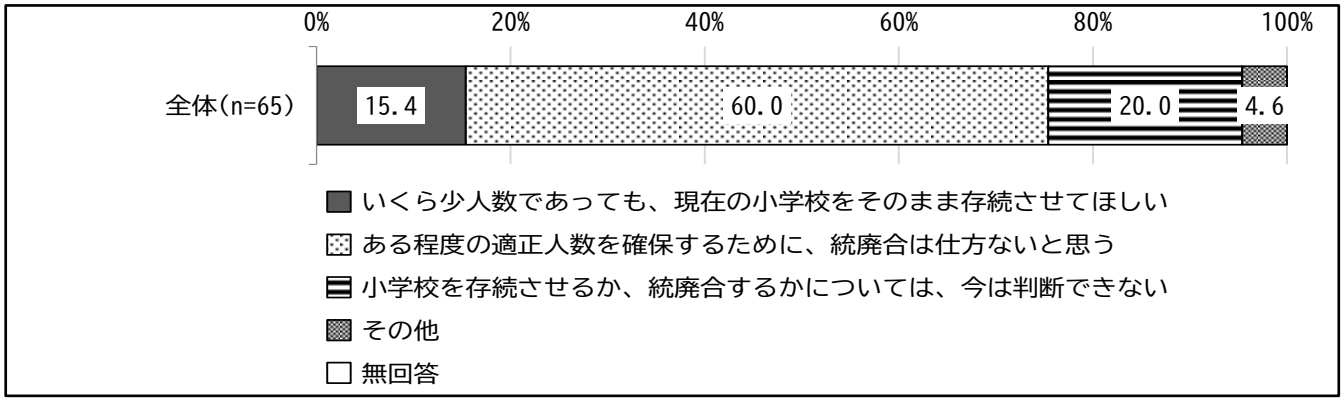
問７－１　問７の項目以外で、地域に期待することがありましたら、ご記入ください。

地域に期待すること	年代	学校名
各種活動を通して児童の顔や名前を覚えてもらうこと	50 代	第一小学校
地域学校協働活動推進員の方を学校の職員と同じ職員と考えて気持ちを合わせていきたい。子どもに接する仲間としてともに進みたい。美化作業等学校の環境整備や施設・設備への支援もありがたいし、期待したい。	50 代	第二小学校
地域の方の中に保護者も含まれます。（と考えています）	40 代	第三小学校

問８　これからの教育においては、子どもたちの「主体的で対話的な深い学び」の実現が求められ、そのためには、多様な話し合い活動が欠かせません。そこで、子どもたちのよりよい成長、発達のためには、学級内には一定の人数が必要であることから、今後、小学校の統廃合もやむを得ないと思うか、思わないか、ということについて、あてはまる番号１つに○をつけてください。（単数回答）

⑴　子どものよりよい成長、発達のために、今後小学校の統廃合もやむを得ないと思うかについては、「ある程度の適正人数を確保するために、統廃合は仕方ないと思う」が60.0%と最も高く、次いで「小学校を存続させるか、統廃合するかについては、今は判断できない」20.0%、「いくら少人数であっても、現在の小学校をそのまま存続させてほしい」15.4%となっています。

⑵　勤務学校別でみると、第四小学校以外はいずれも「ある程度の適正人数を確保するために、統廃合は仕方ないと思う」が最も高く、特に第一小学校、第二小学校では７割を超えています。また、第四小学校では「ある程度の適正人数を確保するために、統廃合は仕方ないと思う」「小学校を存続させるか、統廃合するかについては、今は判断できない」が同率で最も高くなっています。



【クロス集計】

（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	いくら少人数であっても、現在の小学校をそのまま存続させてほしい	ある程度の適正人数を確保するために、統廃合は仕方ないと思う	小学校を存続させるか、統廃合するかについては、今は判断できない	その他	無回答
全体（単純集計）		65	10	39	13	3	0
			15.4%	60.0%	20.0%	4.6%	0.0%
年代別	20代	7	0	4	3	0	0
			0.0%	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%
	30代	9	1	6	2	0	0
			11.1%	66.7%	22.2%	0.0%	0.0%
	40代	9	2	6	0	1	0
			22.2%	66.7%	0.0%	11.1%	0.0%
	50代	31	5	17	7	2	0
			16.1%	54.8%	22.6%	6.5%	0.0%
	60代以上	9	2	6	1	0	0
			22.2%	66.7%	11.1%	0.0%	0.0%
勤務学校別	第一小学校	12	1	9	2	0	0
			8.3%	75.0%	16.7%	0.0%	0.0%
	第二小学校	10	0	7	3	0	0
			0.0%	70.0%	30.0%	0.0%	0.0%
	第三小学校	12	3	8	0	1	0
			25.0%	66.7%	0.0%	8.3%	0.0%
	第四小学校	12	3	4	4	1	0
			25.0%	33.3%	33.3%	8.3%	0.0%
	南関中学校	19	3	11	4	1	0
			15.8%	57.9%	21.1%	5.3%	0.0%

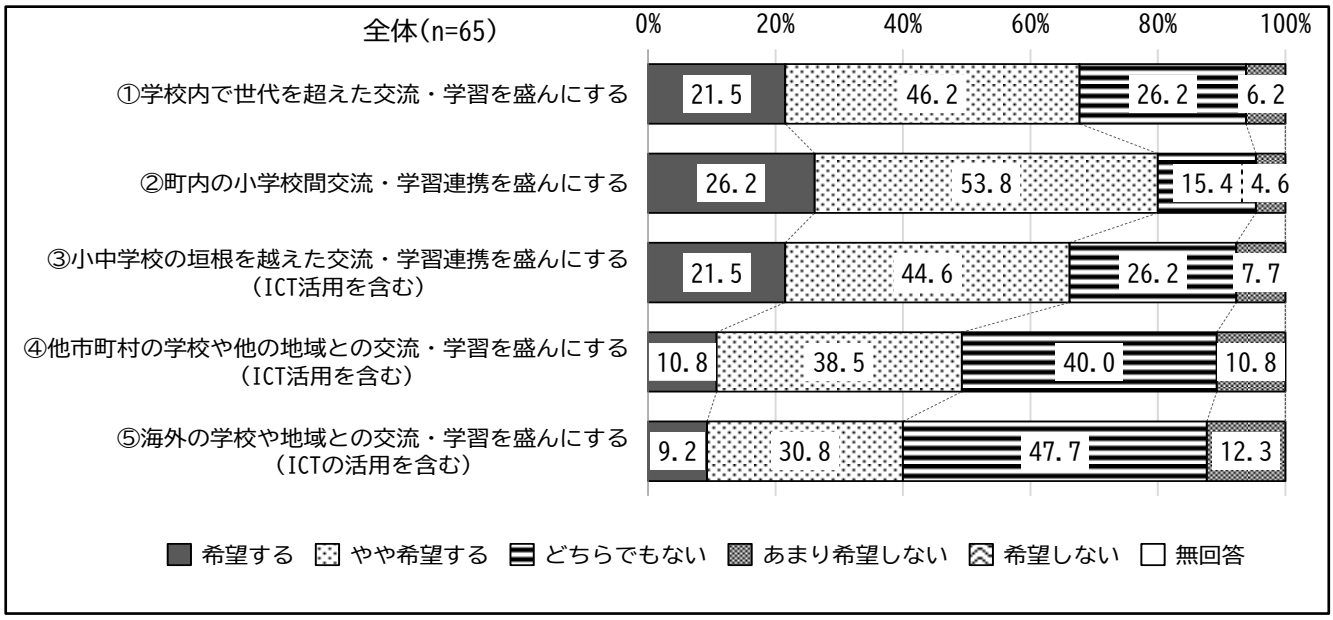
問８－１　問８で「４．その他」を選んだ方は、自由にご意見をご記入ください。

その他	年代	学校名
複式学級にならない方がいいと思うから。	50 代	第一小学校
人間関係の修復が困難なので、統廃合した方が良い	50 代	第三小学校
教員の立場では一定の人数がいた方がいいと思いますが、地域の方の願いも大切にしたいです。	40 代	南関中学校

問９　将来的に児童生徒数が減少した際に、町の対応として希望することに関して、次の項目ごとにあてはまる番号１つに○をつけてください。(単数回答)

⑴ 将来的に児童数が減少した際、町への対応策で希望度が高い（「希望する」＋「やや希望する」）のは、「町内の小学校間交流・学習連携を盛んにする」が 80.0%、「学校内で世代を超えた交流・学習を盛んにする」67.7%、「小中学校の垣根を越えた交流・学習連携を盛んにする(ICT 活用を含む)」66.1%となっています。

⑵ 希望度が低い「(あまり希望しない）＋（希望しない)」割合については、「他市町村の学校や他の地域との交流・学習を盛んにする(ICT 活用を含む)」「海外の学校や地域との交流・学習を盛んにする(ICT の活用を含む)」はともに１割を超えていますが、その他の項目はいずれも１割を切っています。



問９－１　問９の項目以外で希望することがありましたら、ご記入ください。

希望すること	年代	学校名
校舎・設備の老朽化に修繕が追いつかない状況にあるため、町内で修繕費にかなりの予算を要している状況にある。修繕費のことだけみても、統合を進めていただいて校舎をひとつにする方が持続可能な学習環境の整備を進めることができる。	30 代	第一小学校
小中一貫校、義務教育学校への転換。	60 代以上	南関中学校

問１０　最後に、学校教育全般に関してご意見がございましたら、自由にご記入ください。

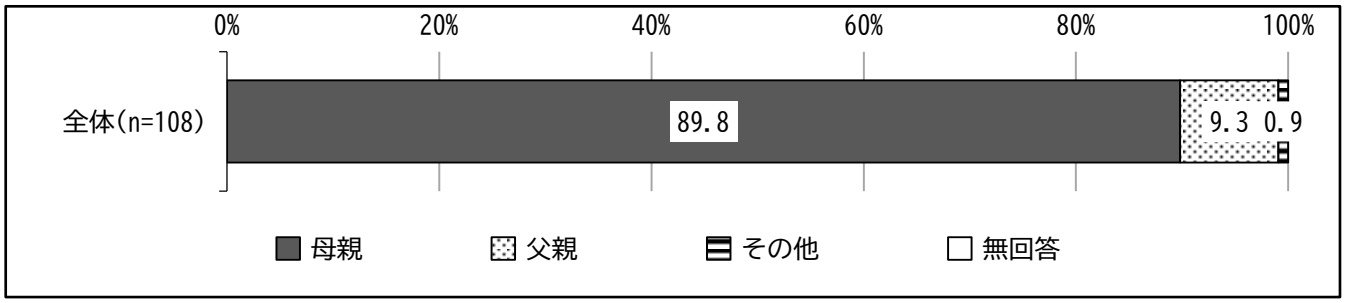
学校教育全般に関しての意見	年代	学校名
国単位で学習内容の精選をして授業時数の削減を図り、教員の働き方改革を実践化すること	50 代	第一小学校
マンパワーの不足による影響が大きいので、まずはそこを改善しなくてはいけないと思う。	50 代	第一小学校
このアンケートを基にみんなが納得するよりよい方向に南関町の教育が進んでいくことを期待しています。	50 代	第一小学校
各学校や地域の実態の違いを認め、活動に取り組んでいくことが大切だと思います。	50 代	第四小学校
南関町のような行政と学校と地域・家庭がお互いに顔の見える関係は貴重だと思う。今後、さらに ICT のハード面の充実は必要になってくると思う	50 代	第四小学校
人的サポートも経済的サポートもいつもたくさんしていただき感謝しています。これからもよろしくお願いいたします。	40 代	南関中学校
義務教育学校にすることも選択肢の一つであると考えます。	50 代	南関中学校
ここまでアンケートを通して示された、南関町の教育ビジョンを見たときに、現在の教育現場が圧倒的にひと不足であることを再認識する。不登校への対応や一人一人の教育的ニーズに沿った指導を求められる学校には人材（人数）が何よりも必要です。	60 代以上	南関中学校

5．幼稚園保育園保護者用アンケート調査

問１　あなた（ご記入者）とお子様の関係、年代をご記入ください。（単数回答）

◆続柄

⑴ 続柄については、「母親」が 89.8%、「父親」が 9.3%、「その他」が 0.9%となっています。
⑵ 年代別でみると、母親では「20 代」～「40 代」が９割以上を占めています。
⑶ 小学校区別でみると、いずれも回答者は「母親」の割合が高く、８割を超えています。



【クロス集計】

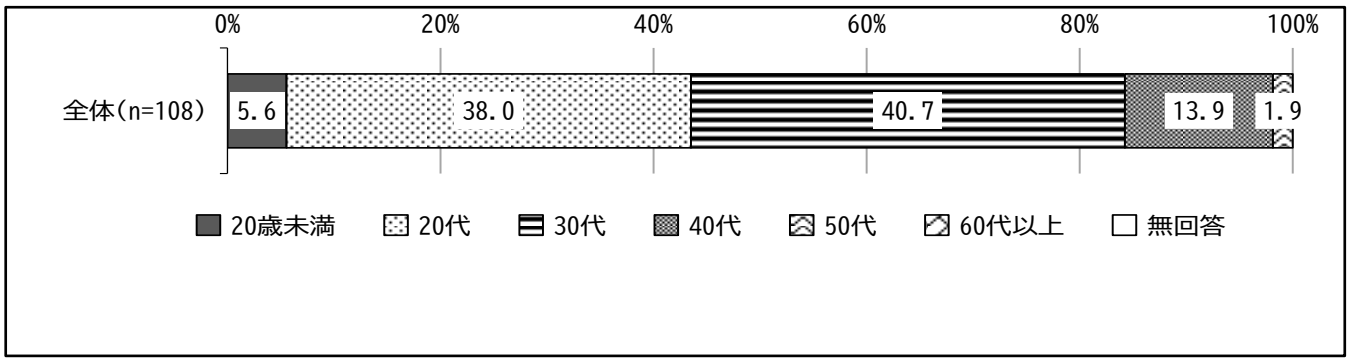
（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	母親	父親	その他	無回答
全体（単純集計）		108	97	10	1	0
			89.8%	9.3%	0.9%	0.0%
年代別	20歳未満	6	4	2	0	0
			66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
	20代	41	39	2	0	0
			95.1%	4.9%	0.0%	0.0%
	30代	44	40	4	0	0
			90.9%	9.1%	0.0%	0.0%
	40代	15	14	1	0	0
			93.3%	6.7%	0.0%	0.0%
	50代	2	0	1	1	0
			0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	60代以上	0	0	0	0	0
			－	－	－	－
小学校区別	第一小学校区	41	35	5	1	0
			85.4%	12.2%	2.4%	0.0%
	第二小学校区	20	18	2	0	0
			90.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	第三小学校区	24	22	2	0	0
			91.7%	8.3%	0.0%	0.0%
	第四小学校区	23	22	1	0	0
			95.7%	4.3%	0.0%	0.0%

◆年代

⑴ 年代については、「30 代」が 40.7%と最も高く、次いで「20 代」38.0%、「40 代」13.9%となっています。

⑵ 小学校区別でみると、いずれも「20 代」「30 代」の割合が高く、特に第二小学校区及び第三小学校区では「20 代」「30 代」を合わせた割合が８割を超えています。



【クロス集計】

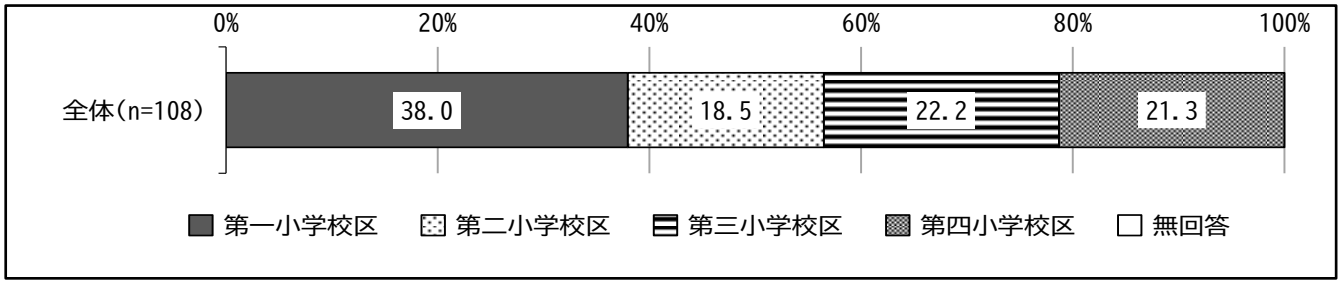
（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代以上	無回答
全体（単純集計）		108	6	41	44	15	2	0	0
			5.6%	38.0%	40.7%	13.9%	1.9%	0.0%	0.0%
小学校区別	第一小学校区	41	2	16	15	6	2	0	0
			4.9%	39.0%	36.6%	14.6%	4.9%	0.0%	0.0%
	第二小学校区	20	1	5	13	1	0	0	0
			5.0%	25.0%	65.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	第三小学校区	24	0	12	8	4	0	0	0
			0.0%	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	第四小学校区	23	3	8	8	4	0	0	0
			13.0%	34.8%	34.8%	17.4%	0.0%	0.0%	0.0%

問２　あなたが住んでいる小学校区について（単数回答）

⑴ 居住している小学校区については、「第一小学校区」が 38.0%と最も高く、次いで「第三小学校区」22.2%、「第四小学校区」21.3%となっています。

⑵ 年代別でみると、20 代～40 代ではいずれも「第一小学校区」が最も高くなっています。また、30 代では「第二小学校区」が３割弱となっており、他の年代と比べて高くなっています。



【クロス集計】

（上段：人　下段：%）

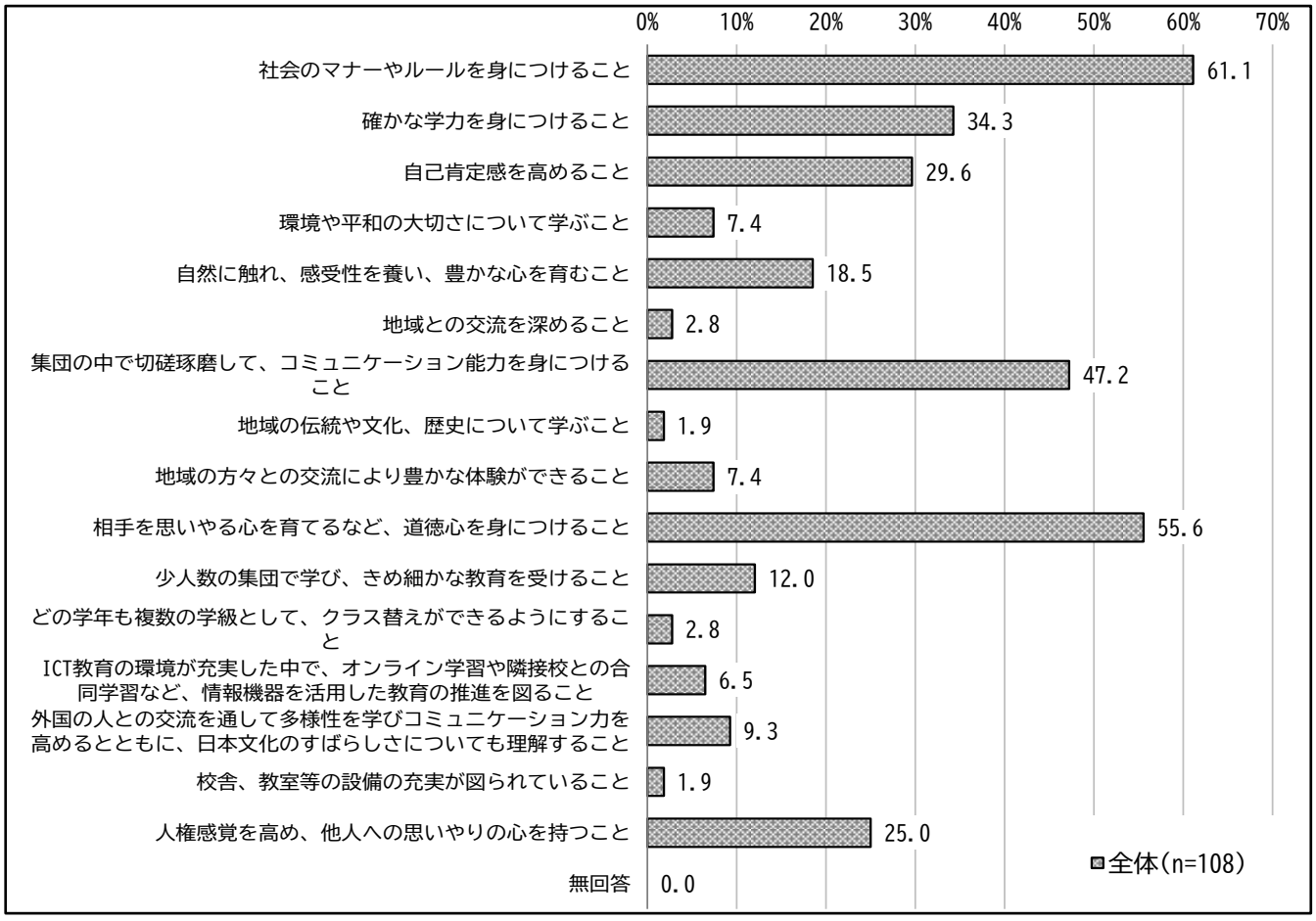
		標本数（人）	第一小学校区	第二小学校区	第三小学校区	第四小学校区	無回答
全体（単純集計）		108	41	20	24	23	0
			38.0%	18.5%	22.2%	21.3%	0.0%
年代別	20歳未満	6	2	1	0	3	0
			33.3%	16.7%	0.0%	50.0%	0.0%
	20代	41	16	5	12	8	0
			39.0%	12.2%	29.3%	19.5%	0.0%
	30代	44	15	13	8	8	0
			34.1%	29.5%	18.2%	18.2%	0.0%
	40代	15	6	1	4	4	0
			40.0%	6.7%	26.7%	26.7%	0.0%
	50代	2	2	0	0	0	0
			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	60代以上	0	0	0	0	0	0
			－	－	－	－	－

問３　小学校では、基礎的な学習を習得することを基本とし、学習指導要領では、子どもたちの「主体的・対話的な深い学び」の視点から授業の改善を行っています。また、英語、理科では、専科教員の巡回指導による質の高い教育の提供に努めています。その他に、保護者として小学校教育で重要視されることは何ですか。（複数回答）

⑴ 小学校教育で重要視していることについては、「社会のマナーやルールを身につけること」が61.1%と最も高く、次いで「相手を思いやる心を育てるなど、道徳心を身につけること」55.6%、「集団の中で切磋琢磨して、コミュニケーション能力を身につけること」47.2%となっています。

⑵ 年代別でみると、20代では「社会のマナーやルールを身につけること」、30代では「集団の中で切磋琢磨して、コミュニケーション能力を身につけること」、40代では「確かな学力を身につけること」が最も高くなっています。

⑶ 小学校区別でみると、第一小学校区では「相手を思いやる心を育てるなど、道徳心を身につけること」、他の小学校区ではいずれも「社会のマナーやルールを身につけること」が最も高くなっています。また、第二小学校区では「外国の人との交流を通して多様性を学びコミュニケーション力を高めるとともに、日本文化のすばらしさについても理解すること」、第四小学校区では「集団の中で切磋琢磨して、コミュニケーション能力を身につけること」が他の小学校区と比べて高くなっています。



【クロス集計】

（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	社会のマナーやルールを身につけること	確かな学力を身につけること	自己肯定感を高めること	環境や平和の大切さについて学ぶこと	自然に触れ、感受性を養い、豊かな心を育むこと	地域との交流を深めること	集団の中で切磋琢磨して、コミュニケーション能力を身につけること	地域の伝統や文化、歴史について学ぶこと	地域の方々との交流により豊かな体験ができること	相手を思いやる心を育てるなど、道徳心を身につけること	少人数の集団で学び、きめ細かな教育を受けること	どの学年も複数の学級として、クラス替えができるようにすること	ICT教育の環境が充実した中で、オンライン学習や隣接校との合同学習など、情報機器を活用した教育の推進を図ること	外国の人との交流を通して多様性を学びコミュニケーション力を高めるとともに、日本文化のすばらしさについても理解すること	校舎、教室等の設備の充実が図られていること	人権感覚を高め、他人への思いやりの心を持つこと	無回答
全体（単純集計）		108	66	37	32	8	20	3	51	2	8	60	13	3	7	10	2	27	0
			61.1%	34.3%	29.6%	7.4%	18.5%	2.8%	47.2%	1.9%	7.4%	55.6%	12.0%	2.8%	6.5%	9.3%	1.9%	25.0%	0.0%
年代別	20歳未満	6	6	2	1	0	0	1	4	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0
			100.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
	20代	41	29	11	14	4	6	1	16	1	2	26	6	1	1	3	1	12	0
			70.7%	26.8%	34.1%	9.8%	14.6%	2.4%	39.0%	2.4%	4.9%	63.4%	14.6%	2.4%	2.4%	7.3%	2.4%	29.3%	0.0%
	30代	44	23	15	13	3	9	1	25	1	5	24	4	2	3	6	1	11	0
			52.3%	34.1%	29.5%	6.8%	20.5%	2.3%	56.8%	2.3%	11.4%	54.5%	9.1%	4.5%	6.8%	13.6%	2.3%	25.0%	0.0%
	40代	15	7	9	3	0	4	0	6	0	0	7	3	0	3	1	0	2	0
			46.7%	60.0%	20.0%	0.0%	26.7%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	46.7%	20.0%	0.0%	20.0%	6.7%	0.0%	13.3%	0.0%
	50代	2	1	0	1	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
			50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	60代以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
小学校区別	第一小学校区	41	22	15	12	5	9	2	18	1	5	23	6	1	4	3	2	13	0
			53.7%	36.6%	29.3%	12.2%	22.0%	4.9%	43.9%	2.4%	12.2%	56.1%	14.6%	2.4%	9.8%	7.3%	4.9%	31.7%	0.0%
	第二小学校区	20	13	6	6	0	3	0	10	1	2	10	3	0	1	4	0	7	0
			65.0%	30.0%	30.0%	0.0%	15.0%	0.0%	50.0%	5.0%	10.0%	50.0%	15.0%	0.0%	5.0%	20.0%	0.0%	35.0%	0.0%
	第三小学校区	24	16	6	8	1	6	0	9	0	1	14	3	2	1	2	0	3	0
			66.7%	25.0%	33.3%	4.2%	25.0%	0.0%	37.5%	0.0%	4.2%	58.3%	12.5%	8.3%	4.2%	8.3%	0.0%	12.5%	0.0%
	第四小学校区	23	15	10	6	2	2	1	14	0	0	13	1	0	1	1	0	4	0
			65.2%	43.5%	26.1%	8.7%	8.7%	4.3%	60.9%	0.0%	0.0%	56.5%	4.3%	0.0%	4.3%	4.3%	0.0%	17.4%	0.0%

問３－１　問３の項目以外で重要視されることがあれば、ご記入ください。

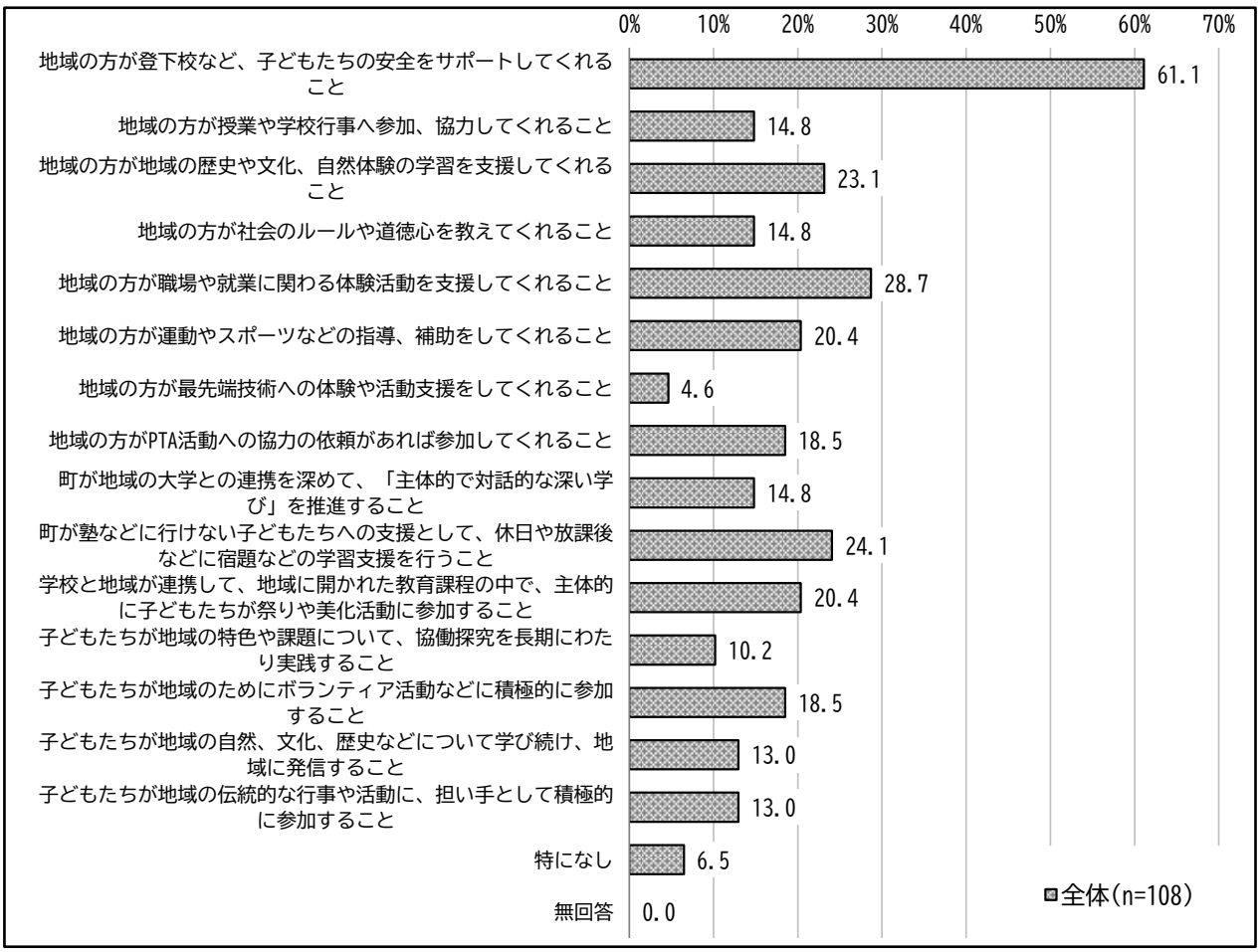
重要視されること	年代	小学校区
相手への思いやり	20 代	第一小学校
他者と共同し協力して一つの課題に取り組み、自分たちなりに解決していく力。	30 代	第一小学校
基礎的な学力を身につける	30 代	第一小学校
子どもの学習や行動等が教師の目に入るぐらいの人数 1 クラスがいいです。20 人前後ぐらい。	40 代	第一小学校
学力もですが、道徳心や多年齢の方との交流も持てればと思います。色々田舎でしかできない体験もあると思うので。	40 代	第一小学校
個人個人、個々を認めることができること。（いじめなどなく、一人一人を受け入れる心。）	20 代	第二小学校
何かあった時に相談しやすい環境	20 代	第二小学校
自分自身も大切にする事を家庭でも教える様にしていますが、学校でも伝えて欲しいです。	30 代	第二小学校
子どもの特性を把握し、将来の選択肢を増やせるような関わりが大切だと思う。県外の学校や海外との交流を増やし、グローバルな視点で物事を考える力を育んでほしい。	30 代	第二小学校
自主性	20 歳未満	第四小学校

問４　保護者として、子どもたちと地域との関わりについて期待することは、何ですか。（保護者、先生などへのサポートを含む）（複数回答）

⑴ 保護者として子ども達と地域との関わりについて期待することでは、「地域の方が登下校など、子どもたちの安全をサポートしてくれること」が61.1%と最も高く、次いで「地域の方が職場や就業に関わる体験活動を支援してくれること」28.7%、「町が塾などに行けない子どもたちへの支援として、休日や放課後などに宿題などの学習支援を行うこと」24.1%となっています。

⑵ 年代別でみると、いずれも「地域の方が登下校など、子どもたちの安全をサポートしてくれること」が最も高くなっています。また、20代では「子どもたちが地域のためにボランティア活動などに積極的に参加すること」が他の年代と比べて高くなっています。

⑶ 小学校区別でみても、「地域の方が登下校など、子どもたちの安全をサポートしてくれること」が最も高くなっていますが、第二小学校区では長期にわたる地域の特色や課題の協働探究の実践や地域のためにボランティア活動への積極的な参加、特になしの割合が、第三小学校区では社会のルールや道徳心を教えてくれること、第四小学校区では授業や学校行事へ参加、協力が他の小学校区と比べて高くなっています。



【クロス集計】

（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	地域の方が登下校など、子どもたちの安全をサポートしてくれること	地域の方が授業や学校行事へ参加、協力してくれること	地域の方が地域の歴史や文化、自然体験の学習を支援してくれること	地域の方が社会のルールや道徳心を教えてくれること	地域の方が職場や就業に関わる体験活動を支援してくれること	地域の方が運動やスポーツなどの指導、補助をしてくれること	地域の方が最先端技術への体験や活動支援をしてくれること	地域の方がPTA活動への協力の依頼があれば参加してくれること	町が地域の大学との連携を深めて、「主体的で対話的な深い学び」を推進すること	町が塾などに行けない子どもたちへの支援として、休日や放課後などに宿題などの学習支援を行うこと	学校と地域が連携して、地域に開かれた教育課程の中で、主体的に子どもたちが祭りや美化活動に参加すること	子どもたちが地域の特色や課題について、協働探究を長期にわたり実践すること	子どもたちが地域のためにボランティア活動などに積極的に参加すること	子どもたちが地域の自然、文化、歴史などについて学び続け、地域に発信すること	子どもたちが地域の伝統的な行事や活動に、担い手として積極的に参加すること	特になし	無回答
全体（単純集計）		108	66	16	25	16	31	22	5	20	16	26	22	11	20	14	14	7	0
			61.1%	14.8%	23.1%	14.8%	28.7%	20.4%	4.6%	18.5%	14.8%	24.1%	20.4%	10.2%	18.5%	13.0%	13.0%	6.5%	0.0%
年代別	20歳未満	6	3	0	3	1	1	2	0	0	2	1	1	2	0	0	1	1	0
			50.0%	0.0%	50.0%	16.7%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%
	20代	41	29	8	6	8	15	7	2	11	4	10	6	1	11	6	7	2	0
			70.7%	19.5%	14.6%	19.5%	36.6%	17.1%	4.9%	26.8%	9.8%	24.4%	14.6%	2.4%	26.8%	14.6%	17.1%	4.9%	0.0%
	30代	44	22	3	11	6	9	9	1	6	9	12	11	7	7	6	6	4	0
			50.0%	6.8%	25.0%	13.6%	20.5%	20.5%	2.3%	13.6%	20.5%	27.3%	25.0%	15.9%	15.9%	13.6%	13.6%	9.1%	0.0%
	40代	15	10	4	5	1	6	4	2	2	1	3	4	0	2	1	0	0	0
			66.7%	26.7%	33.3%	6.7%	40.0%	26.7%	13.3%	13.3%	6.7%	20.0%	26.7%	0.0%	13.3%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	50代	2	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0
			100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	60代以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
小学校区別	第一小学校区	41	23	7	9	6	14	9	4	8	7	12	10	4	7	6	8	2	0
			56.1%	17.1%	22.0%	14.6%	34.1%	22.0%	9.8%	19.5%	17.1%	29.3%	24.4%	9.8%	17.1%	14.6%	19.5%	4.9%	0.0%
	第二小学校区	20	9	2	5	3	5	3	0	5	1	2	1	4	6	3	3	4	0
			45.0%	10.0%	25.0%	15.0%	25.0%	15.0%	0.0%	25.0%	5.0%	10.0%	5.0%	20.0%	30.0%	15.0%	15.0%	20.0%	0.0%
	第三小学校区	24	19	1	5	6	6	6	1	4	4	5	5	1	3	1	2	1	0
			79.2%	4.2%	20.8%	25.0%	25.0%	25.0%	4.2%	16.7%	16.7%	20.8%	20.8%	4.2%	12.5%	4.2%	8.3%	4.2%	0.0%
	第四小学校区	23	15	6	6	1	6	4	0	3	4	7	6	2	4	4	1	0	0
			65.2%	26.1%	26.1%	4.3%	26.1%	17.4%	0.0%	13.0%	17.4%	30.4%	26.1%	8.7%	17.4%	17.4%	4.3%	0.0%	0.0%

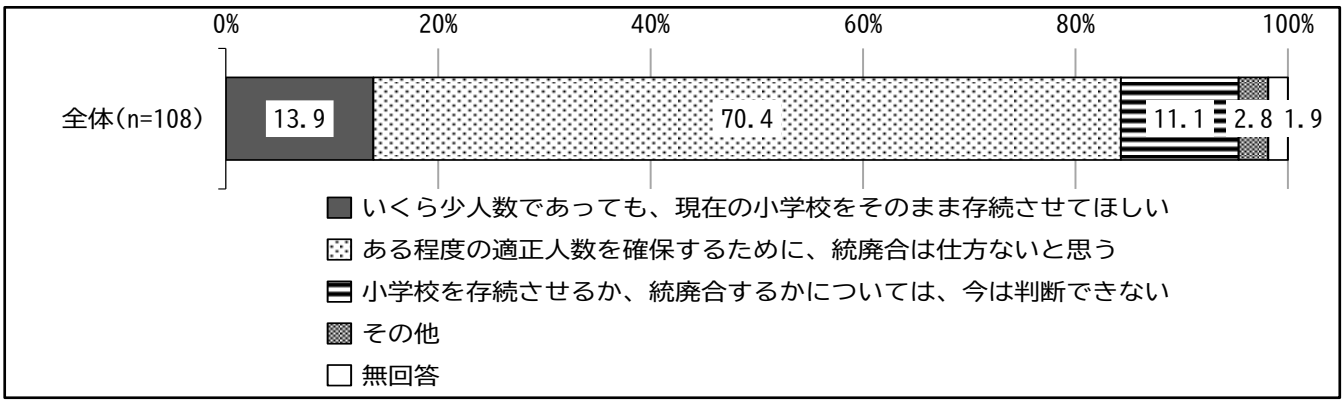
問４－１　子どもたちが、地域の特色や課題について探求し、学び合うために、南関町としてどのような取組が必要か、アイデアがありましたらご記入ください。

学び合うための取組・アイデア	年代	小学校区
学習発表会などを地域の方に見に来てもらえるようにする。	20 代	第一小学校
南関町にはどのような文化が根付いているのか町がきちんと把握し住民や子どもたちに発信していくことが必要。〇〇生誕の地などの情報ではなく、文化がどのように息づいているのかわかりにくいと感じる。	30 代	第一小学校
伝統的な行事等の南関町しかない行事等の見学や伝承できる子の育成も高齢化社会の今の世の中必要になってきているのかもしれません。	40 代	第一小学校
南関町の特色など、南関町について全国（世界）に発信する機会を設ける	30 代	第二小学校
地域の方々が学校に来てお話し会の様な形で学ぶ機会を作って頂けたらと思います。私は町外出身なので保護者も参加出来ると嬉しいです。	30 代	第二小学校
人数が少なくなってきたので、学校を一つにして家が遠いところにはバスを回したらどうですか。	30 代	第二小学校
課題だったら大勢の意見も必要と思うので４つ早く学校をまとめてみては。	30 代	第二小学校
子どもが自ら地域について調べてまとめ、発表する機会があるといいと思います。その時に地元で歴史文化を学ぶ活動されている方たちや、図書館の方たちと連携すると、子どもと地元との繋がりもできるのではないでしょうか。	30 代	第四小学校
探求するための準備期間（子どもの関心が向くような）事案を具体的に示して行くことが大切。学び合うとありますがその時間に学んだことが今後の生活に結びついていくかどうかも含め、特色や課題を選び提案していくことが大事だと思います。	30 代	第四小学校

問５　これからの教育においては、子どもたちの「主体的で対話的な深い学び」の実現が求められ、そのためには、多様な話し合い活動が欠かせません。そこで、子どもたちのよりよい成長、発達のためには、学級内には一定の人数が必要であることから、今後、小学校の統廃合もやむを得ないと思うか、思わないか、ということについて、あてはまる番号<u>１つ</u>に○をつけてください。（単数回答）

⑴　子どものよりよい成長、発達のために、今後小学校の統廃合もやむを得ないと思うかについては、「ある程度の適正人数を確保するために、統廃合は仕方ないと思う」が70.4%と最も高く、次いで「いくら少人数であっても、現在の小学校をそのまま存続させてほしい」13.9%、「小学校を存続させるか、統廃合するかについては、今は判断できない」11.1%となっています。

⑵　年代別、小学校区別でみても、いずれも「ある程度の適正人数を確保するために、統廃合は仕方ないと思う」が最も高くなっています。



【クロス集計】

（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	いくら少人数であっても、現在の小学校をそのまま存続させてほしい	ある程度の人数を確保するために、統廃合は仕方ないと思う	小学校を存続させるか、統廃合するかについては、今は判断できない	その他	無回答
全体（単純集計）		108	15	76	12	3	2
			13.9%	70.4%	11.1%	2.8%	1.9%
年代別	20歳未満	6	1	5	0	0	0
			16.7%	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	20代	41	8	27	4	1	1
			19.5%	65.9%	9.8%	2.4%	2.4%
	30代	44	4	33	4	2	1
			9.1%	75.0%	9.1%	4.5%	2.3%
	40代	15	2	10	3	0	0
			13.3%	66.7%	20.0%	0.0%	0.0%
	50代	2	0	1	1	0	0
			0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	60代以上	0	0	0	0	0	0
			－	－	－	－	－
小学校区別	第一小学校区	41	6	29	5	0	1
			14.6%	70.7%	12.2%	0.0%	2.4%
	第二小学校区	20	2	15	1	2	0
			10.0%	75.0%	5.0%	10.0%	0.0%
	第三小学校区	24	4	15	4	0	1
			16.7%	62.5%	16.7%	0.0%	4.2%
	第四小学校区	23	3	17	2	1	0
			13.0%	73.9%	8.7%	4.3%	0.0%

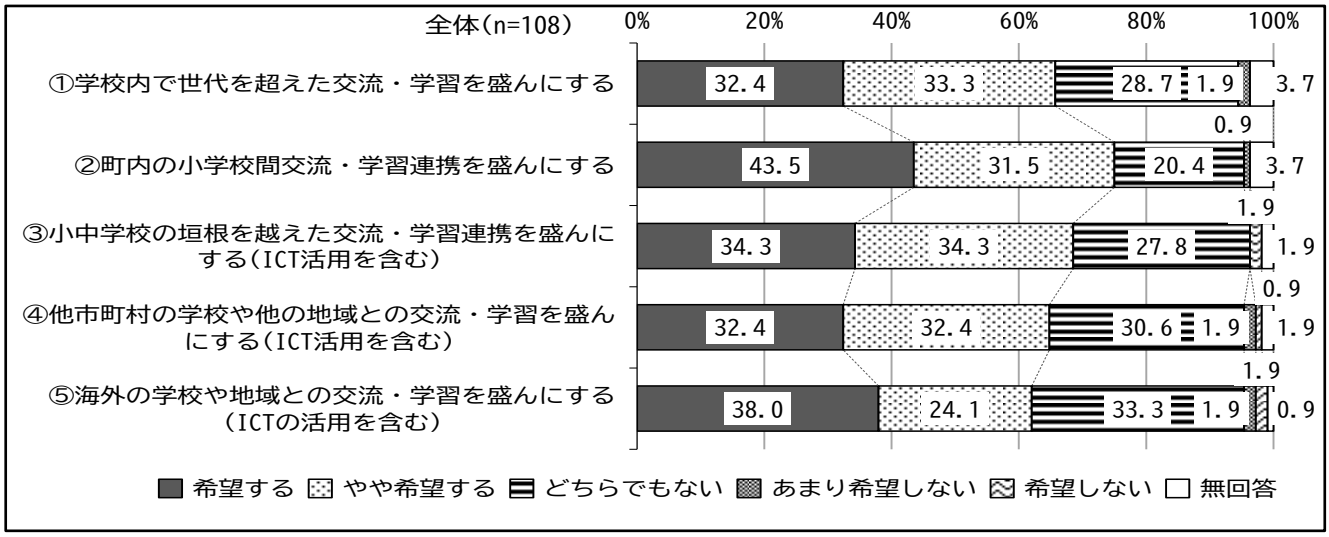
問５－１　問５で「４．その他」を選んだ方は、自由にご意見をご記入ください。

その他	年代	小学校区
適正人数が何人からなのか分からないが、集団生活から学ぶことがあるということを前提に捉えると統合が当たり前。お友だちが少ないという現実がこれから社会に出ていく子どものためになるのか？	20 歳未満	第一小学校
中学生の登校しぶりが年々増えているのが気になります。少人数で６年間過ごした後の環境の変化についていけていないのでは？という仮説があると思います。	20 代	第一小学校
少ない人数での良さも理解しているが、人数がいる事でできる事学べる事もあると思う(運動会やイベントの規模、盛り上がり方も人数で違う)。子どもには色んな選択肢を与えたいので、人数が多い子ども社会の中でたくさんの事を経験していってほしいと思う。	20 代	第二小学校
統廃合の取り組みが遅すぎる気がする。	20 代	第二小学校
通学バスなどの通う手段、方法を確保できるのであれば、適正人数を確保するための統廃合は仕方ないと思います。	20 代	第二小学校
リモートで他校との交流があるのであれば必ずしも統廃合が必要とは思いませんが、お友達は多い方が子ども達も楽しく過ごせるのかなと思います。	30 代	第二小学校
複数の学級でクラス替えが出来るという環境が、子どもたちが主体的に友達作り、コミュニケーションを高め、その結果質の良い学びが出来ると考えます。	30 代	第三小学校
同性のお友達が少なく、子どもが小学校へ行きたくないと不安に思っている為。親子で不安しかありません。たくさんのお友達を作ってほしいし、小学校生活を楽しんで通学してほしい。姉も通っているが、南関町内へ転校する子が毎年いてとても寂しい思いをしている為。	20 代	第四小学校
来年度入学の４小の子どもの親として、８人という少ない人数になるのは学級として成り立つのかが心配。それよりも２つの小学校が統合したほうがいいと思う。	20 代	第四小学校
やむを得ないを前提とすることは町の方針ではないでしょうか。現在の４つの小学校のまま授業内容の転換（オンライン授業）や教員数についても検討が必要だと思います。４つのままのメリット・デメリット、統廃合後のメリット・デメリットをすべて提示されたうえで検討してほしいと思います。	30 代	第四小学校

問６　将来的に児童生徒数が減少した際に、町の対応として希望することに関して、次の項目ごとにあてはまる番号<u>１つ</u>に○をつけてください。（単数回答）

⑴ 将来的に児童数が減少した際、町への対応策で希望度が高い（「希望する」＋「やや希望する」）のは「町内の小学校間交流・学習連携を盛んにする」が 75.0%、「小中学校の垣根を越えた交流・学習連携を盛んにする（ICT 活用を含む）」68.6%、「学校内で世代を超えた交流・学習を盛んにする」65.7%となっています。

⑵ 希望度が低い「（あまり希望しない）＋（希望しない）」割合については、いずれの項目も１割を切っています。



問６－１　問６の項目以外で希望することがありましたら、ご記入ください。

希望すること	年代	小学校区
交友関係が固定されることから友人同士のトラブル、保護者間のトラブルにも目をくばり、豊かな人間関係で子ども時代を過ごせる工夫をしてほしい。	30 代	第一小学校
人数が多い他地域の学校に登校してみるなどのイベントがあればよいと思います。人にもまれて人間関係を学んで欲しい。	30 代	第一小学校
ICT 活用に関して、今後の社会生活や学習の面でとても必要になっているとは思いますが、今の子ども達はすぐに習得してしまいますので、タブレットは学校の授業のみで使うくらいで良いのではないかと思います。	30 代	第一小学校
海外の人の暮らしや文化、考えの違い等も学んで自分を表現するコミュニケーション能力を培って成長していってもらいたい。	40 代	第一小学校
統廃合をしてほしい	20 代	第二小学校
ALT の方から教えて頂く事がとても良いと思っているのですが、町内や近隣にお住まいの外国人の方々から体験などを聞くような学びの機会を作って頂けるとまた子ども達のためになるのではと思っています。	30 代	第二小学校
小学校の合併の希望	30 代	第三小学校
減少するとわかっているのだから早く統合する話をすすめるべきだと思います。	20 代	第四小学校

問７　最後に、学校教育全般に関してご意見がございましたら、自由にご記入ください。

学校教育全般に関しての意見	年代	小学校区
小学校統合と制服の適用を希望します。	20 代	第一小学校
私は子どもたちが様々な環境状況の中でも自分を大切にしながら生きていき、挑戦できるような力を持ってほしいと思っています。そのために家庭、学校教育それぞれが行っていきたいと考えています。具体的ではなく申し訳ありませんが、率直な意見を書かせて頂きました。	30 代	第一小学校
地域から学校がなくなり、子どもがいなくなると地域の活力や元気がなくなると聞きます。地域から学校がなくなる時には、子どもの居場所を各地域に残すようにしてほしい。	30 代	第一小学校
学年１クラスのみというのは、広い視野や人間関係の基礎を学ぶのには人数が少ないように感じます。たくさんの人たちと関わる中で自分と気が合う人、意見が言い合える友達を作って欲しいと思います。	30 代	第一小学校
ひとり親家庭のサポートをしてほしい。（子どものメンタルケアなど）	30 代	第一小学校
小中学校は南関町に存在しているが高校では南関町以外になり交通手段が限られてくるので、中学卒業後の進路を心配しています（私立はスクールバスが出るが県立はない）。	40 代	第一小学校
小学校・中学校の時点で色々な職場などを見学や体験などを増やしてほしいです。自分の進路を決める際や夢など、早い段階で考えることができるようになると思いますし。自分たちの生きている社会に興味がでるといいかなと思います。	20 代	第二小学校

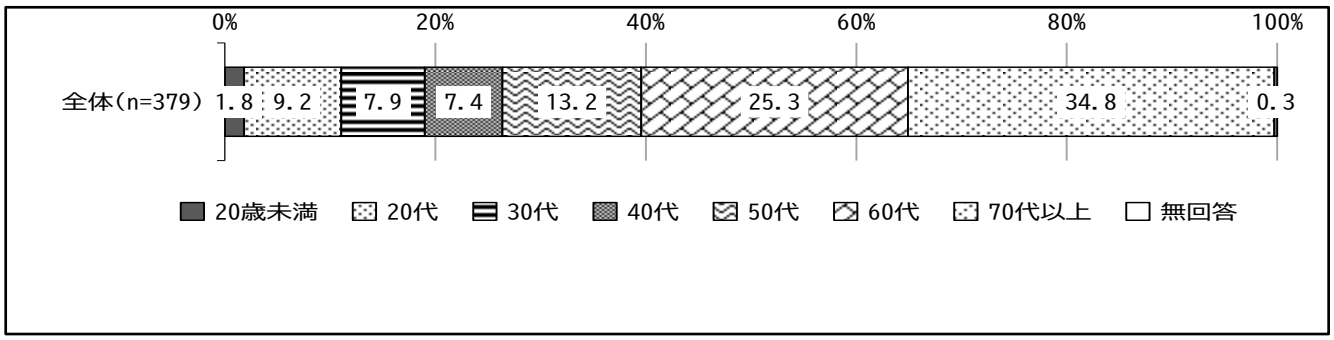
学校教育全般に関しての意見	年代	小学校区
子どもの人数が減っている原因には南関町の生活の不便があると思います。ドラッグストアやスーパーなど近隣の市町村に行く方が多いのも事実。生活する上でかかせないこのような施設が南関町にない事が町民が南関町から出て違う土地に行くきっかけにもなり、子どもの減少に繋がっていると思う。同じような話をよく耳にもします。生活の利便性は子育て世帯にはかかせません。買い物に行くのに近隣の市町村に行く時間が減らせれば、子どもに使う時間や習い事の送り迎えもできる事も増える家庭もあると思います。	20 代	第二小学校
良くないニュースを聞く機会が増えており、教育関係の方々は大変だと思います。子ども達のために今後ともよろしくお願い致します。	30 代	第二小学校
物事を小さな範囲で考えることのないよう、世代や人種を超えた交流が必要だと思う。交流する経験が子どもたちの生産性を育み、自信となることが大事。得意をみつけて伸ばせる教育。	30 代	第二小学校
個人の考え、個人の意見を大切にする教育であってほしい。どんな意見も受け入れる教育、こども達が自分を大切にし、自己を認めることかできるような働きかけを希望します。多数意見が正しいという風潮、個人の意見を尊重する教育であってほしいです。	30 代	第二小学校
子ども達が将来田舎だから知らなかった、田舎だから学んでないという事にならないように親としては環境を整えたいです。なので、複数の学級で周りの子の意見も傾聴し、地域や世代の垣根を超えたグローバルな学習を実現して欲しいです。	30 代	第三小学校
南関町は学力が低いと言われたことがあります。南関町に住んでいる者として恥ずかしく感じます。子ども達の学力向上の為に対策をして欲しいです。	30 代	第三小学校
小学校入学にあたり、子ども達が毎日健やかに元気に楽しく通ってくれることを希望します。学習も大切だとは思いますが、小学生の間はお友達や先生方とのコミュニケーションや体力づくりが大切だなあと感じます。子どもたちの成長の基盤は家庭にあると思いますので、学校と家庭でもコミュニケーションを取りながら健やかな成長につなげたいと思います。	40 代	第三小学校
いじめ、不登校がないように見守って下さい。楽しい学校生活であってほしい。	40 代	第三小学校
毎年児童数が少なく役員を毎年しており、とても大変なのでどうにかしてほしいです。	20 代	第四小学校
ある程度の人数がいる集団の中で学んで欲しいので、小学校の統廃合を行って欲しいです。今の４つの小学校の人数は少ないと思います。ただ、小学生が統合されると地域の拠点となる場所がなくなってしまうので、学童保育や廃品回収などの活動はこれまで通り各地域で実施するなど、地域ごとの取組は行ってほしいです。なかなか難しいことだと思いますが、よろしくお願いします。	30 代	第四小学校

6．地域住民用アンケート調査

問1　あなた（ご記入者）の年代をご記入ください。

⑴ 年代については、「70 代以上」が 34.8%と最も高く、次いで「60 代」25.3%、「50 代」13.2%となっています。

⑵ 小学校区別でみると、第四小学校では「60 代」、他の小学校区では「70 代以上」が最も高くなっています。



【クロス集計】

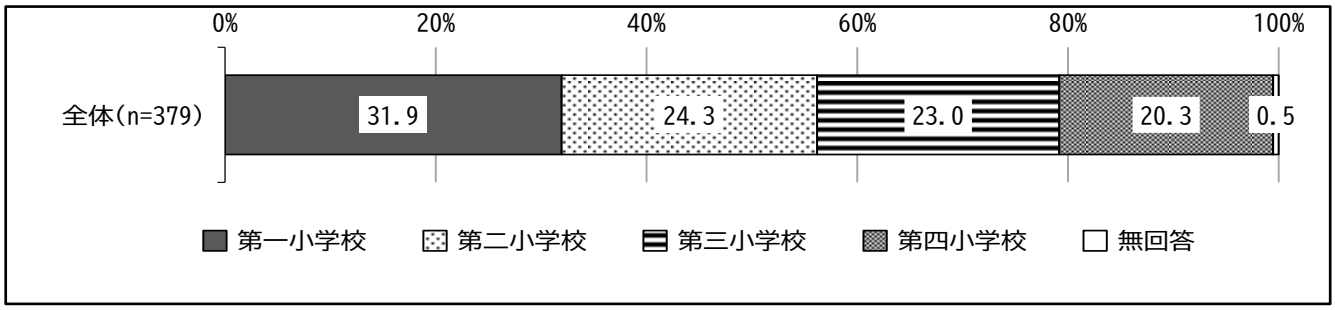
（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
全体（単純集計）		379	7	35	30	28	50	96	132	1
			1.8%	9.2%	7.9%	7.4%	13.2%	25.3%	34.8%	0.3%
小学校区別	第一小学校区	121	4	13	7	5	19	29	44	0
			3.3%	10.7%	5.8%	4.1%	15.7%	24.0%	36.4%	0.0%
	第二小学校区	92	1	10	7	5	14	23	32	0
			1.1%	10.9%	7.6%	5.4%	15.2%	25.0%	34.8%	0.0%
	第三小学校区	87	2	6	8	9	9	14	39	0
			2.3%	6.9%	9.2%	10.3%	10.3%	16.1%	44.8%	0.0%
	第四小学校区	77	0	6	8	9	8	29	17	0
			0.0%	7.8%	10.4%	11.7%	10.4%	37.7%	22.1%	0.0%

問２　あなたが住んでいる小学校区について（単数回答）

⑴ 居住している小学校区については、「第一小学校」が 31.9%と最も高く、次いで「第二小学校」24.3%、「第三小学校」23.0%となっています。

⑵ 年代別でみると、30 代及び 40 代では「第三小学校」「第四小学校」、60 代では「第一小学校」「第四小学校」が同率で最も高く、他の年代では「第一小学校」が最も高くなっています。



【クロス集計】

（上段：人　下段：%）

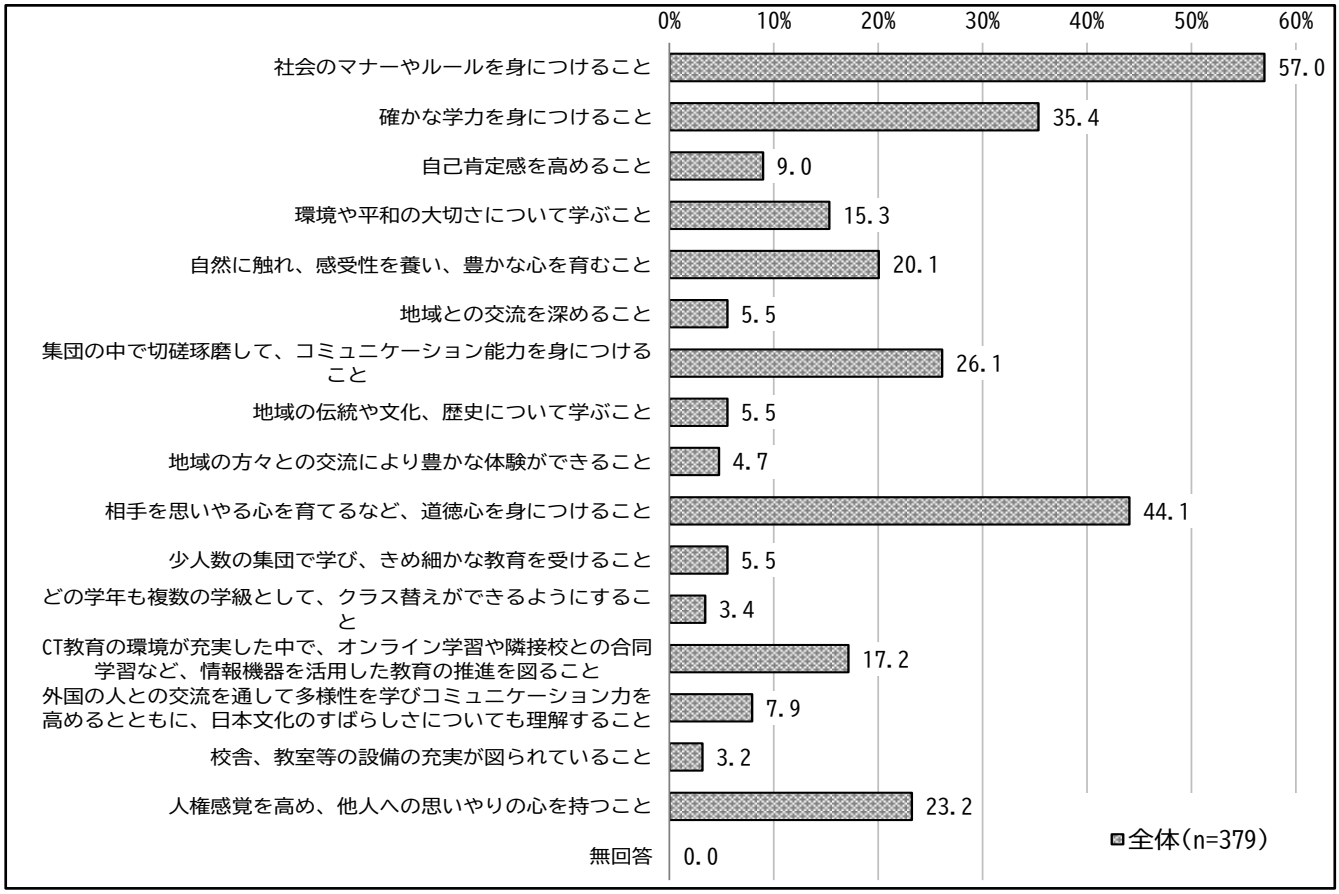
		標本数（人）	第一小学校	第二小学校	第三小学校	第四小学校	無回答
全体（単純集計）		379	121	92	87	77	2
			31.9%	24.3%	23.0%	20.3%	0.5%
年代別	20歳未満	7	4	1	2	0	0
			57.1%	14.3%	28.6%	0.0%	0.0%
	20代	35	13	10	6	6	0
			37.1%	28.6%	17.1%	17.1%	0.0%
	30代	30	7	7	8	8	0
			23.3%	23.3%	26.7%	26.7%	0.0%
	40代	28	5	5	9	9	0
			17.9%	17.9%	32.1%	32.1%	0.0%
	50代	50	19	14	9	8	0
			38.0%	28.0%	18.0%	16.0%	0.0%
	60代	96	29	23	14	29	1
			30.2%	24.0%	14.6%	30.2%	1.0%
	70代以上	132	44	32	39	17	0
			33.3%	24.2%	29.5%	12.9%	0.0%

問３　小学校では、基礎的な学習を習得することを基本とし、学習指導要領では、「主体的・対話的な深い学び」の視点から授業の改善を行っています。また、英語、理科では、専科教員の巡回指導による質の高い教育の提供に努めています。その他に、地域住民として小学校教育で重要視していることは何ですか。（複数回答）

⑴ 小学校教育で重要視していることについては、「社会のマナーやルールを身につけること」が 57.0％と最も高く、次いで「相手を思いやる心を育てるなど、道徳心を身につけること」44.1％、「確かな学力を身につけること」35.4％となっています。

⑵ 年代別でみると、40 代では「社会のマナーやルールを身につけること」「相手を思いやる心を育てるなど、道徳心を身につけること」が同率で最も高く、他の年代では「社会のマナーやルールを身につけること」が最も高くなっています。

⑶ 小学校区別でみても、いずれも「社会のマナーやルールを身につけること」が最も高くなっています。



【クロス集計】

（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	社会のマナーやルールを身につけること	確かな学力を身につけること	自己肯定感を高めること	環境や平和の大切さについて学ぶこと	自然に触れ、感受性を養い、豊かな心を育むこと	地域との交流を深めること	集団の中で切磋琢磨して、コミュニケーション能力を身につけること	地域の伝統や文化、歴史について学ぶこと	地域の方々との交流により豊かな体験ができること	相手を思いやる心を育てるなど、道徳心を身につけること	少人数の集団で学び、きめ細かな教育を受けること	どの学年も複数の学級として、クラス替えができるようにすること	ＩＣＴ教育の環境が充実した中で、オンライン学習や隣接校との合同学習など、情報機器を活用した教育の推進を図ること	外国の人との交流を通して多様性を学びコミュニケーション力を高めるとともに、日本文化のすばらしさについても理解すること	校舎、教室等の設備の充実が図られていること	人権感覚を高め、他人への思いやりの心を持つこと	無回答
全体（単純集計）		379	216	134	34	58	76	21	99	21	18	167	21	13	65	30	12	88	0
			57.0%	35.4%	9.0%	15.3%	20.1%	5.5%	26.1%	5.5%	4.7%	44.1%	5.5%	3.4%	17.2%	7.9%	3.2%	23.2%	0.0%
年代別	20歳未満	7	3	2	1	0	2	1	2	2	1	1	1	0	2	0	1	2	0
			42.9%	28.6%	14.3%	0.0%	28.6%	14.3%	28.6%	28.6%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	28.6%	0.0%	14.3%	28.6%	0.0%
	20代	35	22	13	5	3	11	2	6	0	4	13	2	2	5	0	1	10	0
			62.9%	37.1%	14.3%	8.6%	31.4%	5.7%	17.1%	0.0%	11.4%	37.1%	5.7%	5.7%	14.3%	0.0%	2.9%	28.6%	0.0%
	30代	30	17	12	5	5	8	2	11	5	3	10	2	1	7	4	4	7	0
			56.7%	40.0%	16.7%	16.7%	26.7%	6.7%	36.7%	16.7%	10.0%	33.3%	6.7%	3.3%	23.3%	13.3%	13.3%	23.3%	0.0%
	40代	28	17	9	3	6	6	2	9	0	2	17	2	2	5	4	0	8	0
			60.7%	32.1%	10.7%	21.4%	21.4%	7.1%	32.1%	0.0%	7.1%	60.7%	7.1%	7.1%	17.9%	14.3%	0.0%	28.6%	0.0%
	50代	50	29	22	4	8	10	1	19	3	0	19	2	0	6	2	2	8	0
			58.0%	44.0%	8.0%	16.0%	20.0%	2.0%	38.0%	6.0%	0.0%	38.0%	4.0%	0.0%	12.0%	4.0%	4.0%	16.0%	0.0%
	60代	96	53	32	8	10	16	3	22	5	1	46	6	2	15	8	2	21	0
			55.2%	33.3%	8.3%	10.4%	16.7%	3.1%	22.9%	5.2%	1.0%	47.9%	6.3%	2.1%	15.6%	8.3%	2.1%	21.9%	0.0%
	70代以上	132	75	44	8	25	22	10	30	5	7	60	6	6	25	12	2	32	0
			56.8%	33.3%	6.1%	18.9%	16.7%	7.6%	22.7%	3.8%	5.3%	45.5%	4.5%	4.5%	18.9%	9.1%	1.5%	24.2%	0.0%
小学校区別	第一小学校区	121	74	40	9	18	21	6	30	8	2	47	6	4	19	11	5	24	0
			61.2%	33.1%	7.4%	14.9%	17.4%	5.0%	24.8%	6.6%	1.7%	38.8%	5.0%	3.3%	15.7%	9.1%	4.1%	19.8%	0.0%
	第二小学校区	92	51	26	6	17	17	7	27	6	5	48	6	5	19	4	3	20	0
			55.4%	28.3%	6.5%	18.5%	18.5%	7.6%	29.3%	6.5%	5.4%	52.2%	6.5%	5.4%	20.7%	4.3%	3.3%	21.7%	0.0%
	第三小学校区	87	51	33	9	11	21	7	19	2	10	38	4	3	17	6	2	22	0
			58.6%	37.9%	10.3%	12.6%	24.1%	8.0%	21.8%	2.3%	11.5%	43.7%	4.6%	3.4%	19.5%	6.9%	2.3%	25.3%	0.0%
	第四小学校区	77	39	35	10	11	16	1	23	4	1	32	5	1	10	8	2	22	0
			50.6%	45.5%	13.0%	14.3%	20.8%	1.3%	29.9%	5.2%	1.3%	41.6%	6.5%	1.3%	13.0%	10.4%	2.6%	28.6%	0.0%

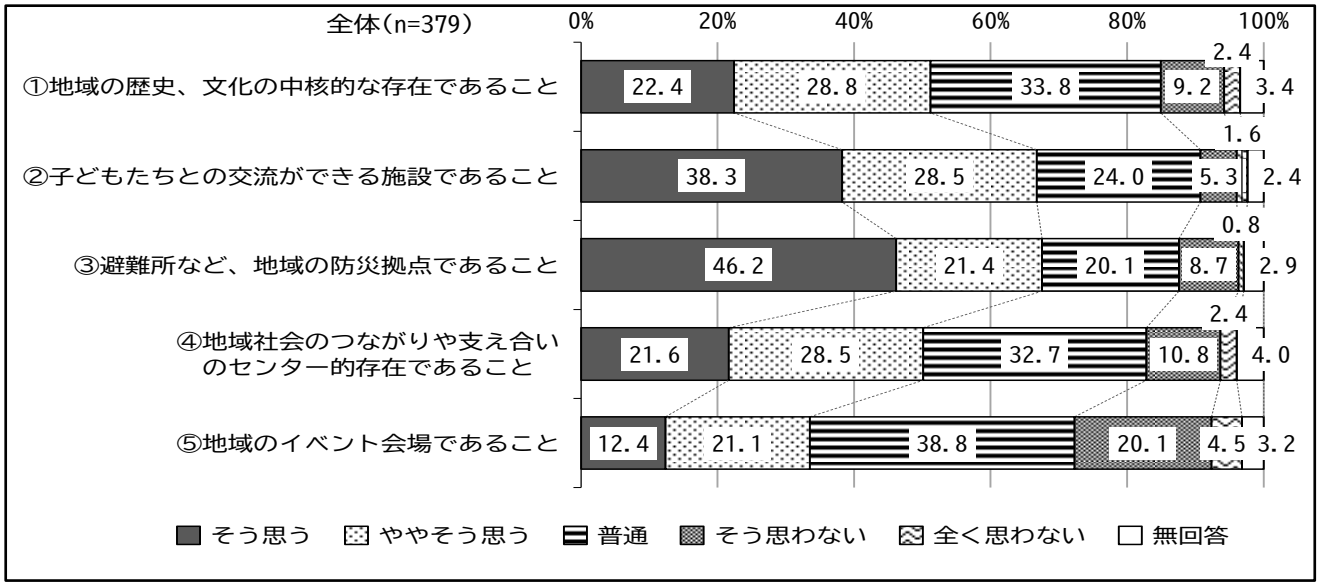
問３－１　問３の項目以外で重要視していることがありましたら、ご記入ください。

重要視していること	年代	小学校区
実社会で役に立つ教育の導入（お金や法についてネットリテラシーについて等）	40 代	第一小学校
先生方のコミュニケーション、その上での子ども達への声掛けが大事。	50 代	第一小学校
上下関係を学ぶ。年下の子どもへの思いやりを育てることができる。個性ある子どもを接することができる。	50 代	第一小学校
挨拶されると嬉しい。近くに小学生が住んでいても交流がない。学校になじめない子がいたら、そのフォローをしてほしい。	60 代	第一小学校
相手の話を聞けること	60 代	第一小学校
豊かな学力の中でも学ぶ意欲はこれからの社会でも必要とされるべきと思います。学習環境や家庭環境も充実し豊かになっている今日、子ども達が学力を伸ばす意欲は反面乏しくなっているように思えます。	60 代	第一小学校
他市町の小学校との交流で視野を広げ、参考になる点や改善点を見つめる。	60 代	第一小学校
子ども主体で発信して子ども同士で意見を出し合い、議論してほしい。	70 代以上	第一小学校
昔は、パソコン・オンラインはなく、大きく違っています。私達はついて行くことは出来ません。やはり小さい時から習った方がいいと思います。小学校で英語もあるのですね。	70 代以上	第一小学校
芸術への肯定、知識。	70 代以上	第一小学校
人権侵害、人種差別をなくす。	70 代以上	第一小学校
生きる力を身につける事。学んだことを総合的に考え、本質を見極め応用することができる能力に近いかもしれません。この問３で項目のすべてを達成する為には、学校での基礎知識の習得＋遊ぶこと（近所で、室外で）で培われるのではないかと思います。遊びは徒歩になる登下校時、私にとってはそれも集団行動の勉強や自然と触れ合う時間、大切な経験をしました。スクールバスによる登校は教育に良いとあまり思えません。	30 代	第二小学校
人としての行動の幅を広げる事	40 代	第二小学校
学校に高い学力は求めていない。子どもの心を守ることを一番大切にして欲しい。教師や他の保護者の悪意ある対応で心を壊すことだけはしないで欲しい。	40 代	第二小学校
お金のことを考える。	60 代	第二小学校
生涯を通して友と呼べる人との出会い（幼い頃からの）	60 代	第二小学校
スポーツをもっと重要視して欲しい。子どもが少ないけど部活動や先生たちにできるスポーツを放課後などにしたらどうかと思います。	60 代	第二小学校
命の大切さや他人の心や身体を傷つけるいじめ根絶の教育がとても重要かと思います。	60 代	第二小学校
一日の出来事を家族で話し合う事も大切ではないだろうか。	70 代以上	第二小学校
社会のマナーやルールを身につけること	20 歳未満	第三小学校
住んでいる地域の行事に参加する。	30 代	第三小学校

問４　問３の学校教育外で、地域における小学校の役割について、項目ごとにあてはまる番号１つに○をつけてください。①～⑤の項目以外で学校の役割だと思うことがありましたら、⑥その他にご記入ください。（単数回答）

⑴ 地域における小学校の役割について、思う（「そう思う」＋「ややそう思う」）の割合が最も高いのは「避難所など、地域の防災拠点であること」67.6%、次いで「子どもたちとの交流ができる施設であること」66.8%、「地域の歴史、文化の中核的な存在であること」51.2%となっています。

⑵ 思わない「（そう思わない）＋（全く思わない）」では、「地域のイベント会場であること」が 24.6%と最も高く、次いで「地域社会のつながりや支え合いのセンター的存在であること」13.2%、「地域の歴史、文化の中核的な存在であること」11.6%となっています。



◆その他の学校の役割だと思うこと

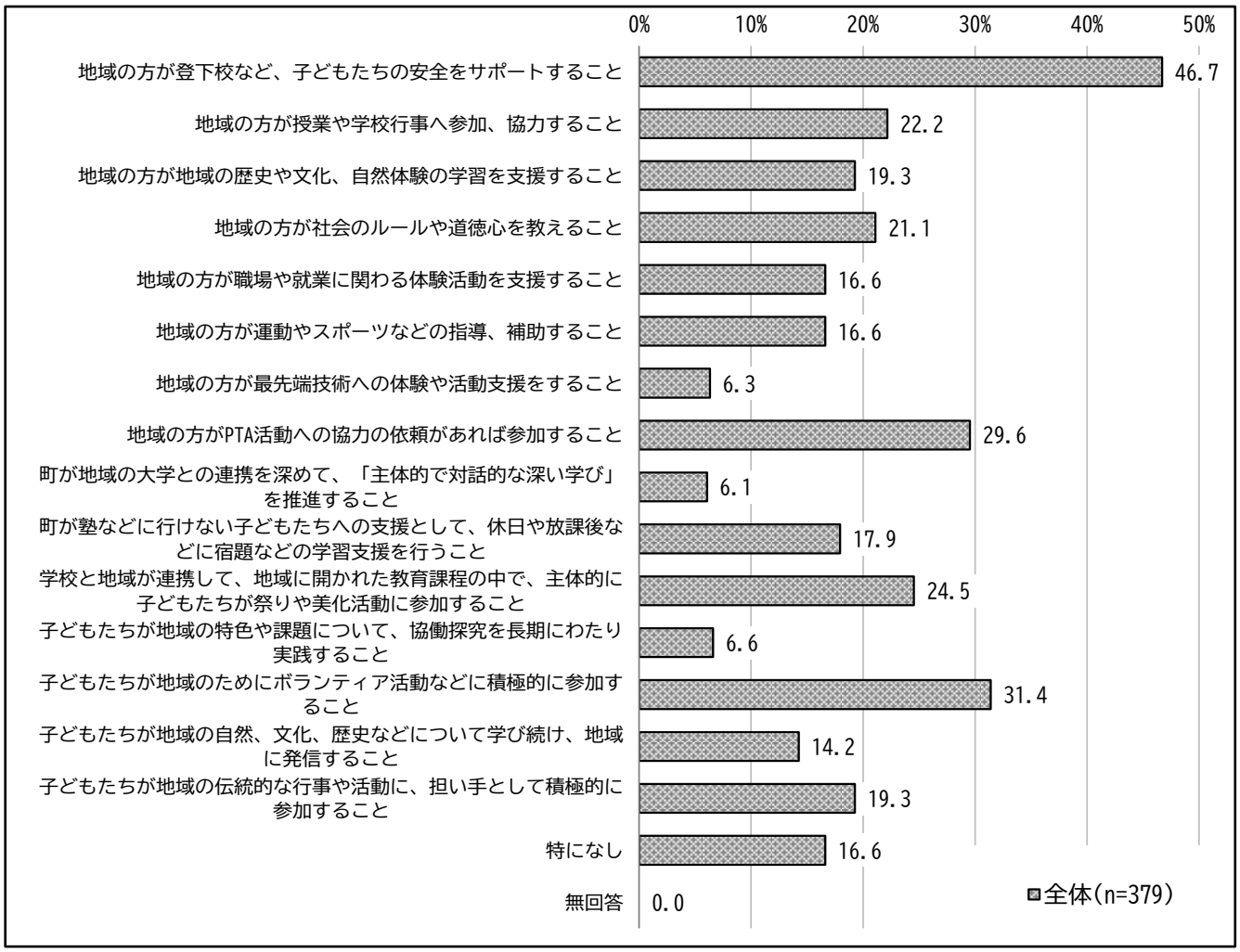
その他	年代	小学校区
お祭りは基本みんな好きです。私の知人は玉東、玉名市から子ども連れて来ています。	50 代	第一小学校
小さな子を持つ母親が散歩ルートとして歩けるエリアを土日に使えるようにできますかね。	60 代	第一小学校
そこの校区に住む子どもたちに普通教育（義務教育）を受けさせるために必要な場所。	20 代	第二小学校
保育園や幼稚園などのより低年齢層との交流・世話などの年長者としての心得方を覚える場所	40 代	第二小学校
必ずしも地域に小学校が必要なわけではない。防災拠点としては不十分だし、イベント会場などは町に一つでいい。	40 代	第二小学校
子どもが少ない分教えることがあるし、他県に負けない勉強の場を作る、例えばICTにもっと力を入れて日本一を目指すくらいの事を学校と町が考えるべきだと思う。老人にお金は使わなくていいから、子ども達にお金を使ってください。	60 代	第二小学校
子ども達が楽しく学べる施設と地域の未来づくりに役立つ拠点とする。	70 代以上	第二小学校
休みの時や放課後、昔は学校で遊んだり孫を連れて遊びに行ったりできていたが、今は友達と遊んだりするところがないので遊びに行けるようにしてほしい。	60 代	第三小学校
小学校は人及び学びのところであるので先生方は大変でしょうが、将来のある子どもたちのため頑張って頂きたい。	60 代	第四小学校
身近なところに学校があることで子どもたちと触れ合う機会があり、地域住民に元気を与えてくれています。	60 代	第四小学校
孫が校区外だったため、４小に親しみが感じられなかった。	70 代以上	第四小学校

問５　小学校との関わりについて、あなたが継続的に協力できることは何ですか。（保護者、先生などへのサポートを含む）（複数回答）

⑴ 小学校との関わりについて継続的に協力できることについては、「地域の方が登下校など、子どもたちの安全をサポートすること」が 46.7%と最も高く、次いで「子どもたちが地域のためにボランティア活動などに積極的に参加すること」31.4%、「地域の方が PTA 活動への協力の依頼があれば参加すること」29.6%となっています。

⑵ 年代別でみると、いずれの年代も「地域の方が登下校など、子どもたちの安全をサポートすること」が最も高くなっています。また、20 歳未満では「地域の方が運動やスポーツなどの指導、補助すること」、70 代以上では「子どもたちが地域のためにボランティア活動などに積極的に参加すること」が他の年代と比べて高くなっています。

⑶ 小学校区別でみても、「地域の方が登下校など、子どもたちの安全をサポートすること」が最も高くなっています。また、第一小学校区では「地域の方が授業や学校行事へ参加、協力すること」「地域の方が PTA 活動への協力の依頼があれば参加すること」が他の小学校区と比べて低くなっています。



【クロス集計】

（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	地域の方が登下校など、子どもたちの安全をサポートすること	地域の方が授業や学校行事へ参加、協力すること	地域の方が地域の歴史や文化、自然体験の学習を支援すること	地域の方が社会のルールや道徳心を教えること	地域の方が職場や就業に関わる体験活動を支援すること	地域の方が運動やスポーツなどの指導、補助すること	地域の方が最先端技術への体験や活動支援をすること	地域の方がＰＴＡ活動への協力の依頼があれば参加すること	町が地域の大学との連携を深めて、「主体的で対話的な深い学び」を推進すること	町が塾などに行けない子どもたちへの支援として、休日や放課後などに宿題などの学習支援を行うこと	学校と地域が連携して、地域に開かれた教育課程の中で、主体的に子どもたちが祭りや美化活動に参加すること	子どもたちが地域の特色や課題について、協働探究を長期にわたり実践すること	子どもたちが地域のためにボランティア活動などに積極的に参加すること	子どもたちが地域の自然、文化、歴史などについて学び続け、地域に発信すること	子どもたちが地域の伝統的な行事や活動に、担い手として積極的に参加すること	特になし	無回答
全体（単純集計）		379	177	84	73	80	63	63	24	112	23	68	93	25	119	54	73	63	0
			46.7%	22.2%	19.3%	21.1%	16.6%	16.6%	6.3%	29.6%	6.1%	17.9%	24.5%	6.6%	31.4%	14.2%	19.3%	16.6%	0.0%
年代別	20歳未満	7	3	1	0	1	2	3	1	0	0	1	0	0	1	0	1	2	0
			42.9%	14.3%	0.0%	14.3%	28.6%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	28.6%	0.0%
	20代	35	17	4	5	6	6	9	2	4	2	6	5	5	7	4	6	10	0
			48.6%	11.4%	14.3%	17.1%	17.1%	25.7%	5.7%	11.4%	5.7%	17.1%	14.3%	14.3%	20.0%	11.4%	17.1%	28.6%	0.0%
	30代	30	13	9	8	7	10	4	3	7	4	4	7	3	6	6	5	7	0
			43.3%	30.0%	26.7%	23.3%	33.3%	13.3%	10.0%	23.3%	13.3%	13.3%	23.3%	10.0%	20.0%	20.0%	16.7%	23.3%	0.0%
	40代	28	11	4	8	8	7	5	5	10	1	7	8	3	8	3	7	5	0
			39.3%	14.3%	28.6%	28.6%	25.0%	17.9%	17.9%	35.7%	3.6%	25.0%	28.6%	10.7%	28.6%	10.7%	25.0%	17.9%	0.0%
	50代	50	20	8	7	5	9	5	1	9	2	6	9	1	9	4	5	12	0
			40.0%	16.0%	14.0%	10.0%	18.0%	10.0%	2.0%	18.0%	4.0%	12.0%	18.0%	2.0%	18.0%	8.0%	10.0%	24.0%	0.0%
	60代	96	46	23	11	15	13	11	3	29	6	17	20	6	30	12	13	12	0
			47.9%	24.0%	11.5%	15.6%	13.5%	11.5%	3.1%	30.2%	6.3%	17.7%	20.8%	6.3%	31.3%	12.5%	13.5%	12.5%	0.0%
	70代以上	132	67	34	33	38	16	26	9	53	8	27	44	7	58	25	36	14	0
			50.8%	25.8%	25.0%	28.8%	12.1%	19.7%	6.8%	40.2%	6.1%	20.5%	33.3%	5.3%	43.9%	18.9%	27.3%	10.6%	0.0%
小学校区別	第一小学校区	121	58	15	22	20	21	18	4	25	4	22	33	5	34	15	19	19	0
			47.9%	12.4%	18.2%	16.5%	17.4%	14.9%	3.3%	20.7%	3.3%	18.2%	27.3%	4.1%	28.1%	12.4%	15.7%	15.7%	0.0%
	第二小学校区	92	50	23	18	28	15	20	10	32	5	19	18	9	28	17	18	15	0
			54.3%	25.0%	19.6%	30.4%	16.3%	21.7%	10.9%	34.8%	5.4%	20.7%	19.6%	9.8%	30.4%	18.5%	19.6%	16.3%	0.0%
	第三小学校区	87	36	24	21	12	12	12	3	31	5	11	22	6	31	10	20	14	0
			41.4%	27.6%	24.1%	13.8%	13.8%	13.8%	3.4%	35.6%	5.7%	12.6%	25.3%	6.9%	35.6%	11.5%	23.0%	16.1%	0.0%
	第四小学校区	77	33	21	11	20	15	13	7	24	9	16	20	5	26	12	16	13	0
			42.9%	27.3%	14.3%	26.0%	19.5%	16.9%	9.1%	31.2%	11.7%	20.8%	26.0%	6.5%	33.8%	15.6%	20.8%	16.9%	0.0%

問５－１　問５の小学校への関わりについて、あなたが継続的に協力できることを具体的にお答えください。

継続的に協力できること	年代	小学校区
放課後にスポーツなど動けるようなこと（以前まであった部活動）を一緒にする。	20 歳未満	第一小学校
祭りの運営の手伝い。	20 代	第一小学校
見守り、声掛け、仕事の説明、スマホや SNS についての説明（向き合い方）	40 代	第一小学校
地域行事への参加、伝統の継承。	50 代	第一小学校
まだ仕事をしているのであまり協力できません。	50 代	第一小学校
今は思いつかない。協力できることがあれば南関町に恩返しがしたいと思う。	50 代	第一小学校
子ども達の見守り支援と連絡	60 代	第一小学校
カギっ子の子ども達への支援。近所にも頼れる大人がいることを知って欲しい。	60 代	第一小学校
廃品回収くらいです。子ども食堂への差入れ（果物が実るとき）。	60 代	第一小学校
小学校前のフェンスから出ている雑草を取っています。	60 代	第一小学校
マナーを守っていない子に注意する。	60 代	第一小学校

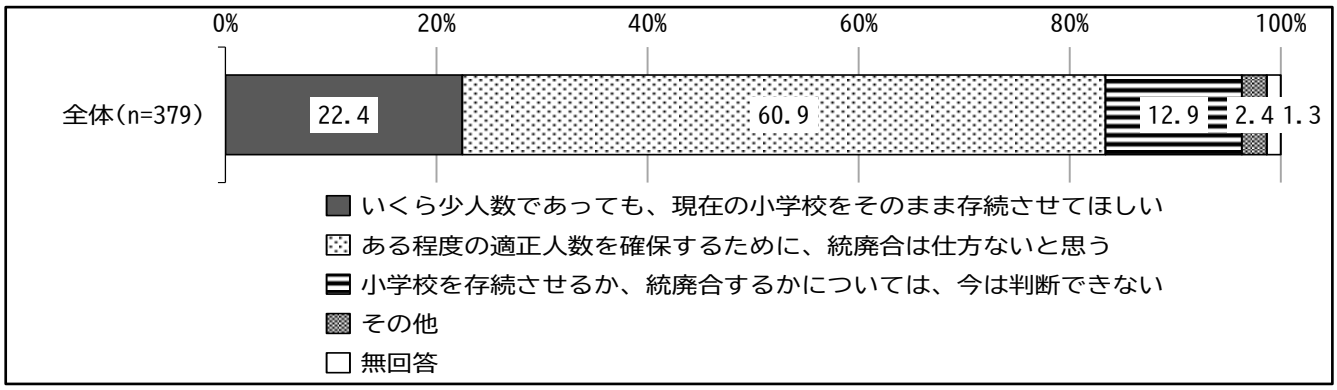
継続的に協力できること	年代	小学校区
子ども会活動の一環として、花を植える場所に駐車場を提供していましたが、子どもが減り続けとうとう解散してしまい残念に思います。資源回収の補助。	60 代	第一小学校
もう少し若かったら小さいことが出来るかもしれませんがやる気がなくなりました。	70 代以上	第一小学校
安全へのサポート。PTA 等、活動への必要あれば参加。	70 代以上	第一小学校
子どもたち（すべて）を私達大人が平等に暖かく見守ることが大切だと思っております。	70 代以上	第一小学校
何も協力出来ないですが、子供の声を聞くだけでうれしくなります。	70 代以上	第一小学校
生徒の登下校時の横断歩道等に立ち子ども達を交通事故から守る。	70 代以上	第一小学校
子どもに道で会った時声をかける事くらいしか出来ません。	70 代以上	第一小学校
何でも協力してあげたいのですが、年寄で足腰が動きません。ごめんなさいね。	70 代以上	第一小学校
南関へ引っ越してきて１年しか経たないのでよく分かりません。	30 代	第二小学校
郷土史に関する教材、もしくは情報の提供。	30 代	第二小学校
朝が早く夜遅いため、今は無理だが将来的に	50 代	第二小学校
夫は活動を行っていたが、私は出来ない。	60 代	第二小学校
近いうちに仕事に復帰する予定ですので、継続的に協力できるか分かりませんが、⑩の学習支援（国語作文の書き方など）を応援できたらと思います。また⑧の PTA 活動も協力したいと考えております。	60 代	第二小学校
子ども達の安全サポート等	60 代	第二小学校
登下校などのサポートは協力できると思います。資源回収の年２回は今までもこれからも協力します。	60 代	第二小学校
協力を頼まれたら出来る範囲で協力はするが、具体的には特に仕事が休みの時じゃなければ無理ですね。	60 代	第二小学校
通学路の草刈り等の整備	70 代以上	第二小学校
スポーツ指導補、ボランティア活動、就業体験、地域美化、自然体験活動。	50 代	第三小学校
清掃・美化活動・見守り活動　防災・減災などの学習や共助活動→大人の方の関心の薄さが心配です。	60 代	第三小学校
登下校時の見守りサポート	70 代以上	第三小学校
仕事に関わる事（体験したいこと）を話すこと	20 代	第四小学校
子ども達の登下校の見守り、廃品回収などへの参加、職業講話などでの体験活動への参加。	40 代	第四小学校
読み聞かせ等	50 代	第四小学校
土日であれば学校行事等で人手が足りない場合はお手伝いができます。退職後は朝登校時の横断歩道等の見守り、清掃活動、学習の補助等ができるかと思います。	60 代	第四小学校
地域でのサポートは必要と思いますが、前面に保護者が出るべきではないでしょうか。たしかに保護者が仕事をしている人が多いので、無理な部分があると思いますが、何かあったときは保護者の意見が出されます。何か腑に落ちないところがあります。	70 代以上	第四小学校

問６　これからの教育においては、子どもたちの「主体的で対話的な深い学び」の実現が求められ、そのためには、多様な話し合い活動が欠かせません。そこで、子どもたちのよりよい成長、発達のためには、学級内には一定の人数が必要であることから、今後、小学校の統廃合もやむを得ないと思うか、思わないか、ということについて、あてはまる番号１つに○をつけてください。（単数回答）

⑴ 子どものよりよい成長、発達のために、今後小学校の統廃合もやむを得ないと思うかについては、「ある程度の適正人数を確保するために、統廃合は仕方ないと思う」が 60.9%と最も高く、次いで「いくら少人数であっても、現在の小学校をそのまま存続させてほしい」22.4%、「小学校を存続させるか、統廃合するかについては、今は判断できない」12.9%となっています。

⑵ 年代別でみると、20 歳未満では「いくら少人数であっても、現在の小学校をそのまま存続させてほしい」が最も高くなっていますが、他の年代では「ある程度の適正人数を確保するために、統廃合は仕方ないと思う」が最も高くなっています。

⑶ 小学校区別でみると、いずれも「ある程度の適正人数を確保するために、統廃合は仕方ないと思う」が最も高くなっています。



【クロス集計】

（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	いくら少人数であっても、現在の小学校をそのまま存続させてほしい	ある程度の適正人数を確保するために、統廃合は仕方ないと思う	小学校を存続させるか、統廃合するかについては、今は判断できない	その他	無回答
全体（単純集計）		379	85	231	49	9	5
			22.4%	60.9%	12.9%	2.4%	1.3%
年代別	20歳未満	7	5	2	0	0	0
			71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	20代	35	3	22	8	2	0
			8.6%	62.9%	22.9%	5.7%	0.0%
	30代	30	4	22	1	2	1
			13.3%	73.3%	3.3%	6.7%	3.3%
	40代	28	2	18	5	3	0
			7.1%	64.3%	17.9%	10.7%	0.0%
	50代	50	9	37	4	0	0
			18.0%	74.0%	8.0%	0.0%	0.0%
	60代	96	25	56	14	1	0
			26.0%	58.3%	14.6%	1.0%	0.0%
	70代以上	132	37	74	17	1	3
			28.0%	56.1%	12.9%	0.8%	2.3%
小学校区別	第一小学校区	121	30	76	13	1	1
			24.8%	62.8%	10.7%	0.8%	0.8%
	第二小学校区	92	20	55	13	3	1
			21.7%	59.8%	14.1%	3.3%	1.1%
	第三小学校区	87	16	58	10	2	1
			18.4%	66.7%	11.5%	2.3%	1.1%
	第四小学校区	77	19	41	13	3	1
			24.7%	53.2%	16.9%	3.9%	1.3%

問６－１　問６で「４．その他」を選んだ方は、自由にご意見をご記入ください。

その他	年代	小学校区
子どもたちやその保護者の気持ちが重要。離島などで少人数の学校で過ごしたからと言って、豊かな心を育むことができないわけではないと思うので。	40 代	第一小学校
これは一般常識上の決めつけである。少なくても良い。	70 代以上	第一小学校
統合するにして子どもの安全通学をどうするか。歴史がある小学校をどういった形で未来へ残すか。校歌も歴史がある。１小の校歌はまだ忘れていない。	70 代以上	第一小学校
人数確保のために統廃合は仕方ないことだと思っていますが、各校区の地域活性化のためにも存続してほしい気持ちもあります。しかし、統廃合後通学手段がバス等になれば、町外から移住も考えられる方も増えるのではないかと思います。	20 代	第二小学校
存続させてほしいが、時代の流れ、統廃合は仕方ないと思うが、問３での回答を踏まえ、徒歩圏内が望ましと思います。	30 代	第二小学校
まず少人数でも出来ることを行い、その限度がきたら統合もやむを得ないと思う。	60 代	第二小学校
成長、発達のため必要な時は統廃合は必要で仕方ないと思うので反対はしないが、自分が通った小学校がなくなるのは悲しいと思う。	20 代	第三小学校
４つの小学校を存続させて町の財政は大丈夫なのか。	40 代	第三小学校
離島の事を思えば、まだまだ多い方なのでは？	60 代	第三小学校
通学の手段が確保できるのであれば統合も良いかと思う。学校までの距離が遠いと通学が心配になる	30 代	第四小学校
統廃合の場合、スクールバスが使用されるのか？もし、スクールバスになった場合歩くことが少なくなるため、足腰や体力低下になるのではないかと思う。また小学校を１つにする場合、新しく建てるのか？コミュニケーションや対話的な深い遊びについてはたくさんの中でいろんな人々と接した方が子どもたちのためになると思う。	30 代	第四小学校
統廃合必須。	40 代	第四小学校
昔中学校も北中、南中の様にその感じで進めれば良いのでは。町役場の方も子育てをもう少し考えてもらいたい。	70 代以上	第四小学校

問７　最後に、学校教育全般に関してご意見がございましたら、自由にご記入ください。

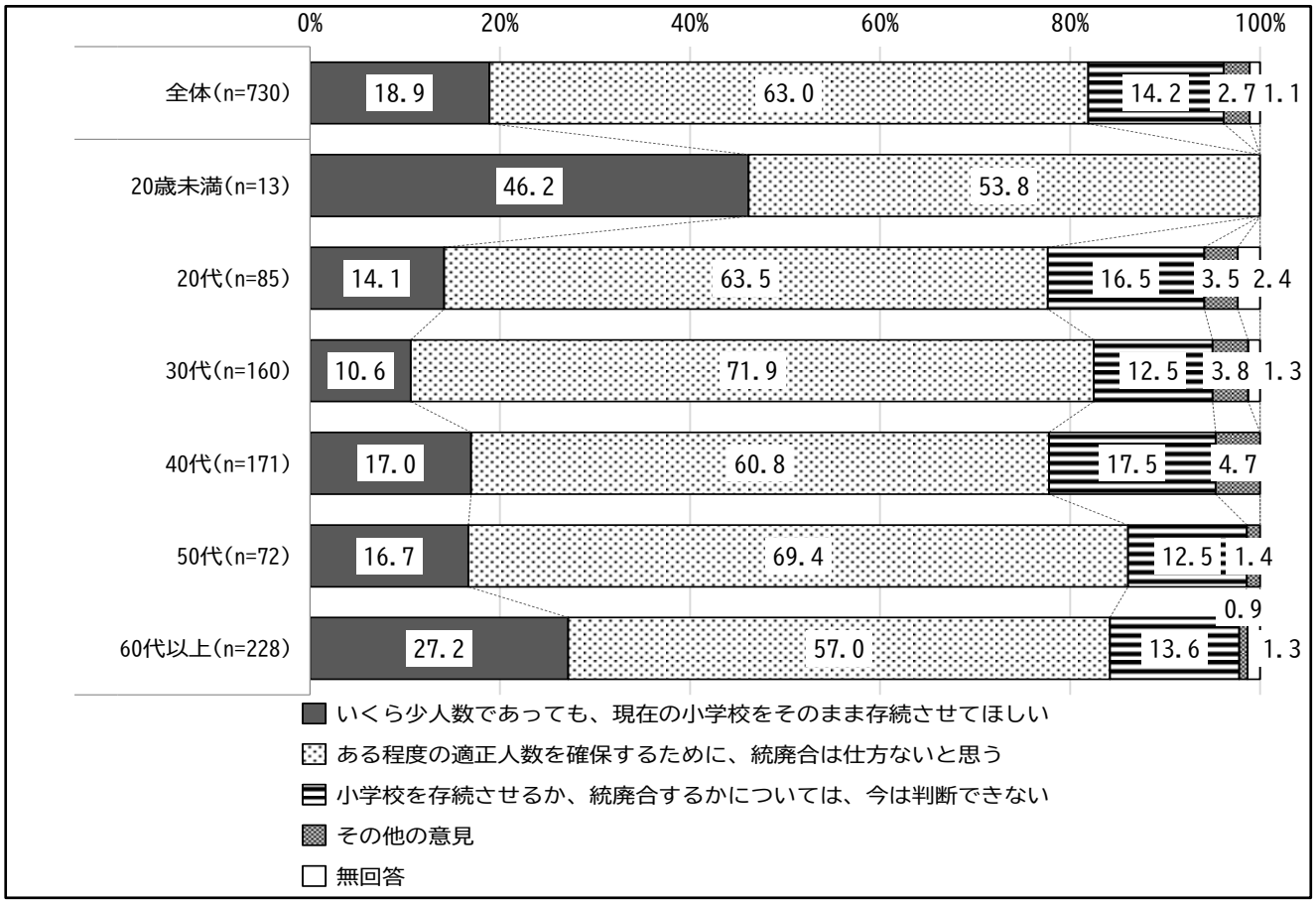
学校教育全般に関しての意見	年代	小学校区
近年よく聞く不登校やいじめ等に南関町が対応できているか気になります。他の町では自分のクラスから離れたい時に、誰でも自由に利用できる教室を設けた学校が存在すると聞きました。不登校などの問題を抱えた子ども達にとって、コミュニケーションの場が無くならないような対応を望みます。	20 代	第一小学校
数がすべてではないが、統廃合は時代の流れだと個人的には思います。	30 代	第一小学校
モンスターペアレントの存在はどうかと思います。子どもの個性を大事にしてほしいです。	30 代	第一小学校
現状、学校や教師の負担が大き過ぎると感じます。主な原因は家庭内での教育にあるので学校教育の問題ではありませんが、大人に対してバカにしたような態度をとる子どもが多すぎます。	40 代	第一小学校
小学校の教育は社会人としての基本となる人間形成をしていく入口であると考えるので、学力重視ではなく社会のルールや道徳心の習得を重視した教育が望ましいと考える。学力はその過程で自然にできると考えています。	40 代	第一小学校
資源回収が年２回実施されているが、小学生が居ないところがある。今後回収する場合はどうされるのか。	50 代	第一小学校
統合後、学校と地域の関係希薄化が懸念される。地域と学校の協働活動の促進を希望します。	50 代	第一小学校
南関町の宝である子ども達が増々学力をつけ育っていくことを願っています。学校教育の現場はニュース等などを見ると、とても大変ご苦労されているのではないかと心配しております。教育委員会をはじめ先生方にはこれからもよろしくお願いします。南関町民で宝を育てていけるようにしていきたいですね。	60 代	第一小学校
一学年に 10 人未満にまで減少していることに驚きました。早急に統廃合の必要性を感じています。	60 代	第一小学校
朝と夕方に家の方が車で送り迎えは当たり前なのでしょうか。	60 代	第一小学校
いじめに対してしっかり向き合って欲しい。	60 代	第一小学校
昔のクラス人数は多くて結構もまれていたが、少人数だと大切にされ過ぎて社会に出た時のことが心配にもなる。	60 代	第一小学校
孫も遠くにおり 60 代ばかりで住んでいる為、今の学校の様子はあまりわからないが、とにかく学校は楽しい所だと子ども達が思える場所になれば良い（TV 等で児童の事件を聞くと悲しくなる）。先生も親も大変だとつくづく思う。	60 代	第一小学校
最近は個人で（ゲーム等）遊ぶことが多く、室内で遊ぶことも多い様に思います。やはり人間にはコミュニケーションが必要だと思います。皆で一緒に行動する機会を増やして欲しいと思います。	60 代	第一小学校
少人数になることはわかっているので、１小から４小まで合同の行事があってもいいと思う。	60 代	第一小学校
授業についていけない児童をなくすため、個別学習の場を設けたらいいと思います。	60 代	第一小学校
主体的な深い学びの観点からだけではなく、集団社会の中で生きていく社会性を身につけさせていく観点からも、クラス替えが出来て新しい集団の	60 代	第一小学校

学校教育全般に関しての意見	年代	小学校区
中で社会性を身につけさせていく体験をさせていくことは、学力と同様に重要なことだと思う。		
親の都合で行事や活動等が縮小されているように思います（例：プール開放、夏休みのラジオ体操、子ども会活動等）。もっと親は子どものために努力してほしい。	70代以上	第一小学校
小さいうちから将来なりたい職業等を決められるような教育をしてほしい。	70代以上	第一小学校
子どもが少ないと思います。淋しいです。孫も大きくなり近所にも小学生はいません。下校の時間に会える位です。	70代以上	第一小学校
今になって統廃合のアンケートは遅すぎる。小学校は南関町で一校に早急にすべきだと思います。	70代以上	第一小学校
近隣の町の統廃合の実態と結果について調査をして下さい。	70代以上	第一小学校
今後の課題は１番に小学校の統廃合の問題でしょう。少人数の学校もメリット（先生と児童とのコミュニケーションが密になる。教育、生活指導等細やかな指導ができる他）もあると思うが、ある程度の人数の学校の方が、人間性の多様化（少人数だと一元化になる可能性がある）や子ども達の自立心の向上につながるのではと期待する。親の都合もあるかもしれないが、これから子ども達が最良の環境の中で、自分が発揮できる力を精一杯出し、勉学に励めるような小学校を子どもたちのために造ってほしい。	70代以上	第一小学校
今テレビなどで若い人、年取った人までもが変な言葉を発している。文法的におかしいのではないかと思われる。外国人が日本語の文法をわからずに使っているのを日本人が同調して使って広まったのではないかと思われる。聞いただけで気分が悪くなる。テレビではよく訂正してあるが、残念である。外国語も大切であるが、まずは日本語を大切にすべきである。母国語をなくした民族は亡ぶと言われる。	70代以上	第一小学校
積極的な挨拶ができる子ども達に指導して頂きたい。積極的に落ちているゴミは拾う、下級生は上級生を敬い上級生は下級生に優しく接する等、人として生きるための身の回りの教育を望みます。道徳教育の充実。	70代以上	第一小学校
運動会は地域の皆さんが見に行けるようになって欲しい。コロナ禍前は卒業式・入学式と各校区の民生委員に出席の案内があったが、全くなくなってしまったので、淋しいです。	70代以上	第一小学校
子どもは大勢の中でもまれて成長するものだと思います。学年を取り交ぜての全体活動や他学年の活動、学校間の交流、複数の学校での共同の活動など、多人数での学習は子どもたちの心の成長に役立つと思います。	70代以上	第一小学校
今は色々な問題で先生方も物を言えない時代となっておりますが、すべての子ども達に対して深い愛情を持って接して欲しいと思っています。	70代以上	第一小学校
現在の１小、２小、３小、４小全体の子どもの数から見て統合は仕方ないと思う。統合できれば町全体で良くなると思うし、子ども達も競争心が出てくるのでは？	70代以上	第一小学校
保護者の力が南関町はどうか知りませんが、昔より強くなり過ぎたせいなのか、教員のなり手が少ないと思います。教員の働き方改革はその地域の人々の協力がなければできないのではとテレビのニュース等を見た限り考えています。	30代	第二小学校
すぐにでも統廃合してほしい。少ない人数だったら、友達も少なくいい思い出づくりができないと思います。小学校の６年間は友達との交流が大事だと思います。	30代	第二小学校

学校教育全般に関しての意見	年代	小学校区
南関町の人口は中々増えることは現状難しいことだと思います。それでも南関で子育てをしたいと思う方々もたくさんいるとは思いますが、少子化もあり、子どものことを考えると、より多くの子どもが集まっているところで子育てをしたいとなると思います。まずは、統廃合を前提で早めに話を進めてもいいのかなと思います。その中で今ある小学校で統合するのではなく、今の時代に合った新しい小学校ができれば、よりいい教育にも繋がると思います。近隣に負けない小学校が出来ればそれだけでも若い世代の方々に子育てをする場所の選択肢の１つにもなりますし、若い世代が増えれば町全体としての取り組みも変わってくると思います。現在の小学校がなくなるのは色んな意見が出るとは思いますが、活用とすれば、今は災害が多くなっていますので、少し整備すれば防災の時など活用もできてくるのかなと思います。色んな選択肢を考えた上で早めに統廃合が進んでほしいと思っています。	30 代	第二小学校
例えば地元に学校がなくなるのは住民としては淋しいことではあるが、次世代をある程度の人数の中で育てなければ、自己の考えや思いを伝え通じ合うことが出来なくなる。それに近いことができてくると思います。現に町中の人、意見を言われますが、その前のことは知らんぷりか？	60 代	第二小学校
小中学校を一つにして、小学生で遠方の子どもにはスクールバスを利用。廃校になった学校は企業誘致又は施設利用に使う事などにする。	60 代	第二小学校
現在熊本県内において水上村、合志市において小中一貫教育を行っている学校がある。南関町も小中を合わせた一貫教育の道を模索してみてはどうでしょうか。南関町はもっと若い人が住みやすい地域を目指して人口を増やす努力をしてほしい。	60 代	第二小学校
教員（先生）に対しての負担が大きくないか？仕事が増えてしまうと仕事に追われて、子ども（生徒）達に向ける目がおろそかになってしまう。また子どもの声・行動を気にかける事が出来ない。仕事中心でなく子ども中心の学校であって欲しい。	60 代	第二小学校
少人数だから先生たちの目が行き届いているのでいいと思う。逆に多かったら先生たちの指導力が足りてないと思う。先生たちの教育も必要だと思う。メンタルの方も。	60 代	第二小学校
教師の資質に関わる事件が近年起きています。小学生の感受性豊かな心を大切に育てて欲しいです。	70 代以上	第二小学校
今の時代先生方も大変と思う。生徒にちょっとした事（頭、体）を触れただけでも教育委員会へと連絡すると思う（暴力をしてはいけないけど）。自分の子どもを育てるのにも大変。教育者の方も１クラス 30 人～40 人を１人で見ていると思う。家庭でも先生方の大変さを教えることも大事と思う。私の時代は先生に叱られたと言うと、親にも叱られる時代でした。	70 代以上	第二小学校
主体的に考え、行動できる人間に育つためには、幼児の段階から個人の自由な考えを言えるような教育が必要と思います。今までの国の教育では、画一的な人間しか育ちません。小さい時から個人を互いに認め、自由な意見を言えるような教育環境が必要です。小さい町だからこそやれば出来ると期待しています。そうした教育が全国に先駆けて実現できれば、町の人口増加活性化に必ずつながるはずです。	70 代以上	第二小学校
家族が気付くのが第一ですが、イジメに関して学校の場でも気付いてあげて、子どもらしく過ごせるように努力していただきたいです。	70 代以上	第二小学校
以前は通学するときは「おはようございます」と子ども達は言っていましたが、今は朝から下を向いて顔を見て「おはようございます」という子ども達がいなくなった様な気がします。	70 代以上	第二小学校

学校教育全般に関しての意見	年代	小学校区
人口減少による統廃合を町全体で小中一貫を含め、検討すべし。教育は統合することが有効である。通学の問題をどう解決するかである。歴史・文化は自然についてくる。町民の全てに問うべき。	70 代以上	第二小学校
通勤中に見かける子どもが少なくなって寂しい気持ちになりますが、元気な姿を見るとこちらも元気になります。少人数でしかできない、一人一人への関わりが深い教育を大切にして頂きたいです。	30 代	第三小学校
私の子ども時代は挨拶を大切にしていた。今の子どもたちはろくに挨拶もできない子が多い気がする。コミュニケーションの基本は挨拶です。	40 代	第三小学校
現在の高齢化、少子化に伴い将来の町民減少に歯止めをかける上で、魅力ある町づくり及び小中一貫とした質のある教育体制を進めてもらいたい。	60 代	第三小学校
これまで４校を大切にされてきたことは感謝しかありません。町長さんや議会の皆様も予算面で努力されてきたことと思います。ただ、少子化の流れは厳しいものがあります。子どもは子ども同士の中で大きく成長するものだと思うので、もまれながら励まし合いながら学べる環境を整えて行って欲しいと思います。学校・先生方にも学級経営しやすい環境を提供してあげてください。先生方が子どもたちとゆっくりしっかり関わって頂くことで、子どもたちは自信をつけていけるような気がします。先生方も成長されます。	60 代	第三小学校
田舎に住んでいるからこそできる体験をたくさんして、のびのびと生活してほしいです。一方で都会と同じ様な最新最先端の情報機を使った教育も受けて欲しいです。	70 代以上	第三小学校
学校は子ども達が伸び伸びと成長していく場所（存在）だと思います。いじめや不登校などの児童が増えているのが心配です。	70 代以上	第三小学校
統合すると通学が大変になる。地域の行事もなくなってしまうと思う。	20 代	第四小学校
地域の子どもと大人の関係について思うのは、地域の子どもを地域の大人が支える関係は義務教育までで、16 歳からは地域の大人に触れる子どもになってほしい。この関係が変わらないと人口流出につながると思うので、そういう道筋を考えてほしい。	40 代	第四小学校
子どもの数が減っていくことはとても淋しく残念。町としてたくさんの支援をしているが、今は他の市町村でも当たり前になってしまっていて魅力が少なくなっていると感じる。若い世帯に定着して子ども達が町で育つ環境を整えてほしいと思う。	50 代	第四小学校
子ども達の個性を尊重していくために、少人数に分けて学習させていく必要があると思う。都市から離れている南関町は塾などの学びが家庭によって差ができる。だからこそ手厚い学習環境の確保が南関町の魅力となると思う。	50 代	第四小学校
町では少子化対策、安住対策等積極的に取り組まれていると思いますが、直ぐに効果が出なかったり、充分な成果が出せず苦慮されていることと思います。町の方から必要な支援を町民に言っていただけたらできる範囲で協力いたします。また外部の方に学校教育、子育て支援のプロジェクトをお願いしたり、策定に加わっていただくことも手立ての一つと思います。	60 代	第四小学校
玉名の小学校では統廃合が進んでいます。その中でメリット・デメリット等を洗い出して対策をしてほしいと思います。	70 代以上	第四小学校
統廃合された場合、廃校舎の活用問題が出てくる。中学校も空き教室が多数あると思うので、合志市の合志楓の森のように小中学校同じ敷地にできればいいと思う。町の中心部だから場所的にも良いと思う。	70 代以上	第四小学校

7．統廃合について

◆子どもたちのよりよい成長、発達のためには、学級内には一定の人数が必要であることから、今後、小学校の統廃合もやむを得ないと思うか、思わないか、ということについて（小中学校保護者・幼稚園保育園保護者・地域住民）

⑴ 小学校の統廃合について小中学校の保護者、幼稚園保育園の保護者、地域住民に尋ねたところ、「ある程度の適正人数を確保するために、統廃合は仕方ないと思う」が 63.0%と最も高くなっており、統廃合はやむを得ないという回答が６割を超えています。
⑵ 年代別でみると、20 代以上ではいずれも「ある程度の適正人数を確保するために、統廃合は仕方ないと思う」が最も高く、特に 30 代では 71.9%と７割を超えています。